

授業科目名	人間と文学			科目コード	K0101L01
英文名	Humans and Literature				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 人間理解				
職名	講師 非常勤講師	担当教員名	岩崎 直哉 稲葉 茂		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	2限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	1．富山の歴史や文化、先人の心や優れた知恵を「ふるさと」を描いた作品を数多く読むことで理解し、それを自分の言葉でまとめることによって、ふるさとの風土で育った自己を再確認し、富山で明日をよりよく生きるための希望と力を見出す。 2．教科書教材に取り上げられた児童文学作家の生涯を辿り、作品世界の理解を深める。 3．第11回～15回が実務経験者による授業である。				
キーワード	富山の文学	児童文学の作家と作			
到達目標	1．富山を描いた作品が数多くあることを知り、それら作品中の富山の先人たちの姿から、ふるさとへの誇りと愛着を持ち、ふるさとの素晴らしさを次世代へ語り継ぐ意欲を喚起することができる。(70%)				
	2．教科書教材に取り上げられた児童文学作家の生涯を辿り、作品世界の理解を深めることができる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
		○			
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	富山県内の文学作品の概要・DVD「越中文学散歩」を中心として（稲葉）		
	【予習】テキストの授業範囲を事前に読んでおく。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、作者及び作品についてまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。		40分
第2回	国境（加賀、越後国境）の文学作品を中心として（稲葉）		
	【予習】テキストの授業範囲を事前に読んでおく。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、作者及び作品についてまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。		40分
第3回	山（立山、剱岳等）の文学作品を中心として(稲葉）		
	【予習】テキストの授業範囲を事前に読んでおく。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、作者及び作品についてまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。		40分
第4回	山（黒部峡谷等）の文学作品を中心として(稲葉）		
	【予習】テキストの授業範囲を事前に読んでおく。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、作者及び作品についてまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。		40分
第5回	街中（富山市等）の文学作品を中心として(稲葉）		
	【予習】テキストの授業範囲を事前に読んでおく。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、作者及び作品についてまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。		40分
第6回	街中（高岡市等）の作品を中心として(稲葉）		
	【予習】テキストの授業範囲を事前に読んでおく。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、作者及び作品についてまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。		40分
第7回	海辺（入善、魚津等）の作品を中心として(稲葉）		
	【予習】テキストの授業範囲を事前に読んでおく。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、作者及び作品についてまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。		40分
第8回	海辺（伏木、氷見等）の文学作品を中心として(稲葉）		
	【予習】テキストの授業範囲を事前に読んでおく。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、作者及び作品についてまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。		40分
第9回	谷間（八尾、庄川）の文学作品を中心として(稲葉）		
	【予習】テキストの授業範囲を事前に読んでおく。		30分
	【復習】講義内容を振り返り、作者及び作品についてまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。		40分

第10回	農村（砺波、小矢部等）の文学作品を中心として（稲葉）	
	【予習】テキストの授業範囲を事前に読んでおく。	30分
	【復習】講義内容を振り返り、作者及び作品についてまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	40分
第11回	レオ・レオに ―人と作品― （岩崎） ・実務経験者による授業。	
	【予習】○本時の作家についての情報を予め得ておく。	20分
	【復習】○授業で扱った以外の作品を読み、感想をもつ。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	20分
第12回	あまんきみこ ―人と作品― （岩崎） ・実務経験者による授業。	
	【予習】○本時の作家についての情報を予め得ておく。	20分
	【復習】○授業で扱った以外の作品を読み、感想をもつ。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	20分
第13回	新美南吉 ―人と作品― （岩崎） ・実務経験者による授業。	
	【予習】○本時の作家についての情報を予め得ておく。	30分
	【復習】○授業で扱った以外の作品を読み、感想をもつ。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第14回	宮沢賢治 ―人と作品― （岩崎） ・実務経験者による授業。	
	【予習】○本時の作家についての情報を予め得ておく。	30分
	【復習】○授業で扱った以外の作品を読み、感想をもつ。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。	30分
第15回	授業で扱った作家と作品についてレポートを作成する。（４人のうち、２人を選ぶ） ・実務経験者による授業。	
	【予習】○レポートの概略を作成する。	30分
	【復習】○授業で扱った作家と作品についてレポートを作成する。（４人のうち、２人を選ぶ）	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	立野：レポート(70%)、確認小テスト(20%)、平常点(10%) 課題レポートは、A B の 2 回提出(課題 A ・ 30%、課題 B ・ 70%)。 仲井：レポート (50%) 配付資料以外の他作品を読んで感想文を提出する。平常点(50%)で総合的に評価。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	立野幸雄『越中文学の情景』（桂書房）	使用資料 <参考図書>	『越中文学館』（北日本新聞社編集部）
授業外学修等	課題にもとづく読書。なお、課題レポートは必ず提出すること。		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用する。または、メールで質問する（iwasaki@tuins.ac.jp）。		
オフィス・アワー			

授業科目名	体育講義			科目コード	K0101L05
英文名	Lecture on Health and Sports				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 人間理解				
職名	講師	担当教員名	金子 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	5限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	1単位		
授業の概要	現代社会における体育・スポーツのもつ意義・役割・スポーツ環境について理解する。 スポーツ活動と体力との関係、およびトレーニング法について理解する。 子どものスポーツ活動および発育発達と運動能力との関係について理解する。 実務経験を有する教員による授業				
キーワード	スポーツとは	運動とは	トレーニング	運動指導	運動と教育
到達目標	生涯にわたってスポーツ・運動が実践できるために、現代におけるスポーツ環境、健康と体力、トレーニング方法などのスポーツに関する基礎的知識や理解を深める。				
	子どもたちの体の発育発達、幼少年期における体育・運動の重要性および課題について理解を深める。				
	個に応じた運動指導を実践するための基礎的知識を身に付け、自他の身体運動の特性を理解する。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	体育・スポーツの意義、生涯スポーツの意義について 現代生活における体育・スポーツおよび生涯スポーツの意義、オリンピックの精神について		
	【予習】		
	【復習】自分と運動・スポーツについてのレポートを作成して提出する。 担当教員は、レポート内容を集約し、次回の授業で情報を共有する。		30分
第2回	トレーニングの基礎知識(1) 身体の仕組みについて理解し、正しくトレーニングに取り組み、人に処方するための基礎知識を身に付ける。 トレーニングの法則・原理・原則、トレーニング処方		
	【予習】		
	【復習】トレーニングの法則・原理・原則についての復習プリントに取り組み、提出する。 担当教員は、レポート内容を集約し、次回の授業で情報を共有する。		30分
第3回	トレーニングの基礎知識(2) 身体の仕組みについて理解し、正しくトレーニングに取り組み、人に処方するための基礎知識を身に付ける。 脳・神経系の仕組み、骨格筋の仕組み、人体におけるエネルギー供給の仕組み		
	【予習】		
	【復習】運動に対する人体の仕組みについての復習プリントに取り組み、提出する。 担当教員は、レポート内容を集約し、次回の授業で情報を共有する。		30分
第4回	トレーニングの基礎知識(3) 身体の仕組みについて理解し、正しくトレーニングに取り組み、人に処方するための基礎知識を身に付ける。 呼吸循環器系の仕組み、人体の仕組みを理解したトレーニング実践		
	【予習】		
	【復習】レポート：「トレーニングの基礎知識を生かして、自分の運動習慣を振り返る」についてレポートにまとめる。 担当教員は、レポートを点検して学生個人にフィードバックするとともに、次回の授業で情報を共有する。		60分
第5回	発育発達と運動 人の発育発達の仕方を理解し、発達段階に応じた運動指導をするための知識を身に付ける。		
	【予習】		
	【復習】発育発達についての復習プリントに取り組み、提出する。 担当教員は、レポート内容を集約し、次回の授業で情報を共有する。		30分
第6回	教育現場での体育・運動指導の現状と課題 現代の教育現場における体育・運動指導の現状と、そこから見える発達段階に応じた運動指導の望ましい在り方		
	【予習】自分の身体特性のタイプについて調査する。		20分
	【復習】レポート：「子どもの発育発達段階、学校教育環境を考慮した運動指導の在り方」についてレポートにまとめる。 担当教員は、レポート内容を集約し、次回の授業で情報を共有する。		60分
第7回	個人の身体特性を理解し、個に応じた運動指導法について理解する。 4 スタンス理論の基礎的知識、自他の身体特性タイプの判別とその活用		
	【予習】最終レポートに関する資料収集、情報収集を行う。 家族、知人の身体特性のタイプについて調査する。		30分
	【復習】自分の4スタンス理論のタイプチェックから気づいた点についてレポートにまとめる。		60分

第8回	個人の身体特性を理解し、個に応じた運動指導を実践する。 4スタンス理論の4タイプの特徴と、運動指導への活用方法について	
	【予習】最終レポートに関する資料収集、情報収集を行う。	30分
	【復習】最終レポートを作成し、提出する。	180分
第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	毎回の授業中に提示した小課題（40％＊8回×5点）、レポート（各10％）、最終レポート（30％）、を総合的に判断して評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	随時資料を配布する。	使用資料 ＜参考図書＞	随時紹介する。
授業外学修等	体育・スポーツ関連のニュースや情報に対して常に注意を払い、内容をよく理解しておくこと。		
授業外質問方法	メールにて受け付ける。kaneko@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜2限		

授業科目名	心理学			科目コード	K0101P02
英文名	Psychology				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 人間理解				
職名	准教授	担当教員名	大平 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	5限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	心理学の初修者を対象に、脳の機能としての心の働きを、感覚と知覚、記憶、学習といった認知的過程と情動的過程、パーソナリティ、社会的行動について分かりやすく解説する。				
キーワード	知覚	性格	社会的行動		
到達目標	心理学の基本的知見を身につけ、心に対する科学的アプローチの観点について理解することができる。(100%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
		○			○
ディプロマポリシー	1.「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	心理学PPT(01) 歴史と対象 心理学の前史 ・心理学の起源・心理学の発展と対象		
	【予習】心理学の歴史と対象について、事前に調べる。		90分
	【復習】心理学の歴史と対象について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第2回	心理学PPT(02) 心を探究する方法の発展 科学的心理学の成立 ・生態学的心理学・進化心理学的アプローチ・認知行動科学・行動遺伝学		
	【予習】心を探究する方法について、事前に調べる。		90分
	【復習】心を探究する方法について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第3回	心理学PPT(03) 心の生物学的基盤 ・脳の構造・神経機能・遺伝		
	【予習】心の生物学的基盤について、事前に調べる。		90分
	【復習】心の生物学的基盤について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第4回	心理学PPT(04) 感情・動機づけ・欲求 ・感情の仕組み・機能・動機づけ理論		
	【予習】感情・動機づけ・欲求について、事前に調べる。		90分
	【復習】感情・動機づけ・欲求について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第5回	心理学PPT(05) 感覚・知覚 ・知覚の情報処理過程・感覚モダリティ・アフォーダンス		
	【予習】感覚・知覚について、事前に調べる。		90分
	【復習】感覚・知覚について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第6回	心理学PPT(06) 学習・行動 ・馴化・鋭敏化・古典的条件づけ・道具的条件づけ		
	【予習】学習・行動について、事前に調べる。		90分
	【復習】学習・行動について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第7回	心理学PPT(07) 認知 ・記憶・注意・思考・認知バイアス		
	【予習】認知について、事前に調べる。		90分
	【復習】認知について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第8回	心理学PPT(08) 個人差 ・知能・パーソナリティ		
	【予習】個人差について、事前に調べる。		90分
	【復習】個人差について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分

第9回	心理学PPT(09) 人と環境と生涯発達 ・対人関係・集団・組織・自己・発達の定義・ライフステージと発達課題	
	【予習】人と環境と生涯発達について、事前に調べる。	90分
	【復習】人と環境と生涯発達について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第10回	心理学PPT(10) 心の発達の基盤 ・認知発達理論・言語発達・アタッチメント理論・道徳性の発達・レジリエンス・首尾一貫感覚（SOC）	
	【予習】心の発達の基盤について、事前に調べる。	90分
	【復習】心の発達の基盤について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第11回	心理学PPT(11) 心の不適応 ・不適応の理論・ストレス理論（コーピングを含む）・燃え尽き症候群・トラウマ・依存症	
	【予習】心の不適応について、事前に調べる。	90分
	【復習】心の不適応について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第12回	心理学PPT(12) 心理アセスメント ・心理アセスメントの方法・事例定式化	
	【予習】心理アセスメンについて、事前に調べる。	90分
	【復習】心理アセスメンについて振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第13回	心理学PPT(13) 心理的支援の基本的技法 ・ソーシャルワークにおける心理的支援・支持的精神療法・マイクロカウンセリング・動機づけ面接	
	【予習】心理的支援の基本的技法について、事前に調べる。	90分
	【復習】心理的支援の基本的技法について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第14回	心理学PPT(14) 心理療法におけるアセスメントと介入技法の概要 ・精神分析・認知行動療法（SSTを含む）・応用行動分析・家族療法・ブリーフ・セラピー・対人関係療法	
	【予習】心理療法におけるアセスメントと介入技法について、事前に調べる。	90分
	【復習】心理療法におけるアセスメントと介入技法について、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第15回	心理の専門職 ・公認心理師	
	【予習】心理の専門職について、事前に調べる。	90分
	【復習】心理の専門職について振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第16回	期末レポートの課題とフォーマットを配布します 期末レポート課題 期末レポートフォーマット	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 について、期末レポートで評価する。(100%) なお、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。 人間性：100%		
使用資料 <テキスト>	別途指示	使用資料 <参考図書>	なし
授業外学修等	授業の内容を復習しておくこと。		
授業外質問方法	授業終了後に教室で、および随時研究室で受け付ける。		
オフィス・アワー	水曜 2 限		

授業科目名	体育実技(A)			科目コード	K0101P06
英文名	Practical Skills in Sports				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 人間理解				
職名	講師	担当教員名	金子 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	1単位		
授業の概要	各種スポーツのルール、戦術、練習方法の特徴を理解するとともに、実践することによって、運動・スポーツ実践の楽しさ、醍醐味を味わい、生涯スポーツ実践のための運動継続への意欲をたかめる。各種スポーツの技能の向上を図り、よりレベルの高いゲームができるようになることを目指す。 実務経験を有する教員による授業				
キーワード	スポーツ	ゲーム	戦術	練習方法	体力向上
到達目標	生涯スポーツに結びつくような各種スポーツの実践を通して、それぞれのスポーツの特徴、練習方法、身体的影響を理解する。				
	様々なスポーツ種目の実践を通して、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技能を高める。				
	スポーツや運動を楽しむ中で、自身の心身の変化に気づき、生涯に渡って運動に親しむ意欲を高める。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○		○		○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション ビーチボール 基本的なルール理解、ゲームの実践	
	【予習】	
	【復習】ビーチボールのルール理解	20分
第2回	バドミントン1 ハイクリアー、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ等の基礎的技術の練習	
	【予習】	
	【復習】バドミントンの基礎的技術の理解	20分
第3回	バドミントン2 基礎的技術の練習、シングルスゲームのルールの理解、シングルスゲーム	
	【予習】ハットミントンについてのルール理解	20分
	【復習】バドミントンの発祥やルールについてレポート課題に取り組み、バドミントンについての理解を深める。	60分
第4回	バドミントン3 基礎的技術の練習、シングルスゲームの戦術の理解、ダブルスゲーム	
	【予習】ハットミントンについてのルール理解	20分
	【復習】	
第5回	バドミントン4 基礎的技術の練習、ダブルスゲームのルールの理解、グループでの団体戦	
	【予習】ハットミントンについてのルール理解	20分
	【復習】	
第6回	バドミントン5 基礎的技術の技能評価、ダブルスゲームのルールの理解、グループでの団体戦	
	【予習】基礎的技術の理解、習得	30分
	【復習】	
第7回	バレーボール1 オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、トス等の基礎的技術の練習	
	【予習】バレーボールについてのルール理解	20分
	【復習】	
第8回	バレーボール2 基礎的技術の練習、ビーチボールを使っのゲーム	
	【予習】バレーボールについてのルール理解	20分
	【復習】	

第9回	バレーボール3 集団技能の実践（三段攻撃、レシーブ・トスの連携）、ゲーム	
	【予習】バレーボールの集団的技術の理解・ルール理解	20分
	【復習】	
第10回	ラグビー1 パスなどの基礎的技術の練習、ラグビーのルール理解、ゲームの実践	
	【予習】ラグビーの基礎的技術・ルール理解	20分
	【復習】	
第11回	ラグビー2 ラグビーの攻守の戦略理解、ゲームでの実践	
	【予習】ラグビーの戦術・ルール理解	20分
	【復習】	
第12回	生涯スポーツ実現のための運動実践の効果について ストレッチング、ボディケアの実践	
	【予習】	
	【復習】10～20分で実践できる体力を高める運動に取り組む。 学生は運動実践の感想をレポートとして提出し、教員は次回以降の授業時にフィードバックを行う。	40分
第13回	複数種目選択1 ネット型スポーツ、ゴール型スポーツ、ニュースポーツの中から選択して実践する。	
	【予習】選択したスポーツ種目の戦術・ルール理解	20分
	【復習】	
第14回	複数種目選択2 ネット型スポーツ、ゴール型スポーツ、ニュースポーツの中から選択して実践する。	
	【予習】選択したスポーツ種目の戦術・ルール理解	20分
	【復習】	
第15回	複数種目選択3 ネット型スポーツ、ゴール型スポーツ、ニュースポーツの中から選択して実践する。	
	【予習】選択したスポーツ種目の戦術・ルール理解	20分
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業時間中に評価を行い、期末試験は実施しない。 技能（40％）、意欲・態度（40％）、知識・理解（20％）を総合的に判断して評価する。		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	各種目のルールについては、スポーツルールブックや、文献、インターネット検索などを通してあらかじめ理解しておくこと。 自主的に練習し、各種目の技能の向上に努めること。		
授業外質問方法	メールにて質問を受け付ける。 kaneko@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜日2限		

授業科目名	体育実技(B)			科目コード	K0101P06
英文名	Practical Skills in Sports				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 人間理解				
職名	講師	担当教員名	金子 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	2限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	1単位		
授業の概要	各種スポーツのルール、戦術、練習方法の特徴を理解するとともに、実践することによって、運動・スポーツ実践の楽しさ、醍醐味を味わい、生涯スポーツ実践のための運動継続への意欲をたかめる。各種スポーツの技能の向上を図り、よりレベルの高いゲームができるようになることを目指す。 実務経験を有する教員による授業				
キーワード	スポーツ	ゲーム	戦術	練習方法	体力向上
到達目標	生涯スポーツに結びつくような各種スポーツの実践を通して、それぞれのスポーツの特徴、練習方法、身体的影響を理解する。				
	様々なスポーツ種目の実践を通して、将来において充実した運動生活を送る上での有用な知識と技能を高める。				
	スポーツや運動を楽しむ中で、自身の心身の変化に気づき、生涯に渡って運動に親しむ意欲を高める。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○		○		○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション ビーチボール 基本的なルール理解、ゲームの実践	
	【予習】	
	【復習】ビーチボールのルール理解	20分
第2回	バドミントン1 ハイクリアー、ドライブ、ドロップショット、スマッシュ等の基礎的技術の練習	
	【予習】	
	【復習】バドミントンの基礎的技術の理解	20分
第3回	バドミントン2 基礎的技術の練習、シングルスゲームのルールの理解、シングルスゲーム	
	【予習】ハットミントンについてのルール理解	20分
	【復習】バドミントンの発祥やルールについてレポート課題に取り組み、バドミントンについての理解を深める。	60分
第4回	バドミントン3 基礎的技術の練習、シングルスゲームの戦術の理解、ダブルスゲーム	
	【予習】ハットミントンについてのルール理解	20分
	【復習】	
第5回	バドミントン4 基礎的技術の練習、ダブルスゲームのルールの理解、グループでの団体戦	
	【予習】ハットミントンについてのルール理解	20分
	【復習】	
第6回	バドミントン5 基礎的技術の技能評価、ダブルスゲームのルールの理解、グループでの団体戦	
	【予習】基礎的技術の理解、習得	30分
	【復習】	
第7回	バレーボール1 オーバーハンドパス、アンダーハンドパス、トス等の基礎的技術の練習	
	【予習】バレーボールについてのルール理解	20分
	【復習】	
第8回	バレーボール2 基礎的技術の練習、ビーチボールを使っのゲーム	
	【予習】バレーボールについてのルール理解	20分
	【復習】	

第9回	バレーボール3 集団技能の実践（三段攻撃、レシーブ・トスの連携）、ゲーム	
	【予習】バレーボールの集団的技術の理解・ルール理解	20分
	【復習】	
第10回	ラグビー1 パスなどの基礎的技術の練習、ラグビーのルール理解、ゲームの実践	
	【予習】ラグビーの基礎的技術・ルール理解	20分
	【復習】	
第11回	ラグビー2 ラグビーの攻守の戦略理解、ゲームでの実践	
	【予習】ラグビーの戦術・ルール理解	20分
	【復習】	
第12回	生涯スポーツ実現のための運動実践の効果について ストレッチング、ボディケアの実践	
	【予習】	
	【復習】10～20分で実践できる体力を高める運動に取り組む。 学生は運動実践の感想をレポートとして提出し、教員は次回以降の授業時にフィードバックを行う。	40分
第13回	複数種目選択1 ネット型スポーツ、ゴール型スポーツ、ニュースポーツの中から選択して実践する。	
	【予習】選択したスポーツ種目の戦術・ルール理解	20分
	【復習】	
第14回	複数種目選択2 ネット型スポーツ、ゴール型スポーツ、ニュースポーツの中から選択して実践する。	
	【予習】選択したスポーツ種目の戦術・ルール理解	20分
	【復習】	
第15回	複数種目選択3 ネット型スポーツ、ゴール型スポーツ、ニュースポーツの中から選択して実践する。	
	【予習】選択したスポーツ種目の戦術・ルール理解	20分
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業時間中に評価を行い、期末試験は実施しない。 技能（40％）、意欲・態度（40％）、知識・理解（20％）を総合的に判断して評価する。		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	各種目のルールについては、スポーツルールブックや、文献、インターネット検索などを通してあらかじめ理解しておくこと。 自主的に練習し、各種目の技能の向上に努めること。		
授業外質問方法	メールにて質問を受け付ける。 kaneko@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜日2限		

授業科目名	日本国憲法			科目コード	K0201P01
英文名	The Constitution of Japan				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会理解				
職名	教授	担当教員名	彼谷 環		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	「憲法」とは、国家をどのように治め、いかなる仕事をどのような方法で行うかを定めた国家の基本法です。国家権力は常に濫用される危険性があるため、近代憲法は権力担当者に対し、人権を保障する義務を課すとともに、予め権力に縛りをかけました。授業では、こうした「立憲主義」の概念を理解するとともに、多様化する現代の人権状況と、その人権を守るべき統治システムについて考えていきます。 また、教育・保育・福祉の専門性を高めていくことにも留意し、各分野で日本国憲法がどのように関連するかも学びます。				
キーワード	基本的人権	平和主義	国民主権	グローバリゼーショ	統治機構
到達目標	日本国憲法の成立過程とその特徴について、説明することができる（20％）。				
	具体的な裁判事件を基に人権の種類を把握し、憲法原理と現実とのギャップについて、理解することができる（30％）。				
	国民主権原理と政治部門との関係、人権を守る「砦」として裁判所が機能していることを、理解することができる（30％）。				
	教育・保育・福祉の専門分野で、日本国憲法がどのように関連するかについて、理解することができる（20％）。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○				○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
		○			○

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ガイダンス——「憲法」ってなんだろう？ 私たちの生活と日本国憲法の関係性を概観する。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、憲法に関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第2回	日本国憲法の制定過程について学ぶ。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第3回	「平等原則」と「平等権」について、理論と判例を考える。 (理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。)		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第4回	「信教の自由」の定義と歴史、具体的判例について考える。 配布資料		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第5回	「表現の自由」が保障された歴史的背景、制約的原理について学ぶ。 ・配布資料		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】教科書を読んで復習する。		60分
第6回	「経済的自由権」が保障されるようになった歴史的背景、「職業選択の自由」の概念と学説、判例を学ぶ。 ・配布資料		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】アンケートに回答する。		60分
第7回	「社会権」の成立と「生存権」をめぐる課題について考える。 ・配布資料		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		30分
	【復習】アンケートに回答する		60分
第8回	日本国憲法と国際法の関係「子どもの権利条約」を通じて学ぶ。		
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。		
	【復習】教科書を読んで復習する。		

第9回	身体的自由と「適正手続きの保障」について考える。 （理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。）	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。	30分
	【復習】DVDを観た感想をまとめる。	60分
第10回	統治機構の役割について、「国会」と「内閣」の関係から考える。	
	【予習】新聞やインターネットの情報を利用して、日本の政治状況を調べておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第11回	統治機構の役割について、「内閣」の組織と権能から考える。	
	【予習】日本の選挙制度について調べておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第12回	「裁判員制度」の成立経緯と現代的課題を、ビデオの視聴を通して考える。	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。	30分
	【復習】ビデオの感想をまとめて、Webシラバスに投稿する。	60分
第13回	統治機構の役割について、「裁判所」から考える。 「司法権の独立」原則を理解する。 （理解度を自己確認できるようにするため、授業中にGoogle Formを使った小テストを行う。）	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第14回	裁判所が有する「司法権」の一つである、「違憲審査制」の内容と特徴を学ぶ。	
	【予習】教科書を利用して、「違憲審査制」の概要を捉えておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第15回	日本国憲法の「平和主義」の特徴について考える。	
	【予習】新聞やインターネットの情報をを用いて、テーマに関わる事柄を調べまとめておく。	30分
	【復習】教科書を読んで復習する。	60分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 及び では、授業中に指定する課題を中心に評価する（50％）。 到達目標項目 及び では、期末筆記テストで評価する（50％）。 人間性：50％、 社会性：50％ なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	小林武・石埼学編『いま日本国憲法は〔第6版〕』（法律文化社）	使用資料 <参考図書>	テーマに合わせ適宜資料配布
授業外学修等	・授業冒頭で社会的事件に関する憲法的解説を行うので、常に新聞やインターネットニュースに目を通し、問題関心を持つ たうえで参加してほしい。 ・授業テーマについては、テキストを中心とした予習、ノート等による復習を継続すること。		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールで受け付ける。 kayatama@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜・3限		

授業科目名	経済学			科目コード	K0201P04
英文名	Economics				
科目区分	共存・共生へのアプローチ科目 - 社会理解				
職名	非常勤講師		担当教員名	小柳津 英知	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	木曜日		時限	2限目	
開講時期	1年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	経済学入門の授業として経済学の方法論と分析手法の基礎事項を学び、随時、経済の時事問題を取り挙げ、その見方も考察します。				
キーワード	ミクロとマクロ	経済活動の測り方	需要・供給曲線	貿易（輸出と輸入）	財・サービス市場と
到達目標	1．経済学の方法論を理解し、その基本的な分析手法について具体的事例を説明できる．それを踏まえて、2．経済時事に関する新聞記事等の内容を理解し解説できる．以上を到達目標としています。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
		○			○
ディプロマポリシー	1.「人」としての資質・能力（人間性の向上）			4.21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養			3.富山の子ども育成	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
/	/		○	/	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	/	/	/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	経済学の特徴 高校の『政治・経済』と経済と大学の経済学の違い，　ミクロとマクロの方法論の意味，　数学、統計学の利用が必要な背景，　経営学との違い，を中心に学びます．	
	【予習】高校時代に「政治・経済」を履修した方は，その経済分野についてざっと読み直して下さい．「政治・経済」を履修されなかった方は経済学という言葉で検索する等，経済学の意味について説明してあるものを読んでおいて下さい．	60分
	【復習】ミクロとマクロという用語の意味について正確に説明できるよう講義プリントを復習しておいて下さい．	60分
第2回	経済分野におけるデータの意味と加工の基本事項 成長率，寄与度の算出，　フローとストックの概念，　機首と期末，　弾力性といった基礎概念を学びます．	
	【予習】講義プリントにある定義を自分自身で記述して，その意味を正確に理解するようにして下さい．	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい．特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい．	60分
第3回	大恐慌とマクロ経済学の登場 1929年の大恐慌の発生と終息までをイギリスの記録映画を観ながら理解します．大恐慌を契機とした経済学の課題とマクロ経済学の登場について学びます．	
	【予習】事前に配布した大恐慌の関連資料を読み，当時，どのような解決策が主張されたか論点を整理しておいて下さい．	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい．特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい．	60分
第4回	マクロ経済学の基礎（１） 経済活動の測り方　GDPの定義を中心にマクロの経済活動に関する主要なデータについて算出の方法を学びます．	
	【予習】事前に配布した資料を読み，GDP算出のボンチ絵について自分で作成してみてください．	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい．特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい．	60分
第5回	マクロ経済学の基礎（２） 経済活動の測り方　名目と実質，国際収支，失業率，インフレ・デフレなどマクロの経済に関する主要なデータの意味と解釈について学びます．	
	【予習】事前に配布した資料を読み，名目と実質のデータの意味とインフレ・デフレの関係を確認して下さい．	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい．特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい．	60分
第6回	マクロ経済学の基礎（３）　財政の役割 経済学では財政とは何を意味し，財政政策の役割は何かの概論を学びます．	
	【予習】事前に配布した資料を読み，財政学とか公共経済学とは何を指すかの概要を掴んで下さい．	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい．特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい．	60分
第7回	マクロ経済学の基礎（４）　金融の役割 経済学では金融とは何を意味し，金融政策の役割は何かの概論を学びます．	
	【予習】事前に配布した資料を読み，資本市場とは何を指すかの概要を掴んで下さい．	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい．特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい．	60分
第8回	ミクロ経済学の基礎（１）　需要曲線とは何か 効用の意味と需要曲線の意味を理解し，それを用いた分析方法を学びます．	
	【予習】事前に配布した資料を読み，限界効用，買い手の付け値等の用語の意味を理解して下さい．	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい．特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい．	60分

第9回	ミクロ経済学の基礎（2） 供給曲線とは何か 費用の意味と供給曲線の意味を理解し、それを用いた分析方法を学びます。	
	【予習】事前に配布した資料を読み、限界費用、売り手の付け等の用語の意味を理解して下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第10回	ミクロ経済学の基礎（3） 効率的な資源配分とは何か 効率的な資源配分、市場の失敗といった諸概念を学びます	
	【予習】事前に配布した資料を読み、GDP算出のボンチ絵について自分で作成してみてください。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第11回	産業構造論の基礎 産業分類の考え方から産業構造の変化の要因について 産業分類の考え方と様々な分類方法を知り、サービス化の進展等、産業構造の変化の実態とその要因について学びます。	
	【予習】事前に配布した資料を読み、ベティ・クラークの法則など重要な用語は覚えてしまってください。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第12回	国際貿易の基礎 絶対優位と比較優位、資本と労働の存在量を考慮した分析 貿易とは何か、なぜ貿易が生じるのか、リカードの絶対優位と比較優位の考え方を学び、さらに労働集約的と資本集約的の概念を用いて考察を深めます。	
	【予習】事前に配布した資料を読み、絶対優位と比較優位の考え方について理解しておいて下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第13回	機会費用と埋没費用 機会費用と埋没費用の考え方を具体的な事例を通して学び、貿易や投資など様々な活動にどう適用できるか考察します。	
	【予習】事前に配布した資料を読み、機会費用と埋没費用を自分の言葉で説明できるようにして下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第14回	経済政策の論点：大きな政府と小さな政府 大きな政府と小さな政府のどちらが良いかは長年の争点です。これについて公的医療保険の是非を巡るアメリカの映画を観て考えます。	
	【予習】事前に配布した映画に関する資料を読み、先進国で唯一公的医療保険が無いと言われたアメリカの公的保険に対する考え方の背景を把握して下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第15回	現在の日本経済の論点について 財政赤字の累積と少子高齢化、非正規雇用の拡大等、現在の日本経済の課題は密接に関連している事を学びます。	
	【予習】事前に配布した資料を読み、ストック面での財政赤字の規模、少子高齢化が貯蓄率に及ぼす影響等について理解して下さい。	60分
	【復習】授業中に実施した練習問題を再度自分で確認して下さい。特に間違えた箇所は講義プリントの該当箇所を再読して必ず理解して下さい。	60分
第16回	期末試験、第1回～第15回までの内容について試験を実施します。	
	【予習】授業中に実施した練習問題の内、特に重要なものは事前に周知しますので、準備して下さい。	60分
	【復習】後日、試験答案は返却し、正解の解説も配布しますので、間違えた箇所はなぜ間違えたのか等を確認して下さい。	60分

評価方法	毎回，授業の最後に課題を記述してもらいます．その内容で評価した45点と期末試験（55点満点）の合計で評価します．		
使用資料 <テキスト>	無し	使用資料 <参考図書>	（入手の必要はありません）木暮太一著『社会人のためのやりなおし経済学』日本経
授業外学修等	ほぼ毎回，資料を配布しますがその全てを授業で取り上げません．授業で取り上げなかった部分は各自で読んでおいて下さい．		
授業外質問方法	担当教員の勤務校のメールアドレス（oyaizu@eco.u-toyama.ac.jp)に送って下さい．		
オフィス・アワー	授業終了時間から5分程度は教室に残っていますので，その時に質問・相談等を直接お話し下さい．		

授業科目名	英語（A）			科目コード	K0301L02
英文名	English II				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	教授	担当教員名	福島 美枝子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	3限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course is aimed at widening and deepening the students' world knowledge, while improving their 4 skills in English. It offers oppotunities to learn about several countries in the world through watching videos and reading articles. It also provides a couple of sessions to learn about English songs and stories for children. The course ends with the students' group projects by which they introduce Toyama to foreigners, both orally and in a written form.				
キーワード	English for children	English for	group/pair work	student-centered	
到達目標	Students can widen and deepen their world knowledge in English.				
	Students can increase their vocabulary and expressions in English..				
	Students can introduce a certain aspect of their home prefecture to foreigners, both orally and in a written form.				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
		○			
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	course introduction; campus English and classroom English; talking and writing about summer vacation	
	【予習】 Read this syllabus, and prepare a notepad and dictionaries to bring to the classroom.	30分
	【復習】 Go over the vocabulary used in the interview 'Getting to know each other' and expressions introduced for campus and classroom use. A review quiz will be given in Lesson 2.	30分
第2回	India	
	【予習】 Textbook Chapter 1	30分
	【復習】 Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A review quiz will be given in Lesson 3.	30分
第3回	India and The Philippines	
	【予習】 Textbook Chapter 1 and Chapter 2	30分
	【復習】 Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A quiz on the main points about India and the Philippines will be given in Lesson 4.	30分
第4回	The Philippines	
	【予習】 Textbook Chapter 2	30分
	【復習】 Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A review quiz will be given in Lesson 5.	30分
第5回	English songs for children	
	【予習】 Search YouTube for a collection of English songs for children.	30分
	【復習】 Sing the songs learned in the lesson.	30分
第6回	Korea	
	【予習】 Textbook Chapter 5	30分
	【復習】 Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A review quiz will be given in Lesson 7.	30分
第7回	Korea and France	
	【予習】 Textbook Chapter 5 and Chapter 6	30分
	【復習】 Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A review quiz will be given in Lesson 8.	30分
第8回	France	
	【予習】 Textbook Chapter 6	30分
	【復習】 Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A review quiz will be given in Lesson 9.	30分
第9回	English stories for children	
	【予習】 Learning about Grimm's Fairy Tales and Aesop Fables by using a worksheet.	30分
	【復習】 Learning about Japanese Folktales.	30分

第10回	South Africa	
	【予習】Textbook Chapter 12	30分
	【復習】Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A review quiz will be given in Lesson 11.	30分
第11回	South Afrika and Peru	
	【予習】Textbook Chapter 12 and Chapter 14	30分
	【復習】Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A review quiz will be given in Lesson 12.	30分
第12回	Peru	
	【予習】Textbook Chapter 14	30分
	【復習】Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A review quiz will be given in Lesson 13.	30分
第13回	Group Project 1 Planning and making	
	【予習】Think about what aspect/s of Toyama you want to talk and write about to introduce Toyama to foreigners.	30分
	【復習】Each group member starts creating introductory remarks in English.	30分
第14回	Group Project 2 Revising	
	【予習】Think about what should be revised for better introduction and presentation.	30分
	【復習】Make necessary changes in your materials and performance.	30分
第15回	Group Project 3 Rehearsing and creating written work	
	【予習】Each group member starts practicing his/her own speech in the group presentation.	30分
	【復習】Everyone should be ready for their group presentation.	30分
第16回	Group presentation	
	【予習】Everyone should be ready for their group presentation.	30分
	【復習】Each group revise their written work.	40分

評価方法	(1) quizzes, homework and classwork (60%) (2) group project work (40%)		
使用資料 < テキスト >	Scott Berlin and Megumi Kobayashi (2011) World Adventures. 金星堂	使用資料 < 参考図書 >	Students are required tp bring dictionaries and a notebook, and occasionally their PCs.
授業外学修等	(1) Students go over each lesson to learn new vocabulary and expressions. (2) They meet with other group members to complete their project work.		
授業外質問方法	"Please feel free to come to my office (#311) or contact me by email (mifuku@tuins.ac.jp)."		
オフィス・アワー	Tuesday, 2nd period.		

授業科目名	英語（B）			科目コード	K0301L02
英文名	English II				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	非常勤講師		担当教員名	須加 光	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	火曜日		時限	3限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	必修		単位数	2単位	
授業の概要	英語によるコミュニケーションに参加するための基本的な「聞く」「話す」「読む」「書く」能力の向上を目指し、グローバル化する社会に対応しうる基礎的な英語力を養う。				
キーワード	実践的コミュニケー	リサーチ	TED talk	英語と日本語による	
到達目標	(1) 社会・文化・科学などに関する基礎的な英文を「読む、聞く」ことで、内容を理解することができる。 (2) 理解した内容や習得した表現を踏まえ、英語で意見などを「話す、書く」ことで情報発信ができる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction, ice-breaking, and course orientation Pair work: Self-introduction	
	【予習】	
	【復習】 Review the syllabus Complete the self-introduction worksheet	30分
第2回	Presetations of self-introduction Unit 1 Goal A, B and C	
	【予習】 Unit 1 Goal D and E	30分
	【復習】 Vocabulary and grammar in Unit 1 Goal A, B and C	30分
第3回	Review and explanations of Unit 1 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】 Unit 2 Goal A	30分
	【復習】 Unit 1 Goal A, B, C, D and E	30分
第4回	Unit 2 Goal A, B and C	
	【予習】 Unit 2 Goal D and E	30分
	【復習】 Vocabulary and grammar in Unit 2 Goal A, B and C	30分
第5回	Review and explanations of Unit 2 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】 Unit 3 Goal A	30分
	【復習】 Unit 2 Goal A, B, C, D and E	30分
第6回	Unit 3 Goal A, B and C	
	【予習】 Unit 3 Goal D and E	30分
	【復習】 Vocabulary and grammar in Unit 3 Goal A, B and C	30分
第7回	Review and explanations of Unit 3 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】 Unit 4 Goal A	30分
	【復習】 Unit 3 Goal A, B, C, D and E	30分
第8回	Units 1-3 review, Mid-term Exam	
	【予習】 Review units 1-3 Study for Mid-term Exam	60分
	【復習】 Review	30分

第9回	Unit 4 Goal A, B and C	
	【予習】Unit 4 Goal D and E	30分
	【復習】Vocabulary and grammar in Unit 4 Goal A, B and C	30分
第10回	Review and explanations of Unit 4 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】Unit 5 Goal A	30分
	【復習】Unit 4 Goal A, B, C, D and E	30分
第11回	Unit 5 Goal A, B and C	
	【予習】Unit 5 Goal D and E	30分
	【復習】Vocabulary and grammar in Unit 5 Goal A, B and C	30分
第12回	Review and explanations of Unit 5 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】Unit 6 Goal A	30分
	【復習】Unit 5 Goal A, B, C, D and E	30分
第13回	Unit 6 Goal A, B and C	
	【予習】Unit 6 Goal D and E	30分
	【復習】Vocabulary and grammar in Unit 6 Goal A, B and C	30分
第14回	Review and explanations of Unit 6 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】	30分
	【復習】Unit 6 Goal A, B, C, D and E	30分
第15回	Units 3-6 review, summary of the course	
	【予習】Review units 3-6	30分
	【復習】Study for Final Exam	30分
第16回	Final exam	
	【予習】Study for Final Exam	60分
	【復習】	

評価方法	(1) Mid-term Exam (20%) (2) Final Exam (20%) (3) Unit quizzes (30%) (4) homework and classwork (30%)		
使用資料 < テキスト >	World English Level 2: Real people, Real places, Real language, Third edition,	使用資料 < 参考図書 >	Students are required to bring their notebooks.
授業外学修等			
授業外質問方法	講義内及び講義終了後（講義同日）、電子メール。		
オフィス・アワー	同上		

授業科目名	英語（C）			科目コード	K0301L02
英文名	English II				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	客員准教授		担当教員名	Sherri Scanlan	
学部	子ども育成学部		学科	現代社会学科	
曜日	火曜日		時限	3時限	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	必修		単位数	2単位	
授業の概要	In this class students will work to improve their practical English speaking skills. Each lesson will focus on vocabulary, reading, listening and speaking.				
キーワード	listening	speaking	vocabulary	communication	
到達目標	Students will practice everyday English that will help them when communicating in the real world. In addition, they will get new vocabulary and expressions to expand their English base.				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	class introduction. Get to know you and Classroom English	
	【予習】 interview speaking practice followed by letter writing evaluation	
	【復習】	
第2回	Unit 7: Things that matter	
	【予習】 Section A: Spending habits, Section B: Needs and wants, Section C: Better lives	
	【復習】 Review vocabulary and grammar at home	
第3回	Unit 7: Things that matter	
	【予習】 Section D: lifestyles, Section E: Priorities	
	【復習】	
第4回	Unit 7: Things that matter	
	【予習】 Video Journal and writing	
	【復習】 edit writing at home if necessary	20分
第5回	Unit 8: Conservation	
	【予習】 Section A: Consequences, Section B: Future Problems, Section C: A Situation	
	【復習】 review vocabulary and grammar at home	20分
第6回	Unit 8: Conservation	
	【予習】 Section D: Conservation Projects, Section E: Conservation Issue	
	【復習】	20分
第7回	Unit 8: Conservation	
	【予習】 Video Journal and writing	
	【復習】 finish writing at home if necessary	
第8回	Test 1: Unit 7 and 8	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	Unit 10: Travel	
	【予習】 Section A: Organizing a Trip, Section B: Vacations, Section C: English at the Airport	
	【復習】 review vocabulary and grammar at home	15分

第10回	Unit 10: Travel	
	【予習】Section D: Discuss Travel, Section E: A cultural Event,	
	【復習】	15分
第11回	Unit 10: Travel	
	【予習】Video Journal and writing	
	【復習】Finish writing at home if necessary	
第12回	Unit 12: Celebrations	
	【予習】Section A: A Celebration, Section B: Compare Holidays, Section C: Congratulations and Good Wishes	
	【復習】review vocabulary and grammar at home	
第13回	Unit 12: Celebrations	
	【予習】Section D: Rituals, Section E: Opinions about Holidays	
	【復習】	15分
第14回	Unit 12: Celebrations	
	【予習】Video Journal and writing	
	【復習】finish writing at home if necessary	20分
第15回	Test 2: Units 10 and 12	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	Test 1: 40%, Test 2: 40%, Class participation/homework: 20%		
使用資料 < テキスト >	World English 2, (third edition), National Geographic Learning (Cengage) ISBN:	使用資料 < 参考図書 >	book dictionaries or electronic dictionaries ONLY: NO Smartphone dictionaries or Apps
授業外学修等	Students will have to edit some writing at home with NO translation apps on phones or computers. ANY use of translation apps or software will result in an automatic ZERO on all work.		
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	英語（D）			科目コード	K0301L02
英文名	English II				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	非常勤講師	担当教員名	Miah Khaitova		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限			
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course consists of three blocks. Each block is dedicated to a certain topic. First, students will work in pairs and small groups to improve their practical English speaking skills. Each lesson will focus on vocabulary, reading, listening and speaking				
キーワード	listening	speaking	vocabulary	communication	
到達目標	Students will practice everyday English that will help them when communicating in the real world. In addition, they will get new vocabulary and expressions to expand their English base. They will be expected to perform short conversations. Similarly, stu				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	Course introduction. Get to know each other		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	What makes you laugh?		
	【予習】		
	【復習】		
第3回	The science of smiling.		
	【予習】		
	【復習】		
第4回	Team project: tell/play a joke or a funny story		
	【予習】		
	【復習】		
第5回	Block 1 Test		
	【予習】		
	【復習】		
第6回	Why do we enjoy sports?		
	【予習】		
	【復習】		
第7回	Sports in our lives		
	【予習】		
	【復習】		
第8回	When to involve children in sports?		
	【予習】		
	【復習】		
第9回	Team project related to sports		
	【予習】		
	【復習】		

第10回	Team project related to sports	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	Block 2 Test	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	Around the world	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	Cultural studies	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	Team project related to cultures	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	Review	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	Final Test	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	Block tests (30%), Final test (25%), Progress (20%), Class participation/homework (25%)		
使用資料 <テキスト>	Teacher provides study materials.	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	Students will have to work on their pronunciation skills. Participation in this class could be a great chance to prepare for a real-world situations when facing children in the classroom. Therefore, the emphasis is made on listening and speaking activitie		
授業外質問方法	At all times students are welcome to contact me at aeshindai@gmail.com		
オフィス・アワー			

授業科目名	世界の動き			科目コード	K0301L08
英文名	Current Issues in the World				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	教授	担当教員名	渡部 恵子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日	時限	3限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	国際情勢が複雑さを増すなか、適切な情報を選び取るリテラシーが一層求められています。多くの報道に触れ、洞察力を養います。（担当教員：新聞社での実務経験あり）				
キーワード	国際社会	メディア・リテラシ	国際関係論	グローバリゼーショ	
到達目標	国際報道を身近なものにするような習慣付けができています。（評価比率40％）				
	国際情勢に関心を持ち、自分が関心を持つ特定の地域やテーマについて自分の考えを表現できる。（評価比率60％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
		○			
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）			「人」としての資質・能力（人間性の向上）	
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ガイダンス。授業の進め方についてお話しします。		
	【予習】何らかの国際報道（日本の外交に関するものも可）に目を通し、関心を持った記事を印刷し（新聞の切り抜きでも、ネット画面の印刷したものでも可）を専用のノートを準備して貼り、講義に持参する。ノートは野線入りの一般的なものでもよい。ニュース・ソース（日付を含む）を明記すること。内容をかいつまんで発表できるようにしておく。		90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。		30分
第2回	現在の国際秩序の起源をたどり、国際関係論とはどのような学問かについても簡単に触れる。		
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。		90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。		30分
第3回	アメリカ外交の特徴を、その歴史から探り、トランプ大統領後の米外交の行方を探る。		
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。		90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。		30分
第4回	かつての敵国だったアメリカと和解し、コロナ感染抑制にも成功、経済も順調なベトナムを中心に、発展著しい地域の現状を見ていく。		
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。		90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。		30分
第5回	台頭する中国について、米中関係を中心に見ていく。		
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。		90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。		30分
第6回	朝鮮半島。北に朝鮮民主主義共和国（北朝鮮）、南に大韓民国と、南北に分断された朝鮮半島は、東アジア情勢にに大きな影響を持ち、日本の安全保障に深く関わる。半島の情勢と、日本との関係について検討する。		
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。		90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。		30分
第7回	国際社会の中の日本。日本の経済外交、国際貢献について考える。		
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。		90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。		30分
第8回	国際社会の中の日本。日本の領土問題について考える。		
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。		90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。		30分

第9回	プーチン大統領のロシア。かつて、アメリカと共に二大大国として冷戦構造の一角を担ったソ連。その崩壊後の２０００年にロシアの大統領に就任し、以来権力の座にあるプーチンとはどんな指導者なのか。	
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。	90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第10回	中東。古代文明発祥の地であり、世界宗教の聖地が集中する中東。ここで産出する石油に日本が大きく依存していることから、重要な地域だ。地域の現状を検討していく。	
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。	90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第11回	英国の離脱後の欧州連合（EU）の現状と課題を検討する。	
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。	90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第12回	グローバリゼーション。グローバリゼーションの起源について考察、経済のみにとどまらない様々な次元のグローバリゼーションについて理解し、２１世紀のグローバリゼーションの特徴について考える。。	
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。	30分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第13回	環境問題について検討する。古典的な国際関係論がベースにしてきた国家を主体とするものの見方では対応できない、新たな問題への取り組みについて検討する。	
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。	90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第14回	米英のメディアの新たな闘い。インターネットの普及により、伝統的な新聞・雑誌の広告モデルは破壊され、日本のような宅配制度のない欧米の新聞はとりわけ苦戦している。こうした中、新たな地域サービスに活路を見いだそうとする英米のメディアの動きを見ていく。	
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。	90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第15回	確かな情報を見極めるために。インターネット上にあふれる情報の中には、信頼に値しない、いわゆるフェイクニュースも少なくない。ネットは速報性と双方向性に優れるが、私たちははかつてないほど情報を取捨選択する力を求められている。先の読みにくい世界を生きていくうえで、私たちはニュースとどのように向き合えばいいのかを検討する。	
	【予習】自分で決めたテーマに沿った報道記事をノートに貼ったものを講義に持参。内容をかいつまんで発表できるよう準備する。	90分
	【復習】講義で取ったノートをチェックする。	30分
第16回	期末試験（試験６０分、解答解説３０分）	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	評価基準 については、課題をきちんと行っているか。すなわち、価値のあるニュースを選び、ソースを明確にしてノートに整理し、その内容を把握して、かいつまんで語れるようにしているかを見ます、評価基準 については、期末レポート。なお、評価は、「富山国際大学評価基準」に従って行います。社会性：70%、人間性：30%		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	授業の中で紹介します。
授業外学修等			
授業外質問方法	授業の前後、ないしはメールで(watanabe@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	火曜2限、木曜2限（東黒牧キャンパス研究室）。		

授業科目名	英語（A）			科目コード	K0301P01
英文名	English I				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	教授	担当教員名	福島 美枝子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	3限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	The main aim of this course is to develop students' oral fluency in English, while solidifying basic grammar and increasing vocabulary. Students will learn to communicate in English more clearly and effectively through working together in pairs and groups. In addition, the course provides opportunities to learn about English language activities for children, with focusses on games, songs, and stories.				
キーワード	oral fluency	basic grammar	vocabulary	pair & group work	English language
到達目標	Students can be more comfortable and confident in talking with their fellow members and teacher in English.				
	Students can use basic grammar and vocabulary for communication.				
	Students can expand their ideas about English language activities for children.				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	4.21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	course introduction; getting to know each other; campus English and classroom English	
	【予習】 Read this syllabus, and bring a notebook and dictionaries to the classroom.	20分
	【復習】 ・ Go over the vocabulary and expressions used for the interview "Getting to know each other." campus and classroom use. A quiz will be given in Lesson 2. ・ Review the expressions introduced for	40分
第2回	How's it going? (greeting someone; talking about oneself)	
	【予習】 Textbook Unit 1	20分
	【復習】 ・ Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A quiz will be given in Lesson 3. ・ Crossword puzzle	40分
第3回	What am I thinking of? (describing things)	
	【予習】 Textbook Unit 2	20分
	【復習】 ・ UNIT 2 Homework ~ Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A quiz will be given in Lesson 4. ・ Crossword puzzle	40分
第4回	Where's the post office? (asking for directions / giving directions, expressing thanks)	
	【予習】 Textbook Unit 3	20分
	【復習】 ・ UNIT 3 Homework (復習クイズ) Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A quiz will be given in Lesson 5. ・ Crossword puzzle	40分
第5回	Let's go shopping! (offering help; making a request)	
	【予習】 Textbook Unit 4	20分
	【復習】 ・ Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A quiz will be given in Lesson 6. ・ Crossword puzzle	40分
第6回	1. UNIT 4 2. UNIT 5 (p. 25)	
	【予習】 Search YouTube for a collection of English songs for children.	20分
	【復習】 Review UNIT 4	40分
第7回	1. English songs for children 2. UNIT 5 How often do you exercise? (talking about routines; interviewing someone)	
	【予習】 Textbook Unit 5	20分
	【復習】 UNIT 5 Homework ・ Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A quiz will be given in Lesson 8. ・ Crossword puzzle	40分
第8回	1) More songs 2) UNIT 5 Pairwork 3) Time for trivia! (telling the time)	
	【予習】 Textbook Unit 6	20分
	【復習】 ・ Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. A quiz will be given in Lesson 9. ・ Crossword puzzle	40分
第9回	1) Time for trivia! 2) What does she look like? (describing people; describing present states)	
	【予習】 Textbook Units 6 and 7	20分
	【復習】 ・ UNIT 6 Homework; Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions.	40分

第10回	What does she look like? (describing people) Which do you prefer? (asking for opinions; giving reasons for opinions)	
	【予習】Textbook Units 7 & 8	20分
	【復習】UNIT 7 Homework ・ Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions.	40分
第11回	1) Which do you prefer? 2) English stories for children	
	【予習】UNIT 8	30分
	【復習】UNIT 8 Homework Go over the lesson and read Japanese folktales aloud	30分
第12回	1) English stories for children 2) What did you do? (talking about past events; expressing condolence)	
	【予習】Textbook Unit 9	20分
	【復習】Go over the lesson.	30分
第13回	1) Stories for children 2) What did you do? (UNIT 9)	
	【予習】Textbook Unit 9	20分
	【復習】 ・ Homework Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions.	40分
第14回	1) What's your future career? (describing jobs and talking about your future career) 2) Stories for children	
	【予習】Textbook Unit 10	20分
	【復習】 Homework ・ Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions.	40分
第15回	1) What's your future career? (2) Stories for children	
	【予習】Textbook Unit 10	20分
	【復習】 ・ Go over the lesson and acquire the new vocabulary and expressions. ・ Crosswrd puzzle	40分
第16回	Final exam	
	【予習】Review all the materials and expressions used in the course.	
	【復習】	

評価方法	(1) homework, quizzes, and classwork (60%) (2) final exam (40%)		
使用資料 <テキスト>	Chris Elvin著 NOW YOU'RE TALKING! (SECOND EDITION) EFL PRESS .	使用資料 <参考図書>	Students are required to bring dictionaries and a notebook.
授業外学修等	(1) Students go over each lesson and learn new vocabulary and expressions. (2) They have a homework assignment every week. (3) The English learning program named "Chieru Net" will be introduced in the course and students will be encouraged to use the program at home.		
授業外質問方法	"Please feel free to come to my office on the 3rd floor (#311) or contact me by email (mifuku@tuins.ac.jp)."		
オフィス・アワー	Tuesday, 2nd period.		

授業科目名	英語（B）			科目コード	K0301P01
英文名	English I				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	非常勤講師	担当教員名	須加 光		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	3限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	英語によるコミュニケーションに参加するための基本的な「聞く」「話す」「読む」「書く」能力の向上を目指し、グローバル化する社会に対応しうる基礎的な英語力を養う。				
キーワード	実践的コミュニケー	リサーチ	TED talk	英語と日本語による	
到達目標	(1) 社会・文化・科学などに関する基礎的な英文を「読む、聞く」ことで、内容を理解することができる。				
	(2) 理解した内容や習得した表現を踏まえ、英語で意見などを「話す、書く」ことで情報発信ができる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction, ice-breaking, and course orientation Pair work: Self-introduction	
	【予習】	
	【復習】 Review the syllabus Complete the self-introduction worksheet	30分
第2回	Presetations of self-introduction Unit 1 Goal A, B and C	
	【予習】 Unit 1 Goal D and E	30分
	【復習】 Vocabulary and grammar in Unit 1 Goal A, B and C	30分
第3回	Review and explanations of Unit 1 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】 Unit 2 Goal A	30分
	【復習】 Unit 1 Goal A, B, C, D and E	30分
第4回	Unit 2 Goal A, B and C	
	【予習】 Unit 2 Goal D and E	30分
	【復習】 Vocabulary and grammar in Unit 2 Goal A, B and C	30分
第5回	Review and explanations of Unit 2 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】 Unit 3 Goal A	30分
	【復習】 Unit 2 Goal A, B, C, D and E	30分
第6回	Unit 3 Goal A, B and C	
	【予習】 Unit 3 Goal D and E	30分
	【復習】 Vocabulary and grammar in Unit 3 Goal A, B and C	30分
第7回	Review and explanations of Unit 3 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】 Unit 4 Goal A	30分
	【復習】 Unit 3 Goal A, B, C, D and E	30分
第8回	Units 1-3 review, Mid-term Exam	
	【予習】 Review units 1-3 Study for Mid-term Exam	60分
	【復習】 Review	30分

第9回	Unit 4 Goal A, B and C	
	【予習】Unit 4 Goal D and E	30分
	【復習】Vocabulary and grammar in Unit 4 Goal A, B and C	30分
第10回	Review and explanations of Unit 4 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】Unit 5 Goal A	30分
	【復習】Unit 4 Goal A, B, C, D and E	30分
第11回	Unit 5 Goal A, B and C	
	【予習】Unit 5 Goal D and E	30分
	【復習】Vocabulary and grammar in Unit 5 Goal A, B and C	30分
第12回	Review and explanations of Unit 5 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】Unit 6 Goal A	30分
	【復習】Unit 5 Goal A, B, C, D and E	30分
第13回	Unit 6 Goal A, B and C	
	【予習】Unit 6 Goal D and E	30分
	【復習】Vocabulary and grammar in Unit 6 Goal A, B and C	30分
第14回	Review and explanations of Unit 6 Goal D and E/ Video journal	
	【予習】	30分
	【復習】Unit 6 Goal A, B, C, D and E	30分
第15回	Units 3-6 review, summary of the course	
	【予習】Review units 3-6	30分
	【復習】Study for Final Exam	30分
第16回	Final exam	
	【予習】Study for Final Exam	60分
	【復習】	

評価方法	(1) Mid-term Exam (20%) (2) Final Exam (20%) (3) Unit quizzes (30%) (4) homework and classwork (30%)		
使用資料 < テキスト >	World English Level 2: Real people, Real places, Real language, Third edition,	使用資料 < 参考図書 >	Students are required to bring their notebooks.
授業外学修等			
授業外質問方法	講義内及び講義終了後（講義同日）、電子メール。		
オフィス・アワー	同上		

授業科目名	英語（C）			科目コード	K0301P01
英文名	English I				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	非常勤講師		担当教員名	Sherri Scanlan	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	火曜日		時限	3限目	
開講時期	1年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	必修		単位数	2単位	
授業の概要	In this class students will work to improve their practical English speaking skills. Each lesson will focus on vocabulary, reading, listening and speaking.				
キーワード	listening	speaking	vocabulary	communication	
到達目標	Students will practice everyday English that will help them when communicating in the real world. In addition, they will get new vocabulary and expressions to expand their English base.				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	class introduction. Get to know you and Classroom English	
	【予習】 interview speaking practice followed by letter writing evaluation	
	【復習】	
第2回	Unit 7: Things that matter	
	【予習】 Section A: Spending habits, Section B: Needs and wants, Section C: Better lives	
	【復習】 Review vocabulary and grammar at home	
第3回	Unit 7: Things that matter	
	【予習】 Section D: lifestyles, Section E: Priorities	
	【復習】	
第4回	Unit 7: Things that matter	
	【予習】 Video Journal and writing	
	【復習】 edit writing at home if necessary	20分
第5回	Unit 8: Conservation	
	【予習】 Section A: Consequences, Section B: Future Problems, Section C: A Situation	
	【復習】 review vocabulary and grammar at home	20分
第6回	Unit 8: Conservation	
	【予習】 Section D: Conservation Projects, Section E: Conservation Issue	
	【復習】	20分
第7回	Unit 8: Conservation	
	【予習】 Video Journal and writing	
	【復習】 finish writing at home if necessary	
第8回	Test 1: Unit 7 and 8	
	【予習】	
	【復習】	
第9回	Unit 10: Travel	
	【予習】 Section A: Organizing a Trip, Section B: Vacations, Section C: English at the Airport	
	【復習】 review vocabulary and grammar at home	15分

第10回	Unit 10: Travel	
	【予習】Section D: Discuss Travel, Section E: A cultural Event,	
	【復習】	15分
第11回	Unit 10: Travel	
	【予習】Video Journal and writing	
	【復習】Finish writing at home if necessary	
第12回	Unit 12: Celebrations	
	【予習】Section A: A Celebration, Section B: Compare Holidays, Section C: Congratulations and Good Wishes	
	【復習】review vocabulary and grammar at home	
第13回	Unit 12: Celebrations	
	【予習】Section D: Rituals, Section E: Opinions about Holidays	
	【復習】	15分
第14回	Unit 12: Celebrations	
	【予習】Video Journal and writing	
	【復習】finish writing at home if necessary	20分
第15回	Test 2: Units 10 and 12	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	Test 1: 40%, Test 2: 40%, Class participation/homework: 20%		
使用資料 < テキスト >	World English 2, (third edition), National Geographic Learning (Cengage) ISBN:	使用資料 < 参考図書 >	book dictionaries or electronic dictionaries ONLY: NO Smartphone dictionaries or Apps
授業外学修等	Students will have to edit some writing at home with NO translation apps on phones or computers. ANY use of translation apps or software will result in an automatic ZERO on all work.		
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	英語（D）			科目コード	K0301P01
英文名	English I				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	非常勤講師	担当教員名	Miah Khaitova		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	3限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	This course consists of three blocks. Each block is dedicated to a certain topic. First, students will work in pairs and small groups to improve their practical English speaking skills. Each lesson will focus on vocabulary, reading, listening and speaking				
キーワード	listening	speaking	vocabulary	communication	
到達目標	Students will practice everyday English that will help them when communicating in the real world. In addition, they will get new vocabulary and expressions to expand their English base. They will be expected to perform short conversations. Similarly, stu				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
		○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	Course introduction. Get to know each other		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	What makes you laugh?		
	【予習】		
	【復習】		
第3回	The science of smiling.		
	【予習】		
	【復習】		
第4回	Team project: tell/play a joke or a funny story		
	【予習】		
	【復習】		
第5回	Block 1 Test		
	【予習】		
	【復習】		
第6回	Why do we enjoy sports?		
	【予習】		
	【復習】		
第7回	Sports in our lives		
	【予習】		
	【復習】		
第8回	When to involve children in sports?		
	【予習】		
	【復習】		
第9回	Team project related to sports		
	【予習】		
	【復習】		

第10回	Team project related to sports	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	Block 2 Test	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	Around the world	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	Cultural studies	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	Team project related to cultures	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	Review	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	Final Test	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	Block tests (30%), Final test (25%), Progress (20%), Class participation/homework (25%)		
使用資料 <テキスト>	Teacher provides study materials.	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	Students will have to work on their pronunciation skills. Participation in this class could be a great chance to prepare for a real-world situations when facing children in the classroom. Therefore, the emphasis is made on listening and speaking activitie		
授業外質問方法	At all times students are welcome to contact me at aeshindai@gmail.com		
オフィス・アワー			

授業科目名	日本の動き			科目コード	K0301P07
英文名	Current Issues in Japan				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	教授 非常勤講師	担当教員名	彼谷 環 岩本 聡		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	3限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	私たちの暮らしている日本という国はいま、どんなふうに動いているのか、現役の新聞記者と憲法研究者が読み解きます。この国が抱えるさまざまな問題を見据え、主権者としての判断に生かしてください。教材は新聞と映像です。この機会に新聞を使いこなす技術も身につけ、レポートや論文づくりに活用できるようにしましょう。（岩本は新聞社での実務経験教員）				
キーワード	日本と世界	戦後体制	民主主義	女性と政治	SDGs
到達目標	新聞を読み、時事問題を理解することができる（30％）。				
	疑問に思ったことを自分で調べ、異なる意見を比較検討できる（30％）。				
	時事問題についてまとまった考えが表現できる（40％）。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
		○			
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○		○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○	○		○	○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス（彼谷） ・授業では「何を」「どのように」学んでいくか ・Withコロナ時代においてSDGsをどう実現していくか	
	【予習】関心あるニュースを探し、要約してみる	90分
	【復習】配布資料の確認を行う	90分
第2回	新聞の機能と役割……新聞、テレビ、インターネットの違いとは（岩本）	
	【予習】配布資料を読む	90分
	【復習】テーマに関する報道をさらに調べる	90分
第3回	新型コロナ対策……命か経済か（岩本）	
	【予習】配布資料を読む	90分
	【復習】テーマに関する報道をさらに調べる	90分
第4回	「新しい生活様式」とは……地球温暖化対策と資本主義の行方（岩本） 配布資料	
	【予習】配布資料を読む	90分
	【復習】感想や意見を「課題1」に投稿する	90分
第5回	原発とエネルギー問題……福島第1原発事故から何を学ぶか（岩本） 配布資料 配布資料 配布資料	
	【予習】配布資料を読む	90分
	【復習】テーマに関する報道をさらに調べる	90分
第6回	人口減少と地方創生……コロナ禍のピンチがチャンスに（岩本）	
	【予習】配布資料を読む 配布資料 配布資料	30分
	【復習】テーマに関する報道をさらに調べる	30分
第7回	選挙制度の変遷と政治の劣化……問われる「権力の恣意的使用」（岩本）	
	【予習】配布資料を読む	90分
	【復習】テーマに関する報道をさらに調べる	90分
第8回	憲法改正……9条と「改正ありき」（岩本）	
	【予習】配布資料を読む	90分
	【復習】テーマに関する報道をさらに調べる	90分

第9回	憲法9条と安全保障・基地問題……戦後政治が積み残してきたもの（岩本）	
	【予習】配布資料を読む	90分
	【復習】テーマに関する報道をさらに調べる	90分
第10回	象徴天皇制の行方……どう見る「眞子さま結婚問題」（岩本）	
	【予習】配布資料を読む	90分
	【復習】テーマに関する報道をさらに調べる	90分
第11回	アウシュビッツと「良心の選択」……何を学び、どう生きるか（岩本）	
	【予習】配布資料を読む	90分
	【復習】テーマに関する報道をさらに調べる	90分
第12回	日本の労働法制（彼谷）	
	【予習】テーマに関する報道を調べておく	90分
	【復習】・配布資料を基に自分の意見をまとめられるようにする。	90分
第13回	「女性活躍」とはなにか（彼谷）	
	【予習】テーマに関する報道を調べておく	90分
	【復習】・配布資料を基に自分の意見をまとめられるようにする	90分
第14回	デジタル化による教育改革（彼谷）	
	【予習】テーマに関する報道を調べておく	90分
	【復習】・配布資料を基に自分の意見をまとめられるようにする	90分
第15回	日本の防災システムを検証する（彼谷）	
	【予習】テーマに関する報道を調べておく	90分
	【復習】・希望者は、北日本新聞コラムへの投稿を準備する ・字数は350～400字程度 → 「課題提出1」にアップロードする	90分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 Ⅰでは、授業中に指定する課題を中心に評価する（50％）。 到達目標項目 Ⅱ及びⅢでは、期末レポートで評価する（50％）。 人間性：50％、 社会性：50％ なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	テーマごとに新聞記事や関連書籍の抜き刷りを配布する	使用資料 ＜参考図書＞	必要に応じて紹介する
授業外学修等	日頃から新聞に目を通し、時事問題を認識し、それに対する自己の意見を展開できるよう訓練してください。		
授業外質問方法	時間外の質問はメールで受け付ける 岩本(iwamoto@ma.kitanippon.co.jp) 彼谷 (kayatama@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	授業終了後		

授業科目名	TOEIC			科目コード	K0306L04
英文名	TOEIC				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	非常勤講師		担当教員名	小林 佳奈子	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	月曜日		時限	2限目	
開講時期	1年・2年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	TOEIC各パートの解き方や対策を学び、応用問題に取り組みます。 4技能のトレーニング方法を身につけ、自主学習の方法を学びます。 TOEICのスコアアップを狙うとともに、スコア同等の英会話力を身につけます。				
キーワード	TOEIC	Speaking	Listening	Reading	
到達目標	英語学習における自分自身の目標を設定し、その達成のために計画的に学習を進める力をつける。また、目標達成のためにどのような学習が必要なのかを知る。				
	TOEICの攻略法を学習し、実際の試験でそれを活かす力を身につける。				
	英語における4技能のトレーニング方法を身につけ、自律した学習者を目指す。				
	英会話の基礎を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）			「人」としての資質・能力（人間性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction TOEICとは 英語学習・TOEICの目標設定 【ゼロドリ】第1章 英文の基本、これからの学習について	
	【予習】	
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.10～p.19、p.24～27 基本ドリル 練習 練習方法は授業中に学習します。	90分
第2回	TOEIC Part 1 対策 基本問題・リスニングトレーニング（短文） 【ゼロドリ】第1章p.42～p.45	
	【予習】【ゼロドリ】第1章p.30～p.31	30分
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.42～p.45 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第3回	TOEIC Part 5 対策 問題パターンの見分け 【ゼロドリ】第1章p.46～p.49	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.46～p.49 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第4回	TOEIC Part 2 対策 基本問題 【ゼロドリ】第2章p.58～p.61、p.64～p.65、p.68～73、p.76～p.77	
	【予習】【ゼロドリ】第2章p.58～p.61、p.68～73 会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.58～p.61、p.64～p.65、p.68～73、p.76～p.77 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第5回	TOEIC Part 5 対策 文法問題の解き方 【ゼロドリ】第2章p.84～p.85、p.88～p.89、p.92～93	
	【予習】【ゼロドリ】第2章p.84～p.85 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.84～p.85、p.88～p.89、p.92～93 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第6回	TOEIC Part 1 対策 難問対策 【ゼロドリ】第2章p.94～p.97、第4章p.120～p.123、p.128～p.129	
	【予習】TOEIC Part 1 対策 で学習した内容 【ゼロドリ】第2章p.94～p.95、第4章p.120～p.123 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.94～p.97、第4章p.120～p.123、p.128～p.129 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分

第7回	TOEIC Part 5 対策 実践練習 【ゼロドリ】第 5 章p.138 ~ p.145	
	【予習】TOEIC Part 5 対策 で学習した内容 【ゼロドリ】第 5 章p.138 ~ p.141 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第 5 章p.138 ~ p.145 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 5 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第8回	TOEIC Part 2 対策 難問対策 【ゼロドリ】第 5 章p.146 ~ p.147、第 6 章p.156 ~ p.159	
	【予習】TOEIC Part 2 対策 で学習した内容 【ゼロドリ】第 6 章p.156 ~ p.157 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第 5 章p.146 ~ p.147、第 6 章p.156 ~ p.159 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 2 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第9回	Part 7 時間配分・速読トレーニング 【ゼロドリ】第 6 章p.160 ~ p.163	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第 6 章p.160 ~ p.163 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 7 速読トレーニング 学習方法は授業中に説明します。	150分
第10回	TOEIC Part 3 対策 リスニングトレーニング（長文） 【ゼロドリ】第 1 章p.28 ~ p.29、p.50 ~ p.55	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第 1 章p.28 ~ p.29、p.50 ~ p.55 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 【TOEIC】Part 3 リスニングトレーニング 学習方法は授業中に説明します。	150分
第11回	TOEIC Part 3 対策 問題の解き方 【ゼロドリ】第 2 章p.82 ~ p.83、p.98 ~ p.102	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第 2 章p.82 ~ p.83、p.98 ~ p.102 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 【TOEIC】Part 3 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第12回	TOEIC Part 4 対策 問題の解き方 【ゼロドリ】第 3 章p.114 ~ p.117	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第 3 章p.114 ~ p.117 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 【TOEIC】Part 4 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分

第13回	TOEIC Part 7 対策 問題の解き方 【ゼロドリ】第4章p.132～p.135	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。 【TOEIC】Part 7 問題 予習方法は第12回の授業中に説明します。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第4章p.132～p.135 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 【TOEIC】Part 7 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第14回	TOEIC対策の復習 【ゼロドリ】第5章p.150～p.153	
	【予習】【TOEIC】学習した対策復習	60分
	【復習】【ゼロドリ】第5章p.150～p.153 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 【TOEIC】実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第15回	会話練習の復習 【ゼロドリ】第6章p.164～p.167、語彙リストp.168～p.175	
	【予習】	
	【復習】【ゼロドリ】第6章p.164～p.167、語彙リストp.168～p.175 復習ドリル・チャレンジドリル 練習 期末試験に向けて学習	180分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 、 、 については、授業中に指定する課題への取り組み、授業への参加態度を中心に評価する。（50％） 到達目標 については、期末筆記テストで評価する。（50％） なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	・公式TOEIC®Listening & Reading問題集 7 （IIBC）	使用資料 ＜参考図書＞	英英辞書、もしくは英和辞書（電子辞書、 携帯アプリ可）
授業外学修等	タスクを計画的に行うことを強く推奨します。予習よりも復習に比重を多く置いています。やり方は講義内で説明致します。 。毎授業冒頭に、【ゼロドリ】の復習ができているかチェックテストを行います。ペアでチェックし、その評価を講師が確認します。		
授業外質問方法	授業前または終了後		
オフィス・アワー	授業前または終了後、非常勤講師控室で対応致します。		

授業科目名	異文化研修			科目コード	K0306L09
英文名	International Cultural Exchange for Children				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	教授	担当教員名	福島 美枝子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	4限目		
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	今年度の訪問国はカナダです。日本でよく名の知られた国ですが、意外と知らないことが多いのも事実です。この国の広大な自然や多民族の街,そしてそこに暮らす人々との交流を通して、国際的な視野やコミュニケーション能力を養いたいと思います。事前授業で十分に準備をしたのち、レスブリッジ大学（アルバータ州）で研修を行ないます。帰途はバンクーバー（ブリティッシュコロンビア州）で名所旧跡を訪問し、広大な自然と大都市の両方を鑑賞する予定です。				
キーワード	カナダ	広大な自然	多民族社会	大学での研修	交流活動
到達目標	訪問国カナダの地理、歴史、社会、教育について基礎的な知識を習得し、さらに各自の関心事に関する調査・研究を行なう。				
	現地での交流を通して英語による国際的なコミュニケーション力や自己表現力を養う。				
	コミュニケーションの場面や目的に相応しい英語表現を学び、そうした表現を自身で見つける方法についても学ぶ。				
	現地の文化財や自然環境の鑑賞と、日本の良さへの気づき。				
	視野を広げ、異なる文化を持つ人々の共存について考える。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○					
ディプロマポリシー	4.21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○		○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
○			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Learning about Canada: (1) geography and history; (2) diversity; (3) how to get information for your research study	
	【予習】	
	【復習】 a worksheet for reviewing	30分
第2回	Learning about Canada: (3) politics; (4) Canadian education system	
	【予習】	
	【復習】 a worksheet for reviewing	30分
第3回	Learning about Alberta and the University of Lethbridge: (1) Lethbridge; (2) The University of Lethbridge; (3) Program for TUIINS students	
	【予習】 searching information about the city of Lethbridge and the University of Lethbridge on the Internet	30分
	【復習】 a worksheet for reviewing	30分
第4回	English conversation practice: (1) situation-based learning; (2) communicative-function-based learning	
	【予習】 making a list of useful expressions in English for daily conversation	30分
	【復習】 saying the learned expressions aloud several times to acquire them	30分
第5回	Guidance for the participants' own research study on a topic about Canada	
	【予習】 making a list of the things and questions about Canada of your interest	30分
	【復習】 setting up your own research topic/s and finding useful books and articles .	60分
第6回	English conversation practice: (3) English for homestay; (4) questions you want to ask	
	【予習】 searching information on English for homestay on the Internet	30分
	【復習】 saying the learned expressions aloud several times to acquire them	30分
第7回	Each participant's report on his/her own research study about Canada	
	【予習】 getting ready to speak about what you have explored so far regarding the thing/s of your interest	60分
	【復習】 clarifying what to be further looked into for your research	30分
第8回	Preparing for the meetings with Uleth students, elementary school students, and daycare children: (1) working on your own ideas	
	【予習】 working on some ideas of activities, either for: Group 1: Uleth students; Group 2: daycare children; or Group 3: elementary school children	30分
	【復習】 clarifying what to be made for the selected activities	30分

第9回	Preparing for the meetings with Uleth students, elementary school students, and daycare children: (2) making materials for the meetings	
	【予習】 asking the teacher to get necessary papers, scissors, glues, pens, taes, etc.	20分
	【復習】 checking to see if all the materials are ready	20分
第10回	Preparing for the meetings with Uleth students, elementary school students, and daycare children: (3) rehearsing; (4) preparing for lesson observation:	
	【予習】 writing a speech draft and rehearsing	60分
	【復習】 setting up particular viewpoints for lesson observation and questions to ask in an interveiw with: 1) Uleth students; 2) early childhood educators; and 3) elementary school teachers	30分
第11回	Guidance for crisis management	
	【予習】	
	【復習】 reading the TUINS booklet and the teacher's advice on crisis management again at home	30分
第12回	Cross-cultural study abroad in Canada: from early March or middle February to middle March (2 weeks or 1 month) Part 1 10-day or 26-day custom program offered by the University of Lethbridge: English lessons; learning about Canada (diversity, education system, etc), meeting with education students, visiting the campus daycare, meeting with elementary school students, Conversation Cafe with Canadian students, etc.	
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回	Part 2 Visiting famous places in Vancouver Gastown, Grouse Mountain, Capilano Suspension Bridge, Granville Island, Stanley Park, etc.	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	Students are required to submit their term papers a couple of days after getting back to Toyama, Japan.	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	(1)事前授業とカナダでの研修への取り組み（50％）（2）レポート（50％）・・・帰国後早期に提出		
使用資料 <テキスト>	授業でプリント教材配付	使用資料 <参考図書>	・授業で適宜紹介
授業外学修等	1．事前授業段階から始める個人研究に熱心に取り組み、最終的な成果をレポートにまとめます。情報源の探し方も学びます。 2．構えず、自然体で、英語を使ってやりとりをしてみようと思う気持ちが大事です。日常的に、自分に必要な英語表現を自分で 見つけ、それを使ってみる習慣を身につけてください。		
授業外質問方法	研究室での面談、またはメールでの連絡 mifuku@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	Tuesday, 2nd period.		

授業科目名	インターナショナルプログラムズ（長期）			科目コード	K0306L10
英文名	Current Issues in Japan				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	教授	担当教員名	福島 美枝子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	自由	単位数	12単位		
授業の概要	本プログラムは、原則として3カ月以上、1年以下の留学プログラムである。留学先は、フランス、オーストラリア、マルタ、米国、カナダ、中国、韓国等の本学との提携校である。現地での語学研修のプログラム内容は留学先で異なるが、派遣前指導、派遣後指導を行い、受講時間数ならびに成績によって単位を与える。				
キーワード	語学のスキルアップ	異文化理解			
到達目標	語学研修プログラムを通して、語学のスキルアップを図る。				
	ホームステイや学生寮での生活を通して、現地の人々との交流を図る。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○	○		○	

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	派遣前指導、派遣先大学の状況、生活等について説明。		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第3回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第4回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第5回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第6回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第7回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第8回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第9回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		

第10回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	事後指導、本学における単位認定請求の資料作成。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	現地研修の時間数や成績に応じて、単位を与える。評価は、認定単位 (P)とする。		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	インターナショナルプログラムズ（短期）			科目コード	K0306L11
英文名	Current Issues in the World				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	教授	担当教員名	福島 美枝子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	集中講義	時限	集中講義		
開講時期	1年・2年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	自由	単位数	4単位		
授業の概要	本プログラムは、2週間～5週間の留学プログラムである。留学先は、フランス、オーストラリア、マルタ、米国、カナダ、中国、韓国等の本学との提携校である。現地での語学研修のプログラム内容は留学先で異なるが、派遣前指導、派遣後指導を行い、受講時間数ならびに成績によって単位を与える。				
キーワード	語学のスキルアップ	異文化理解			
到達目標	語学研修プログラムを通して、語学のスキルアップを図る。				
	ホームステイや学生寮での生活を通して、現地の人々との交流を図る。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	国際人に必要な外国語能力の向上				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○	○		○	

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	派遣前指導、派遣先大学の状況、生活等について説明。		
	【予習】		
	【復習】		
第2回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第3回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第4回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第5回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第6回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第7回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第8回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		
第9回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。		
	【予習】		
	【復習】		

第10回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	現地研修、それぞれの派遣校のプログラムに従い、語学の4技能を伸ばす。	
	【予習】	
	【復習】	
第16回	事後指導、本学における単位認定請求の資料作成。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	現地研修の時間数や成績に応じて、2 ～ 4 単位を与える。評価は、認定単位 (P)とする。		
使用資料 <テキスト>		使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	TOEIC			科目コード	K0306P03
英文名	TOEIC				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 国際化対応				
職名	非常勤講師		担当教員名	小林 佳奈子	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	月曜日		時限	2限目	
開講時期	1年・2年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	TOEIC各パートの解き方や対策を学びます。4 技能のトレーニング方法を身につけ、自主学習の方法を学びます。TOEICのスコアアップを狙うとともに、スコア同等の英会話力を身につけます。				
キーワード	TOEIC	Speaking	Listening	Reading	
到達目標	英語学習における自分自身の目標を設定し、その達成のために計画的に学習を進める力をつける。また、目標達成のためにどのような学習が必要なのかを知る。				
	TOEICの攻略法を学習し、実際の試験でそれを活かす力を身につける。				
	英語における 4 技能のトレーニング方法を身につけ、自律した学習者を目指す。				
	英会話の基礎を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）			「人」としての資質・能力（人間性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○		○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	Introduction TOEICとは 英語学習・TOEICの目標設定 【ゼロドリ】第1章 英文の基本、これからの学習について	
	【予習】	
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.10～p.23 基本ドリル 練習 練習方法は授業中に学習します。	90分
第2回	TOEIC Part 1 対策 基本問題・リスニングトレーニング（短文） 【ゼロドリ】第1章p.30～p.33	
	【予習】【ゼロドリ】第1章p.30～p.31	30分
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.30～p.33 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第3回	TOEIC Part 5 対策 問題パターンの見分け 【ゼロドリ】第1章p.34～p.37	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.34～p.37 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第4回	TOEIC Part 2 対策 基本問題 【ゼロドリ】第1章p.38～p.41	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第1章p.38～p.41 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第5回	TOEIC Part 5 対策 文法問題の解き方 【ゼロドリ】第2章p.58～p.63、p.66～p.67	
	【予習】【ゼロドリ】第2章p.58～p.61 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.58～p.63、p.66～p.67 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分
第6回	TOEIC Part 1 対策 難問対策 【ゼロドリ】第2章p.68～p.75、p.78～p.79	
	【予習】TOEIC Part 1 対策 で学習した内容 【ゼロドリ】第2章p.68～p.73 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.68～p.75、p.78～p.79 基本ドリル 練習 【TOEIC】授業で扱った問題 学習方法は授業中に説明します。	120分

第7回	TOEIC Part 5 対策 実践練習 【ゼロドリ】第2章p.80～p.81	
	【予習】TOEIC Part 5 対策 で学習した内容 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.80～p.81 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 5 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第8回	TOEIC Part 2 対策 難問対策 【ゼロドリ】第2章p.84～p.87、p.90～p.91	
	【予習】TOEIC Part 2 対策 で学習した内容 【ゼロドリ】第2章p.84～p.85 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第2章p.84～p.87、p.90～p.91 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 2 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第9回	Part 7 時間配分・速読トレーニング 【ゼロドリ】第3章p.104～p.109	
	【予習】【ゼロドリ】第3章p.104～p.105 会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第3章p.104～p.109 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 7 速読トレーニング 学習方法は授業中に説明します。	150分
第10回	TOEIC Part 3 対策 リスニングトレーニング（長文） 【ゼロドリ】第3章p.110～p.113	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。	30分
	【復習】【ゼロドリ】第3章p.110～p.113 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 3 リスニングトレーニング 学習方法は授業中に説明します。	150分
第11回	TOEIC Part 3 対策 問題の解き方 【ゼロドリ】第4章p.120～p.127	
	【予習】【ゼロドリ】第4章p.120～p.123 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第4章p.120～p.127 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 3 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第12回	TOEIC Part 4 対策 問題の解き方 【ゼロドリ】第4章p.130～p.131、第5章p.138～p.141、p.148～p.149	
	【予習】【ゼロドリ】第5章p.138～p.141 会話練習で話したい内容を考えてくる。	60分
	【復習】【ゼロドリ】第4章p.130～p.131、第5章p.138～p.141、p.148～p.149 基本ドリル 練習 【TOEIC】Part 4 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分

第13回	TOEIC Part 7 対策 問題の解き方	
	【予習】会話練習で話したい内容を考えてくる。 【TOEIC】Part 7 問題 予習方法は第12回の授業中に説明します。	60分
	【復習】【ゼロドリ】復習 自分で設定する 【TOEIC】Part 7 実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第14回	TOEIC対策の復習	
	【予習】【TOEIC】学習した対策復習	60分
	【復習】【ゼロドリ】復習 自分で設定する 【TOEIC】実践練習 学習方法は授業中に説明します。	120分
第15回	会話練習の復習	
	【予習】	
	【復習】期末試験に向けて学習	180分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 、 、 については、授業中に指定する課題への取り組み、授業への参加態度を中心に評価する。（50％） 到達目標 については、期末筆記テストで評価する。（50％） なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	・公式TOEIC®Listening & Reading問題集 7 （libC）	使用資料 <参考図書>	英英辞書、もしくは英和辞書（電子辞書、 携帯アプリ可）
授業外学修等	タスクを計画的に行うことを強く推奨します。予習よりも復習に比重を多く置いています。やり方は講義内で説明致します。 。毎授業冒頭に、【ゼロドリ】の復習ができているかチェックテストを行います。ペアでチェックし、その評価を講師が確認します。		
授業外質問方法	授業前または終了後		
オフィス・アワー	授業前または終了後、非常勤講師控室で対応致します。		

授業科目名	人間と情報			科目コード	K0401L01
英文名	Humans and Information				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 情報化対応				
職名	教授	担当教員名	新森 昭宏		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	政府が2021年度から推進する「第6期科学技術・イノベーション基本計画」では、第5期基本計画で提起された「Society 5.0」の具体化が宣言されている。これは、「『狩猟社会』『農耕社会』『工業社会』『情報社会』に続く、人類史上5番目の新しい社会」として定義されているものである。一方、産業界においては、データとデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革する「デジタルトランスフォーメーション(DX)」の取り組み機運が高まっている。教育界では、小学校プログラミング教育やGigaスクール構想など、教育の情報化の取り組みも加速されつつある。本授業ではまず、これらの動向を概説する。その後、政府の「AI戦略2019」が掲げた目標「文理を問わず、全ての大学・高専生が、課程にて初級レベルの数理・データサイエンス・AIを習得」に従い、そのカリキュラムに沿った授業と演習を行う。 (担当教員：企業での実務経験あり)				
キーワード	Society 5.0	デジタルトランスフ	教育の情報化	数理・データサイエ	
到達目標	「Society 5.0」と「デジタルトランスフォーメーション(DX)」の基本的内容を理解し、説明できる。(20%)				
	現在進められている「教育の情報化」の概要を理解し、説明できる。(10%)				
	「数理・データサイエンス・AI」の基礎的内容を理解し、課題や留意事項も踏まえた上で、その活用に取り組むことができる。(60%)				
	数百件～数千件レベルの実データの集計・加工・分析ができる。(10%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
		○			
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）			教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○		○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○					

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	本授業のオリエンテーションを行う。 「『狩猟社会』『農耕社会』『工業社会』『情報社会』」に続く、人類史上5番目の新しい社会」として定義されてる「 Society 5.0 」について説明する。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う) 説明資料：人間と情報-第1回	
	【予習】本授業の内容や学習の方法について、事前にシラバスを見て予習しておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第2回	データとデジタル技術を活用してビジネスモデルを変革する「デジタルトランスフォーメーション(DX)」について説明する。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】新聞記事やインターネットで「デジタルトランスフォーメーション(DX)」について調べておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第3回	小学校プログラミング教育やGigaスクール構想など、教育の情報化の動向について説明する。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】新聞記事やインターネットで、教育の情報化の動向について調べておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第4回	「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」の「1-1. 社会で起きている変化」について説明する。(その1) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】新聞記事やインターネットで「データ駆動社会」について調べておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第5回	「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」の「1-1. 社会で起きている変化」について説明する。(その2) (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】新聞記事やインターネットで「人工知能(AI)」について調べておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第6回	「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」の「1-2. 社会で活用されているデータ」と「1-3. データ・AI活用領域」について説明する。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】新聞記事やインターネットで「構造化データ、非構造化データ」について調べておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第7回	「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」の「1-4. データ・AI利用のための技術」について説明する。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行います)	
	【予習】新聞記事やインターネットで「回帰」について調べておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第8回	「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」の「1-5. データ・AI利用の現場」「1-6. データ・AI利用の最新動向」について説明する。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】新聞記事やインターネットで「深層学習(ディープラーニング)」について調べておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分

第9回	「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」の「2-1. データを読む」について説明する。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】高校までで習った「基本統計量」について復習しておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第10回	「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」の「2-2. データを説明する」について説明する。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】高校の教科書またはインターネットで「ヒストグラム、散布図」について調べておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第11回	「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」の「2-3 データを扱う」について説明する。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】Excelの使い方を復習しておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第12回	数百件～数千件レベルの実データを用いた集計・加工・分析の演習を行う。	
	【予習】第1回から第11回までの説明スライドを見返しておくこと。	30分
	【復習】自分が行った集計・加工・分析結果を見直し、間違っていた点や改善すべき点があれば、やり直しを行う。	60分
第13回	「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」の「3-1. データ・AIを扱う上での留意事項」について説明する。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】新聞記事やインターネットで「個人情報保護」について調べておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第14回	「数理・データサイエンス・AI（リテラシーレベル）モデルカリキュラム」の「3-2. データを守る上での留意事項」について説明する。 (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行います)	
	【予習】新聞記事やインターネットで「情報セキュリティ」について調べておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第15回	全体まとめ (理解度を自己確認できるように、授業中にMicrosoft Formsを使った小テストを行う)	
	【予習】これまでの説明スライドを見返しておくこと。	30分
	【復習】授業で説明したスライドを再確認し、小テスト結果を見直しておくとともに、課題に取り組む。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	期末試験（60％）、各回の課題（40％）にて評価する。 「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：10％ 社会性：10％ 専門性：80％		
使用資料 <テキスト>	毎回、資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	内閣府「科学技術・イノベーション」のホームページ
授業外学修等	毎回何らかの課題を課す。提出された課題のうちフィードバックが必要なものは、次回の授業でフィードバックを行う。		
授業外質問方法	電子メールによる質問を受け付ける。 shinmori@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	情報処理演習(A)			科目コード	K0401P02
英文名	Training in Computer Literacy				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 情報化対応				
職名	非常勤講師	担当教員名	岡根 江見		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日	時限	2限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	情報処理の基礎知識を学び、大学での研究活動および社会人として職務に就く時に備え、最低限のスキルを身につける。				
キーワード	文書作成	表計算	プレゼンテーション		
到達目標	各自の所有するパソコンについて理解し、レポートの作成や卒論研究などの教育研究活動に役立てるため、ワープロ、表計算、プレゼンテーションのためのソフトウェアを利用できるようにする。 また、幼稚園、保育園、小学校などの教員、またはその他の職務についたときに備え、効果的に情報を伝えることができるよう、基礎的なデザインスキルを身につ				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○					
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	各自のパソコンのセットアップ作業を行う アプリケーションの起動確認	
	【予習】パソコン本体・周辺機器・マニュアルなどが、すべて揃っているか確認しておく	
	【復習】パソコンやアプリケーションの起動・終了の確認をする	
第2回	メールの送受信、Web検索、クラウド、オンライン会議など、ネットワークの利用について学習する (Microsoft365の使用法)	
	【予習】前回授業での作業が終わっているか確認する。パソコン・アプリケーションを起動・終了させてみる。	
	【復習】授業で行った内容を再度練習し、確認しておく。	
第3回	Windowsに標準搭載のアプリケーションについて学習する (テキストエディタ、ペイント、カメラ、電卓など)	
	【予習】 Windowsとは何か OSとは何か について調べておく ローマ字をおさらいしておく	
	【復習】文字入力について、思い通りの入力ができるように練習しておく	
第4回	文書の作成 1 (文字入力方法の確認、名刺の作成)	
	【予習】カメラで自分の写真を撮って、ファイルに保存しておく	
	【復習】出来上がった名刺について、デザインの微調整など行う フォルダやファイルの整頓をしておく	
第5回	オンライン会議によるグループディスカッション	
	【予習】自己紹介の内容を考えておく	
	【復習】ディスカッションをした内容について記録をまとめておく	
第6回	文書の作成 2 Wordを使って、チラシを作製する	
	【予習】公共の場所に置いてあるチラシやポスターで、気に入ったものや、興味を引くものをよく見ておく Microsoft Wordが、どのような目的で使われ、何ができるソフトウェアなのか調べておく	
	【復習】自分が作ったチラシを校正する	
第7回	文書の作成 3 Wordを使って、簡単なレポートを作成する	
	【予習】好きな本、気に入った本など、人に紹介したい本や絵本を1冊用意する 借りたものでもよいが、破損や紛失のないよう各自が注意すること 選んだ本を読んで、アピールポイントを考えておく	
	【復習】自分が作ったレポートを校正し、印刷する	
第8回	プレゼンテーションの方法 1 プレゼンテーションを企画する、素材の作成、収集	
	【予習】Microsoft Power Point について、どんな目的で使われ、何ができるソフトウェアなのか調べておく	
	【復習】次週、プレゼン資料の作成にスムーズにとりかかれるよう、素材の準備を終わらせておく	

第9回	プレゼンテーションの方法2 前回企画したプレゼンテーションについて、資料を作成する	
	【予習】プレゼンテーション資料の作成にスムーズにとりかかれるよう、素材の準備を終わらせておく	
	【復習】次週発表ができるよう、資料を完成させておく	
第10回	プレゼンテーションの方法3 前回までに作成したプレゼンテーションの発表を行う	
	【予習】発表ができるよう、資料を完成させておく	
	【復習】発表の評価・感想などをまとめておく	
第11回	表計算の利用1 （入力方法、表の作成）	
	【予習】Microsoft Excelは、どのような目的で使われ、どのようなことができるソフトウェアなのか調べておく	
	【復習】授業中に与えられた練習問題について、見直しておく	
第12回	表計算の利用2 （簡単な関数の使い方）	
	【予習】四則演算、四捨五入、割合を求める式、平均値を求める式など、算数の基本を思い出しておく	
	【復習】授業中に与えられた練習問題について、見直しておく	
第13回	表計算の利用3 （簡単な関数の使い方、グラフの作り方）	
	【予習】グラフの種類にはどんなものがあるか、それぞれのグラフはどんな特徴のあるデータを表す時に使うか、調べておく	
	【復習】授業中に与えられた練習問題について、見直しておく	
第14回	レポートの作成のための情報収集	
	【予習】WORD、EXCELの使い方について、おさらいしておく	
	【復習】収集したデータをまとめておく	
第15回	レポートの作成1	
	【予習】WORD、EXCELの使い方について、おさらいしておく	
	【復習】レポートを次週提出できるよう、調整する	
第16回	レポートの作成2	
	【予習】レポートを提出できるよう、調整する	
	【復習】レポートを期日までに提出する	

評価方法	提出課題と授業態度により評価します。提出課題では技術的理解のほか、内容、表現の的確さも評価の対象とします。		
使用資料 <テキスト>	今すぐ使えるかんたんmini Word & Excel & PowerPoint 2019 基本技	使用資料 <参考図書>	今すぐ使えるかんたんMicrosoft365 技術評論社
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	情報処理演習(B)			科目コード	K0401P02
英文名	Training in Computer Literacy				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 情報化対応				
職名	非常勤講師	担当教員名	岡根 江見		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日	時限			
開講時期	1年前期	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	情報処理の基礎知識を学び、大学での研究活動および社会人として職務に就く時に備え、最低限のスキルを身につける。				
キーワード	文書作成	表計算	プレゼンテーション		
到達目標	各自の所有するパソコンについて理解し、レポートの作成や卒論研究などの教育研究活動に役立てるため、ワープロ、表計算、プレゼンテーションのためのソフトウェアを利用できるようにする。 また、幼稚園、保育園、小学校などの教員、またはその他の職務についたときに備え、効果的に情報を伝えることができるよう、基礎的なデザインスキルを身につ				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○					
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	各自のパソコンのセットアップ作業を行う アプリケーションの起動確認	
	【予習】パソコン本体・周辺機器・マニュアルなどが、すべて揃っているか確認しておく	
	【復習】パソコンやアプリケーションの起動・終了の確認をする	
第2回	メールの送受信、Web検索、クラウド、オンライン会議など、ネットワークの利用について学習する (Microsoft365の使用法)	
	【予習】前回授業での作業が終わっているか確認する。パソコン・アプリケーションを起動・終了させてみる。	
	【復習】授業で行った内容を再度練習し、確認しておく。	
第3回	Windowsに標準搭載のアプリケーションについて学習する (テキストエディタ、ペイント、カメラ、電卓など)	
	【予習】 Windowsとは何か OSとは何か について調べておく ローマ字をおさらいしておく	
	【復習】文字入力について、思い通りの入力ができるように練習しておく	
第4回	文書の作成 1 (文字入力方法の確認、名刺の作成)	
	【予習】カメラで自分の写真を撮って、ファイルに保存しておく	
	【復習】出来上がった名刺について、デザインの微調整など行う フォルダやファイルの整頓をしておく	
第5回	オンライン会議によるグループディスカッション	
	【予習】自己紹介の内容を考えておく	
	【復習】ディスカッションをした内容について記録をまとめておく	
第6回	文書の作成 2 Wordを使って、チラシを作製する	
	【予習】公共の場所に置いてあるチラシやポスターで、気に入ったものや、興味を引くものをよく見ておく Microsoft Wordが、どのような目的で使われ、何ができるソフトウェアなのか調べておく	
	【復習】自分が作ったチラシを校正する	
第7回	文書の作成 3 Wordを使って、簡単なレポートを作成する	
	【予習】好きな本、気に入った本など、人に紹介したい本や絵本を1冊用意する 借りたものでもよいが、破損や紛失のないよう各自が注意すること 選んだ本を読んで、アピールポイントを考えておく	
	【復習】自分が作ったレポートを校正し、印刷する	
第8回	プレゼンテーションの方法 1 プレゼンテーションを企画する、素材の作成、収集	
	【予習】Microsoft Power Point について、どんな目的で使われ、何ができるソフトウェアなのか調べておく	
	【復習】次週、プレゼン資料の作成にスムーズにとりかかれるよう、素材の準備を終わらせておく	

第9回	プレゼンテーションの方法2 前回企画したプレゼンテーションについて、資料を作成する	
	【予習】プレゼンテーション資料の作成にスムーズにとりかかれるよう、素材の準備を終わらせておく	
	【復習】次週発表ができるよう、資料を完成させておく	
第10回	プレゼンテーションの方法3 前回までに作成したプレゼンテーションの発表を行う	
	【予習】発表ができるよう、資料を完成させておく	
	【復習】発表の評価・感想などをまとめておく	
第11回	表計算の利用1 （入力方法、表の作成）	
	【予習】Microsoft Excelは、どのような目的で使われ、どのようなことができるソフトウェアなのか調べておく	
	【復習】授業中に与えられた練習問題について、見直しておく	
第12回	表計算の利用2 （簡単な関数の使い方）	
	【予習】四則演算、四捨五入、割合を求める式、平均値を求める式など、算数の基本を思い出しておく	
	【復習】授業中に与えられた練習問題について、見直しておく	
第13回	表計算の利用3 （簡単な関数の使い方、グラフの作り方）	
	【予習】グラフの種類にはどんなものがあるか、それぞれのグラフはどんな特徴のあるデータを表す時に使うか、調べておく	
	【復習】授業中に与えられた練習問題について、見直しておく	
第14回	レポートの作成のための情報収集	
	【予習】WORD、EXCELの使い方について、おさらいしておく	
	【復習】収集したデータをまとめておく	
第15回	レポートの作成1	
	【予習】WORD、EXCELの使い方について、おさらいしておく	
	【復習】レポートを次週提出できるよう、調整する	
第16回	レポートの作成2	
	【予習】レポートを提出できるよう、調整する	
	【復習】レポートを期日までに提出する	

評価方法	提出課題と授業態度により評価します。提出課題では技術的理解のほか、内容、表現の的確さも評価の対象とします。		
使用資料 <テキスト>	今すぐ使えるかんたんmini Word & Excel & PowerPoint 2019 基本技	使用資料 <参考図書>	今すぐ使えるかんたんMicrosoft365 技術評論社
授業外学修等			
授業外質問方法			
オフィス・アワー			

授業科目名	子どもと環境			科目コード	K0501P03
英文名	Children and Environment				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 環境と共生対応				
職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	2限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	子どもは自分が育つ環境を選ぶことはできない。未来を担う子どもたちが心身ともに健やかに成育できる環境を保障することは、社会全体の責任である。授業では、幅広く子どもを取り巻く環境＝子ども環境について考え、実践していくために必要な基礎的な知識を得ることを目的として学びを深める。				
キーワード	子ども	環境	平和	世界市民	
到達目標	子ども環境について興味をもち、地球環境と関連付けながら、多面的かつ総体的にとらえ、理解することができる。(50%)				
	子ども環境の現状を理解し、よりよい環境との共生について考える態度を示すことができる。(50%)				
	子どもと環境アクションプラン：何度でもアクションを起こす前の計画を入力してください！				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
		○			
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(1 ～ 1 5 回は、幼稚園・特別支援教育の実務経験のある教員による授業) 「我が国の子どもの育成環境の改善に向けて・育成コミュニティの課題と提言 - 」(日本学会議) を学ぶ 子どもにとっての環境問題 エコロジカル・ソーシャル・ローカル・エシカルの視点から、未来のために大切にしたい環境について自身の生活を振り返り、改善したい点を書き出して、関連のある人同士でチーム作りを行う (1 チーム 4, 5 名) 。	
	【予習】子どもにとって関係のある「環境」について、関連情報サイトを探して目を通しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第2回	子ども環境を守り改善するアクションプラン作成と共有 (実態把握・目標設定・計画・行動・社会への発信) 第15回授業終了時を目指して、行動したことを社会へ発信していく。	
	【予習】関連サイトを閲覧し、プランを考えておく。当日の検索用にPC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。 授業外での活動についての注意事項を理解し、実行すること。	90分
第3回	アクションプランの目的・実態把握・具体的な内容・日程・準備物等の話し合い こども環境白書2019を読む	
	【予習】自分自身が幼児・小学生の頃の身近な環境を思い出しておく。 関連HPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第4回	子どもの遊び場・食環境を学ぶ (ジュニア農林水産白書・厚生労働省子どものページ 他) これからはMicrosoft Teams の「子どもと環境2021」に授業資料を置いていきます。リンクを貼ります。ここをクリック ▶ 環境にかかわる「こども環境管理士」の紹介も行います。	
	【予習】関連HPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第5回	子どもと環境 アクションプランの途中経過発表と再考	
	【予習】アクションプランの計画を班のメンバーと確認しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分
第6回	子どもの住環境と街づくり - 日本型子どもにやさしいまち (CFC) モデル検証作業を中心に	
	【予習】幼少期の住環境や街について思い出しておく。PC充電完了しておく。	
	【復習】授業内容をまとめる。	90分
第7回	子ども環境と自然 - DVD「フローズンプラネット 激変する氷の大自然」(約30分) から Teams にデータがあります。	
	【予習】子どもに関わる現在の自然環境について関連記事を検索してくる。	90分
	【復習】授業内容をまとめる。	90分
第8回	子ども環境と自然 - エコチル調査を中心に Teams にデータがあります。	
	【予習】エコチル調査とは何かを調べておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。	90分

第9回	子どもの成育環境を「マンガで知ろう！森林(森の働き) 森林づくり」から学ぶ（林野庁HP） くらしを守る森林 関東森林管理局 林野庁ワークシート参照	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。記入したワークシートをこの欄の に提出してください→ ワークシートの内容については、授業内でコメントする。	90分
第10回	子どもの成育環境を「じゃぶじゃぶ川なっと！」から学ぶ（国土交通省HP） 国土交通省ワークシート参照 子どもの環境と災害 - DVD「3.11その時、保育園は」、「3.11 知恵と夢の支援（2011こども環境学会）」「子どもにやさしい空間」ガイドブック（2015ユニセフ）などを手がかりに	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。日本や世界の災害の様子について調べてくる。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。記入したワークシートをこの欄の に提出してください→ ワークシートの内容については、授業内でコメントする。	90分
第11回	子どもの未来環境を「ミライーノひろば」から学ぶ（経済産業省HP） 経済産業省ワークシート参照子どもの医療・療養環境（福岡子どもホスピスプロジェクト 他）	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。記入したワークシートをこの欄の に提出してください→ ワークシートの内容については、授業内でコメントする。	90分
第12回	『ESD QUEST』から持続可能な開発のための教育を学ぶ（文部科学省HP） 文部科学省ワークシート参照	
	【予習】関連のHPに目を通しておく。PC充電完了しておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。記入したワークシートをこの欄の に提出してください→ ワークシートの内容については、授業内でコメントする。	90分
第13回	子ども環境を守り改善するアクションプランの経過報告と学び（7チーム） 発表（各6分）質疑応答（各6分） 班のPCを使用し、PPを画面共有して発表 発表したチームの感想をこのFormsに入力し、本日中に送信すること。	
	【予習】PC充電完了し、発表できるようにしておく。	90分
	【復習】今日発表したチームは、ここまでのチームとしての学び、自分が実際にに行ったこと、自分が成長した点、子どもの環境にどのようなよい影響を与えたと思うか、自分の今後の課題を（7/9）までにこのFormsに入力する。	90分
第14回	子ども環境を守り改善するアクションプランの経過報告と学び（7チーム） 発表（各6分）質疑応答（各6分） PPを画面共有して発表 発表したチームの感想をこのFormsに入力し、本日中に課題提出欄へ提出→	
	【予習】PC充電完了し、発表できるようにしておく。	90分
	【復習】今日発表したチームは、ここまでのチームとしての学び、自分が実際にに行ったこと、自分が成長した点、子どもの環境にどのようなよい影響を与えたと思うか、自分の今後の課題を（7/16）までにこのFormsに入力する。	90分
第15回	世界の子どもの環境と平和の文化（国連WFP・KIDS外務省・ユニセフイノチェンティ研究所・世界銀行 他） （最後30分間で、Formsのまとめレポートを書き込んでいただきます。12:10までに、指定フォルダに提出してください） 提出後は授業アンケートに協力してください。	
	【予習】子どもの環境を守るために活動している団体や機関、人物などについて調べておく。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。 発表で使った、学外の写真は削除すること。	90分

第16回	定期試験は行いません。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 について、受講態度（毎回の感想やレポート）30%、アクションプランの感想・現状報告 70%で評価する。 到達目標については，富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：30%、社会性：40%、専門性30%）		
使用資料 <テキスト>	適宜配布する。	使用資料 <参考図書>	こども環境白書、林邦雄・谷田貝公昭監修 『子どもと環境』一藝社（2010）
授業外学修等	ペアやグループで話し合うことが毎時間あります。 各授業に関連する子ども環境について、新聞やニュース、公式サイトなどに目を通すように心掛けてください。 PCでネット検索をする回がありますので、充電を忘れないようにしてください。		
授業外質問方法	授業後、オフィスアワー、メール（ishikura@tuins.ac.jp）などを利用して質問して下さい。		
オフィス・アワー	石倉：水曜日5限（E-403石倉研究室）		

授業科目名	生涯学習概論			科目コード	K0601L01
英文名	Lifelong Learning				
科目区分	時代の潮流へのアプローチ科目 - 少子高齢化対応				
職名	講師	担当教員名	岩崎 直哉		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	1．欧米の生涯教育の理念が我が国に導入されてきた経緯、日本の教育政策にもたらした変化について理解する。また、人間の成長発達理論を学ぶとともに、生涯学習施設・機関、少子高齢社会、男女共同参画社会など様々な視点から我が国の現状と課題について考察する。「生涯学習」の理念を知り、様々な課題の考察を通して、学びをアップデートする意味を問い直す。 2．15回全てが実務経験者による授業である。				
キーワード	生涯教育と生涯学習	生涯学習の発達理論	生涯学習社会		
到達目標	1.生涯教育の理念及び我が国における生涯学習の現状について理解する。(30%)				
	2.人間社会における「ものの見方」や「考え方」を捉え、自身の見方や考え方を深める。(40%)				
	3.社会に起きている出来事の原因を探ったり、今後を予測したりしようとする。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
			○		
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）			「人」としての資質・能力（人間性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	今なぜ生涯学習がクローズアップされるのか ・「生涯学習」の定着過程 ・学習とは何か ・生涯学習のクローズアップ ○ガイダンス（コース全体のポリシーについて）	
	【予習】○テキストを読み、次のことについて考える。 ・生涯学習の理念 ・生涯学習の歴史の概要	30分
	【復習】○ノートで本時を振り返る。学生の学びが深まるように資料・書籍を紹介する。 ・生涯学習の理念、ラングランについて ・学習と教育の違い	60分
第2回	人は発達段階に応じて何を学ぶか ・発達段階と発達課題 ・エリクソン ・レヴィンソン ・第1の発達から第2の発達へ ・高齢期における発達課題	
	【予習】○テキストを読み、次のことについて考える。 ・発達課題・発達段階とは何か	30分
	【復習】○ワークシートで本時を振り返る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・様々な学者の発達課題論・発達段階論の特徴	60分
第3回	就職すると人はどのような学習をするのか ・生涯にわたる職業的発達 ・職業指導と生き方援助 ・企業のなかでの学び ・働くことと学ぶこと	
	【予習】○テキストを読み、次のことについて考える。 ・仕事の3大目的とは何か	30分
	【復習】○ワークシートで本時を振り返る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・職業的発達に関する学者の研究にはどんな特徴があったか。 ・学校教育における職業教育の根拠となる法律はどんなものがあったか。	60分
第4回	情報からの学習 ・図書館とは何か ・図書館サービス ・生涯学習と図書館 ・デジタル図書館	
	【予習】○テキストを読み、次のことについて考える。 ・人はなぜ図書館を利用するのか。 ・図書館のサービスにはどんなものがあるか。	30分
	【復習】○ワークシートで本時を振り返る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・図書館の機能とはどんなものがあったか。 ・図書館のサービスにはどんなものがあったか。	60分
第5回	地域社会からみた生涯学習 ・生涯学習を考える視点 ・地域社会における生涯学習活動 ・成人期の発達特性と自己主導的学習 ・生涯学習の支援	
	【予習】○テキストを読み、次のことについて考える。 ・地域における生涯学習の拠点には何か。	30分
	【復習】○ワークシートで本時を振り返る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・生涯学習をしている人たちは、どこで何を学んでいるのか。 ・公民館の期待されている役割とは何か。	60分

第6回	「もの」からの学習 ・博物館の種類と実態 ・博物館の現代的使命 ・博物館と地域社会 ・博物館と生涯学習	
	【予習】○テキストを読み、次のことについて考える。 ・博物館とは何か。 ・博物館の種類と機能にはどんなものがあるか。	30分
	【復習】○ワークシートで本時を振り返る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・博物館の種類と機能はどんなものがあったか。 ・博物館が期待されている使命とは何か。	60分
第7回	教育によらない強力な学習 ・宗教と生活 ・宗教を構成するもの ・強力な学習作用を引き起こす宗教 ・日本人の宗教意識	
	【予習】○テキストを読み、次のことについて考える。 ・世界にはどんな宗教があり、日本にはどんな宗教があるか。	30分
	【復習】○ワークシートで本時を振り返る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・宗教をめぐる日本の特徴とはどんなことであったか。 ・日本人として宗教に対してどんな心構えが必要であるか。	60分
第8回	女性の生涯の変化は男女にどのような学習を求めるか ・女性の人権の確立 ・女性のライフサイクルの変化と生涯学習 ・男女平等教育のなかの女性と男性 ・男女共同参画社会づくりに向けて	
	【予習】○テキストを読み、次のことについて考える。 ・日本は女性の人権に対し、どんな意識をもった国だと言えるか。	30分
	【復習】○ワークシートで本時を振り返る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・世界における女性の人権確立の歴史にはどんなことがあったか。 ・女性の人権をめぐる日本の課題は何か。	60分
第9回	人口の高齢化は学習をどう変えるか ・人口の高齢化をめぐる問題 ・高齢者とエイジングをみる視点 ・高齢者の学習のとらえ方 ・高齢者の学習支援の特徴 ・高齢者の学習支援の課題と展望	
	【予習】○テキストを読み、次のことについて考える。 ・人口ピラミッドにみる日本社会の特徴は何か。	30分
	【復習】○ワークシートで本時を振り返る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・人口ピラミッドから見える日本の問題点は何か。 ・高齢者の学習の特徴にはどんなことが言えるか。	60分
第10回	情報技術は学習をどう変えるか ・学習とコンピュータ ・学習支援技術 ・eラーニング	
	【予習】○テキストを読み、次のことについて考える。 ・情報技術の発達が学習の在り方に与えた影響にはどんなことがあったか。	30分
	【復習】○ワークシートで本時を振り返る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・プログラム学習や問題解決学習はどうして生まれたのか。 ・コンピュータが果たす学習支援にはどのようなものか。	60分

第11回	グローバル化は学習をどう変えるか グローバル化の諸側面 ・グローバル化と教育制度 ・グローバル化時代の学習課題	
	【予習】○テキストを読み、次のことについて考える。 ・グローバル化とはどんなことか。 ・グローバル化を予測した人は、どんなものの見方をしていたのだろうか。	30分
	【復習】○ワークシートで本時を振り返る。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・グローバル化をもたらした背景は何か。 ・プログラム学習や問題解決学習はどうして生まれたのか。	60分
第12回	身近な課題について考える(1) ・地球温暖化と私たちの生活	
	【予習】○地球温暖化について様々な情報に触れる。 ・私たちの身の回りで起きている出来事やメディア報道に触れる。	30分
	【復習】○他から得た様々な情報や意見に触れたことで自分の考えをまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・問題点は何だったか。	60分
第13回	身近な課題について考える(2) ～マイクロプラスチック～ ・広大な海で今起きている生態系の危機について知る。	
	【予習】○マイクロプラスチックとは何か、ネット検索を情報を集める。	30分
	【復習】○他から得た様々な情報や意見に触れたことで自分の考えをまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・問題点は何だったか。	60分
第14回	身近な課題について考える(3) ～大気汚染を監視する～ ・PM2.5とは何か。	
	【予習】○PM2.5とは何か。	30分
	【復習】○他から得た様々な情報や意見に触れたことで自分の考えをまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・問題点は何だったか。 ・大気汚染の状態を監視する仕組みはどのようなものであるか。	60分
第15回	身近な課題について考える(4) ～待機児童の現状～ ・待機児童の現状は解消されたのか。保育現場や学校現場で起きている現状について知る。	
	【予習】○待機児童のその後はどのようになったか、情報を集める。	30分
	【復習】○他から得た様々な情報や意見に触れたことで自分の考えをまとめておく。学生の学びが深まるように資料等を紹介する。 ・問題点は何だったか。 ・今後、どのような変化が予想されるか。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	貢献度（30％）、振り返り（45％）、レポート（25％） 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	関口礼子他『新しい時代の生涯学習』有斐閣刊	使用資料 <参考図書>	必要に応じて紹介する。
授業外学修等	特になし		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用する。または、メールで質問する（iwasaki@tuins.ac.jp）。		
オフィス・アワー	木曜4限		

授業科目名	キャリア入門講座			科目コード	K0701L01
英文名	Introduction to Career Planning				
科目区分	キャリア系科目				
職名	教授 教授 准教授 講師		担当教員名	室林 孝嗣 辻井 満雄 大平 泰子 金子 泰子	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	月曜日		時限	5限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	必修		単位数	1単位	
授業の概要	現役の小学校教諭、社会福祉士、幼稚園教諭、保育士といったスペシャリストを講師に迎えるなどして、それぞれの分野の日々の仕事の内容、やりがいなどについて理解を深めることにより、職場と専門職像について学ぶ。ソーシャルワークの実務経験あり。				
キーワード	専門職				
到達目標	子ども育成の専門職の仕事の全体像をつかみ、自分自身の将来のイメージを描くことができる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○					
ディプロマポリシー	1.「人」としての資質・能力（人間性の向上）			3.地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	1.子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（働くことの意義） 【辻井】	
	【予習】学生便覧を読む。	30分
	【復習】配付資料を読み返す。	30分
第2回	社会福祉の仕事 【室林】	
	【予習】小学校教師の仕事について、調べる。	30分
	【復習】配付資料を読み返し、小学校教師の仕事についてまとめる。	60分
第3回	保育者の魅力と仕事内容 【大平】	
	【予習】保育者の仕事について調べる。	20分
	【復習】配付資料を読み返す。	20分
第4回	小学校教師の仕事 【金子】	
	【予習】社会福祉の仕事について調べる。	20分
	【復習】配付資料を読み返す。	20分
第5回	小学校教育の現状 【岩崎】	
	【予習】小学校教育の課題について調べる。	20分
	【復習】配付資料を読み返す。	30分
第6回	保育者の魅力と仕事内容 【大平】	
	【予習】保育の課題について調べる。	20分
	【復習】配付資料を読み返す。	20分
第7回	社会福祉の現状 【室林】	
	【予習】社会福祉の課題について調べる。	20分
	【復習】配付資料を読み返す。	20分
第8回	キャリア入門特別講座（保育分野） 【大平】 実務経験のある保育士等を招いて、講義を行う。	
	【予習】第1回、第3回、第6回の配付資料を読む。	20分
	【復習】配付資料を読み返す。	20分
第9回	キャリア入門特別講座（社会福祉分野） 【室林】 実務経験のある職員を招いて、講義を行う。	
	【予習】第1回、第4回、第7回の配布資料を読む。	20分
	【復習】配付資料を読み返す。	20分

第10回	キャリア入門特別講座（小学校分野） 【辻井】	
	【予習】第1回～第9回の配付資料を読む。	30分
	【復習】10回までのまとめをし、進みたい分野について考える。	60分
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	各回のレポート（80％）と態度・意欲（20％）を総合的に判断して評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	随時、授業中に資料を配布する。	使用資料 <参考図書>	随時紹介する。
授業外学修等	日頃から、子ども育成の専門職の仕事に関して興味を持って、情報収集をすること。		
授業外質問方法	tsujii@tuins.ac.jp tmiyata@toyama-c.ac.jp muro@tuins.ac.jp ohira@tuins.ac.jp kaneko@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	月曜 1 限、室林研究室 月曜3限、辻井研究室 水曜 2 限、大平研究室		

授業科目名	地域社会参加活動			科目コード	K0801F03
英文名	Participation in Community Activities				
科目区分	演習科目				
職名	教授 教授 准教授 講師		担当教員名	堀江 英一 辻井 満雄 大平 泰子 金子 泰子	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	金曜日		時限	5限目	
開講時期	1年通年		授業の方法	講義	
必修・選択	必修		単位数	2単位	
授業の概要	地域社会参加活動について講義・演習を通して学習するとともに、空き時間や休業日に富山の特色ある教育・福祉・保育等、さまざまな地域での活動に参加する。活動は、合計20時間以上（教育・福祉・保育のうち2分野で8時間以上、その他の活動で12時間以上）とする。活動後、「活動レポート」を作成し、活動報告を行うことにより体験の振り返りを共有する。「最終活動報告書」で活動全体のまとめを行う。（堀江英一：中学校、高等学校での実務経験あり）				
キーワード	地域社会	ボランティア	教育分野	保育分野	福祉分野
到達目標	多様な地域社会参加活動を通じて、子どもの生活・発達とその育成環境である地域社会の現状と課題を学ぶ。				
	さまざまな人々が共に暮らし、子どもの育成を支えることのできる共生社会を考える視点を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
	○		○		
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	富山の子どもの育成				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
		○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション（地域社会参加活動の意義について）	
	【予習】シラバスを読み、概要を理解する。	10分
	【復習】配付資料を読み、授業の見通しをもつ。	10分
第2回	（障害者スポーツ大会の準備） 5/23障害者スポーツ大会への参加（活動）	
	【予習】配付資料を読み、参加の見通しをもつ。	20分
	【復習】参加を終えた感想、大切だと思ったこと、学んだことなどを整理しておく。	20分
第3回	障害者スポーツ大会を振り返って（グループ討議）	
	【予習】大会参加の感想文を作成する。	30分
	【復習】学友が感じた感想と自分の感想を照らし合わせて今後の参考にする。	20分
第4回	地域活動に向けて（１）（地域活動の進め方） 地域活動開始	
	【予習】配付資料を読み、活動の見通しをもつ。	20分
	【復習】配付資料を読み、活動の計画を立てる。	20分
第5回	地域活動に向けて（２）（活動紹介・体験談等）	
	【予習】配付資料を事前に読んでおく。	20分
	【復習】配付資料を読み、活動の見通しをもつ。	20分
第6回	地域活動に向けて（３）（活動紹介・体験談等）	
	【予習】配付資料を事前に読んでおく。	20分
	【復習】配付資料を読み、活動の見通しをもつ。	20分
第7回	グループ内討議 地域活動実施及びレポートの提出（随時）	
	【予習】活動報告レポートを作成する（随時）。	20分
	【復習】学友が感じた感想と自分の感想を照らし合わせて今後の参考にする。	20分
第8回	活動報告会（１）、最終活動報告書の書き方、グループ30代表、6人ずつ発表	
	【予習】活動報告会に向けて発表の準備を行う。	30分
	【復習】報告会の記録を読み、活動の意義について考える。	20分
第9回	活動報告会（２）	
	【予習】活動報告会に向けて発表の準備を行う。	30分
	【復習】報告会の記録を読み、活動の意義について考える。	20分

第10回	活動報告会（ 3 ）	
	【予習】活動報告会に向けて発表の準備を行う。	30分
	【復習】報告会の記録を読み、活動の意義について考える。	20分
第11回	活動報告会（ 4 ） 最終活動報告書、活動ファイルの提出（12月下旬）	
	【予習】最終活動報告書を作成する。 フィードバック 修正を行い返却する。活動報告ファイルを作成する。	60分
	【復習】活動を振り返り、得たもの、学んだものを整理する。	30分
第12回	最終活動報告書ファイル返却、まとめ	
	【予習】地域社会参加活動の振り返りをする。	30分
	【復習】返却された活動報告書綴りを読み、活動を振り返る。	30分
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	

第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	

第28回			
	【予習】		
	【復習】		
第29回			
	【予習】		
	【復習】		
第30回			
	【予習】		
	【復習】		
第31回			
	【予習】		
	【復習】		
第32回			
	【予習】		
	【復習】		

評価方法	演習（20時間）（30％）＋地域活動（教育・福祉・保育から2分野×4時間以上を含む、合計20時間以上：活動レポート）（30％）及び最終活動報告書（30％）、平常点（課題レポート等）（10％）で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	授業の中で随時配布する。	使用資料 ＜参考図書＞	
授業外学修等	演習（20時間）＋地域活動（20時間以上：活動レポート）及び最終活動報告書の提出が、単位認定に必要な条件である。		
授業外質問方法	堀江 horie@tuins.ac.jp 辻井 tsujii@tuins.ac.jp 大平 ohira@tuins.ac.jp 金子 kaneko@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー			

授業科目名	生活文化演習(A)			科目コード	K0801L02
英文名	Seminar in Cultural Traditions in Japan				
科目区分	演習科目				
職名	教授 教授 非常勤講師 非常勤講師		担当教員名	彼谷 環 堀江 英一 杉森 裕子 大崎 雅子	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	木曜日		時限	1限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	演習	
必修・選択	必修		単位数	2単位	
授業の概要	「生活文化」は、人々が生活を送る地域や場所、時代、宗教、思想など様々な要素を含み形成される文化だと言えます。この演習では、富山県や日本の地域性、国際社会との関係性にも注目しながら、日本に暮らす人々の生活文化を理解し、具体的に体験していきます。				
キーワード	民衆信仰	伝統行事	和食	ビジネスマナー	人間関係
到達目標	子ども育成のスペシャリストを目指す者の基礎教育として、時代を超えて受け継がれてきた生活文化の一端に触れることができる（50％）。				
	地域に根差した文化を知り、次世代に継承したい行事について自ら考え理解を深めることができる（50％）。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
				○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス——「生活文化」を考える（彼谷）	
	【予習】「生活文化」という用語からイメージすること・もの・ならわし等を考えておく。	30分
	【復習】最後のワークで取り上げたい「次世代に伝えたい行事」について考える。	60分
第2回	富山の民衆信仰（１） 富山の神社によるネットワーク（堀江）	
	【予習】自宅周辺の神社にはどのようなものがあるか地図などを用いて理解する。	30分
	【復習】神社の種類を整理して覚える。	10分
第3回	富山の民衆信仰（２） 富山・金沢・全国を結ぶ神社によるネットワーク（堀江）	
	【予習】地図を用いて自宅周辺の神社の位置関係を把握する。	10分
	【復習】射水市周辺の神社の位置関係の規則性を用意された地図に見いだす。	60分
第4回	富山の音楽（１） 唱歌・童謡・歌曲の歴史（堀江）	
	【予習】「音楽科教育法」の我が国の音楽教育の歩みについて概要を把握する。	20分
	【復習】時代ごとの唱歌・童謡の歴史を整理して覚える。	30分
第5回	暮らしの文化（１） 基本的な手紙の書き方—お礼状を中心に（彼谷）	
	【予習】これまで自分が書いた（あるいは、いただいた）手紙や葉書について、どんな特徴があったか調べる。	30分
	【復習】お世話になっているゼミ担当教員への手紙を書く。	60分
第6回	暮らしの文化（２） メールによるコミュニケーション方法を学ぶ（彼谷）	
	【予習】近年、ビジネスで用いられるメールの書き方について学び、実践する。	30分
	【復習】催事のお誘いのためのメール文書を作成する。	60分
第7回	暮らしの文化（３） 「和食文化の継承と食育」（杉森）	
	【予習】ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食；日本人の伝統的な食文化」の意義について理解を深める。	30分
	【復習】和食文化の継承と食育について、家庭や教育などで実践できることを考えてみる。	60分
第8回	富山の音楽（２） 唱歌・童謡の歴史・その２（堀江）	
	【予習】「音楽科教育法」の我が国の音楽教育後半の歩みについて概要を把握する。	20分
	【復習】時代ごとの唱歌・童謡の後半の歴史を整理して覚える。	30分
第9回	富山の音楽（３） 民謡の歴史（堀江）	
	【予習】自分が住んでいる地域の民謡・わらべ歌にはどのようなものがあるか調べる。	20分
	【復習】富山県の代表的な民謡・わらべ歌について概要を理解する。	20分

第10回	適切な人間関係を学ぶ（外部講師・相談機関の実務経験者）	
	【予習】新聞やインターネット等を用いて、デートDVについて調べておく。	30分
	【復習】講演を聞いて、感じたこと、実践に活かせることをGoogle Formアンケートで回答する。	60分
第11回	適切な話し方を学ぶ（外部講師・放送局での実務経験あり） ・元民放アナウンサーによる話し方講座を受講し、相手に応じた話し方について実践する。	
	【予習】「相手に伝える」目的で話すために必要な点を考えておく。	30分
	【復習】講演の内容を、授業や生活に活かす。	60分
第12回	ビジネスマナーを学ぶ（１）（大崎）	
	【予習】目上の人に対する挨拶の仕方や立ち居振る舞いなどを調べておく。	30分
	【復習】講義の内容を、実習や生活で活かす。	60分
第13回	ビジネスマナーを学ぶ（２）（大崎）	
	【予習】前回の内容を確認しておく。	30分
	【復習】講義の内容を、実習や生活で活かす。	60分
第14回	発表会のためのグループワーク——「次世代に伝えたい日本の行事」をまとめる（彼谷）	
	【予習】グループで話し合うために、「次世代に伝えたい日本の行事」を考えてくる。	30分
	【復習】発表会のための役割分担、PPTスライドを製作する。	60分
第15回	グループ発表——「次世代に伝えたい日本の行事」（彼谷）	
	【予習】プレゼン用のPPTを製作し、彼谷に送信する。	60分
	【復習】他のグループの良かった点、自分のグループの改善点をまとめ、Google Formを使って意見を投稿する。	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 については、授業中に指定する課題を中心に評価する（50％）。 到達目標項目 については、授業中の積極的態度（30％）、課題発表（20％）で評価する。 人間性：50％、 社会性：50％ なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要に応じてプリント、資料を配布します。	使用資料 <参考図書>	適宜指示します。
授業外学修等	授業では、内容に応じて担当者が交代します。これからの生き方の指針となるものを発見できるよう、積極的に学ぶ姿勢を心がけてください。		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールでも受け付けます。彼谷（kayatama@tuins.ac.jp）、堀江（horie@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	授業の前後（各担当） 但し、堀江教授は10/28、11/11は不在		

授業科目名	生活文化演習(B)			科目コード	K0801L02
英文名	Seminar in Cultural Traditions in Japan				
科目区分	演習科目				
職名	教授 教授 非常勤講師 非常勤講師		担当教員名	彼谷 環 堀江 英一 杉森 裕子 大崎 雅子	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	木曜日		時限	2限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	演習	
必修・選択	必修		単位数	2単位	
授業の概要	「生活文化」は、人々が生活を送る地域や場所、時代、宗教、思想など様々な要素を含み形成される文化だと言えます。この演習では、富山県や日本の地域性、国際社会との関係性にも注目しながら、日本に暮らす人々の生活文化を理解し、具体的に体験していきます。				
キーワード	民衆信仰	伝統行事	和食	ビジネスマナー	人間関係
到達目標	子ども育成のスペシャリストを目指す者の基礎教育として、時代を超えて受け継がれてきた生活文化の一端に触れることができる（50％）。				
	地域に根差した文化を知り、次世代に継承したい行事について自ら考え理解を深めることができる（50％）。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）			21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
				○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ガイダンス——「生活文化」を考える（彼谷）	
	【予習】「生活文化」という用語からイメージすること・もの・ならわし等を考えておく。	30分
	【復習】最後のワークで取り上げたい「次世代に伝えたい行事」について考える。	60分
第2回	富山の民衆信仰（１） 富山の神社によるネットワーク（堀江）	
	【予習】自宅周辺の神社にはどのようなものがあるか地図などを用いて理解する。	30分
	【復習】神社の種類を整理して覚える。	10分
第3回	富山の民衆信仰（２） 富山・金沢・全国を結ぶ神社によるネットワーク（堀江）	
	【予習】地図を用いて自宅周辺の神社の位置関係を把握する。	10分
	【復習】射水市周辺の神社の位置関係の規則性を用意された地図に見いだす。	60分
第4回	富山の音楽（１） 唱歌・童謡の歴史・その1（堀江）	
	【予習】「音楽科教育法」の我が国の音楽教育の歩みについて概要を把握する。	20分
	【復習】時代ごとの唱歌・童謡の歴史を整理して覚える。	30分
第5回	暮らしの文化（１） 基本的な手紙の書き方—お礼状を中心に（彼谷）	
	【予習】これまで自分が書いた（あるいは、いただいた）手紙や葉書について、どんな特徴があったか調べる。	30分
	【復習】お世話になっているゼミ担当教員への手紙を書く。	60分
第6回	暮らしの文化（２） メールによるコミュニケーション方法を学ぶ（彼谷）	
	【予習】近年、ビジネスで用いられるメールの書き方について学び、実践する。	30分
	【復習】催事のお誘いのためのメール文書を作成する。	60分
第7回	暮らしの文化（３） 「和食文化の継承と食育」（杉森）	
	【予習】ユネスコ無形文化遺産に登録された「和食；日本人の伝統的な食文化」の意義について理解を深める。	30分
	【復習】和食文化の継承と食育について、家庭や教育などで実践できることを考えてみる。	60分
第8回	富山の音楽（２） 唱歌・童謡の歴史・その2（堀江）	
	【予習】「音楽科教育法」の我が国の音楽教育後半の歩みについて概要を把握する。	20分
	【復習】時代ごとの唱歌・童謡の後半の歴史を整理して覚える。	30分
第9回	富山の音楽（３） 民謡の歴史（堀江）	
	【予習】自分が住んでいる地域の民謡・わらべ歌にはどのようなものがあるか調べる。	20分
	【復習】富山県の代表的な民謡・わらべ歌について概要を理解する。	20分

第10回	適切な人間関係を学ぶ（外部講師・相談機関での実務経験者）	
	【予習】新聞やインターネット等を用いて、デートDVについて調べておく。	30分
	【復習】講演を聞いて、感じたこと、実践に活かせることをGoogle Formアンケートで回答する。	60分
第11回	適切な話し方を学ぶ（外部講師・放送局での実務経験あり） ・元民放アナウンサーによる話し方講座を受講し、相手に応じた話し方について実践する。	
	【予習】「相手に伝える」目的で話すために必要な点を考えておく。	30分
	【復習】講演の内容を、授業や生活に活かす。	60分
第12回	ビジネスマナーを学ぶ（１）（大崎）	
	【予習】目上の人に対する挨拶の仕方や立ち居振る舞いなどを調べておく。	30分
	【復習】講義の内容を、実習や生活で活かす。	60分
第13回	ビジネスマナーを学ぶ（２）（大崎）	
	【予習】前回の内容を確認しておく。	30分
	【復習】講義の内容を、実習や生活で活かす。	60分
第14回	発表会のためのグループワーク——「次世代に伝えたい日本の行事」をまとめる（彼谷）	
	【予習】グループで話し合うために、「次世代に伝えたい日本の行事」を考えてくる。	30分
	【復習】発表会のための役割分担、PPTスライドを製作する。	60分
第15回	グループ発表——「次世代に伝えたい日本の行事」（彼谷）	
	【予習】プレゼン用のPPTを製作し、彼谷に送信する。	60分
	【復習】他のグループの良かった点、自分のグループの改善点をまとめ、Google Formを使って意見を投稿する。	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 については、授業中に指定する課題を中心に評価する（50％）。 到達目標項目 については、授業中の積極的態度（30％）、課題発表（20％）で評価する。 人間性：50％、 社会性：50％ なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	必要に応じてプリント、資料を配布します。	使用資料 <参考図書>	適宜指示します。
授業外学修等	授業では、内容に応じて担当者が交代します。これからの生き方の指針となるものを発見できるよう、積極的に学ぶ姿勢を心がけてください。		
授業外質問方法	時間外の質問は、メールでも受け付けます。彼谷（kayatama@tuins.ac.jp）、堀江（horie@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	授業の前後（各担当）		

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	教授	担当教員名	宮田 徹		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	教授	担当教員名	相山 馨		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	教授	担当教員名	大藪 敏宏		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	教授	担当教員名	辻井 満雄		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	教授	担当教員名	彼谷 環		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	教授	担当教員名	福島 美枝子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	教授	担当教員名	堀江 英一		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	教授	担当教員名	松山 友之		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	教授	担当教員名	村上 満		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	教授	担当教員名	室林 孝嗣		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】[リテラシーガイダンス1] 教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶとは？～ノートのとり方	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第2回	新入生歓迎会1（実行委主催） ゼミ毎	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する	90分
第3回	[リテラシーガイダンス2] 守秘義務、研究の基礎・研究の進め方	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第4回	[初年次教育] 学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」(自校教育)	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する	60分
第5回	新入生歓迎会2（実行委主催） ゼミ毎	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する	30分
第6回	[リテラシーガイダンス3] プレゼンテーションをする～レポートを書く	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求、ゼミ別活動計画立案	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	ゼミ別活動合同発表会（その1）【Zoom】ビデオ発表またはその場で発表	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会（その2）【Zoom】ビデオ発表またはその場で発表	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	60分

第19回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】	30分
第20回	卒業研究中間発表ポスター閲覧及び感想・質問記入	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表（1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表（2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	准教授	担当教員名	大平 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	准教授	担当教員名	河崎 美香		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	准教授	担当教員名	本江 理子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	講師	担当教員名	岩崎 直哉		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	講師	担当教員名	金子 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教養演習			科目コード	K0805F01
英文名	Freshman and Sophomore Seminars				
科目区分	演習科目				
職名	講師	担当教員名	竹田 好美		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	1限目		
開講時期	1年・2年通年	授業の方法	演習		
必修・選択	必修	単位数	8単位		
授業の概要	専任教員ごとに少人数のゼミクラス（1・2年生）を編成し、大学における学習・生活のための導入教育、子ども育成（子どもの教育・保育・福祉）への興味関心や課題についての調査研究・発表（個人・集団）、学生相互・教員との交流や人間的ふれあいを図る。				
キーワード	教養	導入教育			
到達目標	大学における学習と生活のための意欲や自己向上心を持ち、大学生活全般における基礎的能力を身につける。				
	子ども育成の課題への自主的・主体的調査研究に必要な基礎的能力を身につける。				
	身近な学生・教員とのコミュニケーション力や人間関係能力を身につける。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	21世紀を生きる社会人としての資質・能力（社会性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	ゼミメンバー自己紹介【ゼミ教室】、オリエンテーション交流合宿と学部交流会の説明会		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第2回	【初年次教育】学長特別講義「富山国際大学の歴史と基本理念」（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		90分
第3回	【リテラシーガイダンス1】教養演習のテーマとねらい、大学で学ぶ、スケジュール管理、講義の受け方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第4回	【リテラシーガイダンス2】研究とは、調査研究の基礎、文献収集と管理 等（1年生全員）		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		60分
第5回	【リテラシーガイダンス3】プレゼンテーションの仕方、レポートの書き方 等		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、学んだ内容を整理する		30分
第6回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求 、ゼミ別活動計画立案		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第7回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第8回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分
第9回	ゼミ別活動合同発表会に向けての調査・探求		
	【予習】		
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する		30分

第10回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第11回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第12回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等）	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	60分
第13回	調査・探求結果の発表準備（プレゼン画面制作等） フィードバック 作成されたプレゼンに対して助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】これまでの研究を整理し、発表に向けて内容をわかりやすくまとめる	30分
第14回	ゼミ別活動合同発表会	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第15回	ゼミ別活動合同発表会の振り返り、前期のまとめ	
	【予習】	
	【復習】発表会全体を振り返り、自身の課題を整理する	60分
第16回	【リテラシーガイダンス4】個人研究発表に向けて（研究の基本、発表の仕方など）	
	【予習】	
	【復習】授業内容を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第17回	個人研究発表 仮テーマ設定	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、自身の課題を整理する	30分
第18回	海外体験発表会（グローバル化社会に向けた教養教育のために）1・2年生合同	
	【予習】	
	【復習】発表会を振り返り、グローバルな視点で自身の考えを整理する	60分

第19回	大学祭での卒業研究中間発表会ポスター閲覧 （1・2年生全員）	
	【予習】	
	【復習】感想用紙を次回の教養演習までにゼミ担当教員に提出する。 フィードバック コメントを付けて返却します。	30分
第20回	個人研究発表テーマ決定及び発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究課題を整理する	30分
第21回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第22回	個人研究発表に向けての調査・探求	
	【予習】	
	【復習】自身の研究内容をまとめる	30分
第23回	ゼミ内中間発表 （1年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第24回	ゼミ内中間発表 （2年生）	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第25回	個人研究の内容再考	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第26回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第27回	個人研究発表と討議 フィードバック 以下、将来の卒業研究に向けた助言を行います。	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分

第28回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第29回	個人研究発表と討議	
	【予習】	
	【復習】発表内容から学んだことを整理する	30分
第30回	個人研究発表の振り返りとレポート作成	
	【予習】教養演習ガイドブックに掲載されている「レポート作成事例」を参考にしてレポート作成を進める。	
	【復習】授業全体を通して学んだことを整理し、自身の課題を整理する	60分
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	レポート及び発表（70％程度）、出席状況・受講態度等(30％程度)を総合的に判断する。		
使用資料 ＜テキスト＞	学生便覧、教養演習ガイドブック その他別途指示する。	使用資料 ＜参考図書＞	別途指示する。
授業外学修等	上記時間外においても、予習・復習・準備に積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問する。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教育原理			科目コード	K1101L06
英文名	Principles of Education				
科目区分	子ども育成の理論				
職名	教授	担当教員名	大藪 敏宏		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	2限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	授業を通して、受講者自身が教育及び子ども家庭福祉とは何かを考え、現代社会における教育及び子ども家庭福祉に関する諸問題について、批判的に考えるための知識および教育実践力を養う。				
キーワード	教育理念	教育思想	教育史		
到達目標	教育の意義と目的及び子ども家庭福祉等との関わりについて理解できる。（20％）				
	教育に関する歴史及び基本的な概念や思想、制度について理解できる。（20％）				
	教育の制度について理解できる。（20％）				
	教育に関わる基本的な問題について理解できる。（20％）				
	生涯学習社会における教育の必要性ならびに教育の現状と課題について考えることができる。（20％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
					○
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
○					

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション ―教育原理とはどのような授業か、教育原理を学ぶ意味―	
	【予習】教育学について事前に学習しておく。	60分
	【復習】教育原理とはどのような講義なのか確認する。	60分
第2回	「教育」とは何か ―人間とはどのような存在であるかを考えたうえで、「教育」とはどのような営みであるのかを理解する―	
	【予習】人間とはどのような存在であるのかを考える。	60分
	【復習】人間とはどのような存在であるのか、講義の内容を復習する。	60分
第3回	「学び」とは何か ―乳幼児期を含めた子どもの教育の特性を踏まえ、「学ぶ」とはどのようなことが考える―	
	【予習】学ぶとはどのようなことが調べる。	60分
	【復習】学ぶとはどのようなことかについて講義の内容を復習する。	60分
第4回	「子ども」とは何か(1) ―西洋における「子どもの発見」と、子どもの発達―	
	【予習】子どもの発見について調べる。	60分
	【復習】子どもの発見について、講義の内容を復習する。	60分
第5回	「子ども」とは何か(2) ―子どもの権利と子ども家庭福祉―	
	【予習】子どもの権利について調べる。	60分
	【復習】子どもの権利の歴史について、講義の内容を復習する。	60分
第6回	教育制度の成立 ―教育制度は諸外国・日本でどのように成立したか―	
	【予習】諸外国と日本の教育制度について調べる。	60分
	【復習】諸外国と日本の教育制度について、講義の内容を復習する。	60分
第7回	「学校」とは何か ―学校という場で学ぶ意味と学校教育をめぐる問題、教育法規・教育行政の基礎―	
	【予習】学校とはどのような場所であるのかを考える。	60分
	【復習】学校とはどのような場所であるのか、講義の内容を復習する。	60分
第8回	教育実践の基礎理論と取り組み、そこで果たすべき教師の役割 ―内容・方法・計画と評価―	
	【予習】教育実践の基礎理論と取り組み、そこで果たすべき教師の役割について調べる。	60分
	【復習】教育実践の基礎理論と取り組み、そこで果たすべき教師の役割について講義の内容を復習する。	60分
第9回	家庭・社会における学び ―家庭教育、社会教育、生涯教育とは何か、生涯学習社会における現状と課題―	
	【予習】家庭教育、社会教育、生涯教育について調べる。	60分
	【復習】家庭教育、社会教育、生涯教育について、講義の内容を復習する。	60分

第10回	西洋教育思想史（１） —教育の歴史的展開—	
	【予習】西洋教育思想の流れについて調べる。	60分
	【復習】西洋教育思想の流れについて講義の内容を復習する。	60分
第11回	西洋教育思想史（１） —古代・中世の西洋教育思想—	
	【予習】古代、中世の教育思想史について調べる。	60分
	【復習】古代、中世の教育思想史について講義の内容を復習する。	60分
第12回	西洋教育思想史（２） —近世・近代の西洋教育思想を理解する—	
	【予習】近世・近代の西洋教育思想史について調べる。	60分
	【復習】近世・近代の西洋教育思想史について講義の内容を復習する。	60分
第13回	西洋教育思想史（３） —現代の西洋教育思想—	
	【予習】現代の西洋教育思想について調べる。	60分
	【復習】現代の教育思想について、講義の内容を復習する。	60分
第14回	日本教育思想史（１） —前近代・近代の日本教育思想および教育の歴史—	
	【予習】前近代、近代の日本の教育思想を調べる。	60分
	【復習】前近代、近代の日本の教育思想について講義の内容を復習する。	60分
第15回	日本教育思想史（２） —戦後教育と現代の教育改革—	
	【予習】戦後教育と現代の教育改革について調べる。	60分
	【復習】戦後教育と現代の教育改革について講義の内容を復習する。	60分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標　、　、　、　、　について、期末試験（70%）、講義中の提出物を含めた授業参加（30%）により総合的に評価する。 人間性：40%、　社会性：30%、　専門性：30% なお評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。		
使用資料 <テキスト>	伊藤潔志編『哲学する教育原理』（2019） 教育情報出版	使用資料 <参考図書>	適宜資料を配布する。
授業外学修等	授業で学んだことを、自分が学校や児童福祉施設等において将来果たす役割や進路選択の問題を含めて、「キャリア」を考える上で、日常的に生かしてほしい。授業で学んだことについて、この授業以外の場面でも思い出したり話題にしたりすることを期待する。		
授業外質問方法	研究室で随時受け付ける。		
オフィス・アワー			

授業科目名	教職論			科目コード	K1101L08
英文名	Theory of Teaching Profession				
科目区分	子ども育成の理論				
職名	教授	担当教員名	辻井 満雄		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日	時限	1限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	1 教職とは何かについて、歴史や関係法律を学び、理解を深める。 2 教員の実践事例を学ぶことによって、自分なりに目指す教師像をもつ。				
キーワード	富山の教育	教育委員会	学力向上		
到達目標	教育職員免許法、同法施行令、同法施行規則の理解等をもとに、教職の意義及び教員の役割、教員の職務内容(研修、服務及び身分保障等を含む。)について理解を深める。				
	教職とは何かについて、歴史や関係法律を学び、理解を深める。				
	教員の実践事例を学び、進路選択への示唆を得る。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション、教職に関する疑問へのQ&A グループで討議しながら疑問について考えていく。 (1 ～ 1 5 回は、実務経験のある教員による授業)	
	【予習】教職のイメージを考え、当日、小レポートにまとめられるように準備する。	30分
	【復習】教職の概要をまとめる。	60分
第2回	教師の歴史と教師論 クリッカー使用し、学生の意見を取り入れ、考えていく。	
	【予習】教科書 p. 2 ～ p. 9 を読んで、自分の考えをまとめておく。	30分
	【復習】学修内容をまとめる。	60分
第3回	教職の成立と求められる教員の資質と変遷 クリッカーを使用し、学生の考えを生かしながら教員の資質について考える。	
	【予習】教科書 p. 1 0 ～ p. 2 4 読んで、授業中に小レポートにまとめられるよう準備する。	30分
	【復習】教員の資質についてまとめる。	60分
第4回	教職とは何か 今までに会った教員についてグループ討議する。	
	【予習】「理想的な教師像」について、レポートにまとめる。	30分
	【復習】教職に就くために必要なことをまとめる。	60分
第5回	現代社会の教育的諸問題と教職の課題 クリッカーを使用し、「いい先生」について、討議する。	
	【予習】教科書 p. 2 5 ～ p. 3 4 読み、「いい先生」について考えをまとめる。	30分
	【復習】学修内容をまとめる。	60分
第6回	教員の種類と階級 クリッカーを使用し、教員の課題についてグループ討議する。	
	【予習】教科書 p. 3 6 ～ p. 4 0 読み、教員の課題を整理する。	30分
	【復習】学修内容をまとめる。	60分
第7回	生徒指導 グループ討議し、生徒指導について考える。 クリッカーを使用し、実例にどのように対応するか考える。	
	【予習】教科書 p. 7 4 ～ p. 8 1 を読み、課題を整理する。	30分
	【復習】学修内容をまとめる。	60分
第8回	学習指導 授業についてペアやグループで討議する。	
	【予習】学習指導について調べる。	30分
	【復習】学修内容をまとめる。	60分
第9回	教科指導と教員 ペアになって意見交換をする。	
	【予習】教科書 p. 4 1 ～ p. 5 5 を読む。学習状況調査から、どのようにしたらよいか小レポートにまとめる。	30分
	【復習】学修内容をまとめる。	30分

第10回	教育の服務規程と身分保障 多くの人と事件について意見交換し、放棄について考えをまとめる。	
	【予習】教科書p.113～p.123を読む。教員の事件等について、調べ、レポートにまとめる。	30分
	【復習】法律について復習する。	60分
第11回	事例に学ぶ チーム学校の在り方を考える 小六法を活用しながら、法律について調べ、グループ討議する。	
	【予習】事例を調べ、まとめる。チーム学校の必要性について、調べまとめてくる。	60分
	【復習】事例から教員の資質を考える。	60分
第12回	学校の組織と運営 学習指導要領 グループ討議を取り入れ、それぞれの課題について話し合う。	
	【予習】教科書p.124～p.133を読む。	30分
	【復習】学修内容をまとめる。	
第13回	初等・中等教育と教員 クリッカーを使用し、学生の意見を取り入れながら、課題について考える。	
	【予習】教科書p.134～p.175を読む。進みたい分野について調べ、まとめる。	30分
	【復習】学校種による違いをまとめる。	60分
第14回	教員養成と教職課程 研修の意義 これまでの学習をグループで振り返り、卒業までに挑戦したいことを話し合う。	
	【予習】教科書p.176～p.186を読む。	30分
	【復習】学修内容をまとめる。	60分
第15回	教員養成と教職課程、まとめ チーム学校について、グループ討議する。教職につく、意義について考え、まとめる。	
	【予習】教科書p.176～p.186を読む。	30分
	【復習】教員の意義についてまとめる。	90分
第16回	期末考査	
	【予習】15回の復習とまとめ	90分
	【復習】期末考査の反省	30分

評価方法	15回の取組状況（40％）、学期末試験及びレポート（60％）により総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	教職問題研究会編『教職論(第2版) 教員を志すすべてのひと』（ミネルヴァ書房）	使用資料 <参考図書>	市川須美子等編集委員『2018 平成30年度教育小六法』（学陽書房）
授業外学修等	復習の徹底と授業中の小レポートを仕上げる。		
授業外質問方法	ゼミ室を訪問するか、メール（tsujii@tuins.ac.jp）をする。		
オフィス・アワー	月曜3限（13：10～14：40）		

授業科目名	子ども育成入門	科目コード	K1101P01
英文名	Introduction to Child Development & Education		

科目区分	子ども育成の理論		
------	----------	--	--

職名	講師 教授 教授 教授	担当教員名	竹田 好美 室林 孝嗣 大藪 敏宏 宮田 徹
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科
曜日	月曜日	時限	3限目
開講時期	1年前期	授業の方法	講義
必修・選択	必修	単位数	2単位

授業の概要	子ども育成の理論に関する中核的な科目3科目（「子ども育成入門」、「子ども育成論」、「子ども育成専門演習」）の導入科目である。 「子ども育成入門」では、子ども育成のあり方について、保育・教育・福祉の視点から総合的・統合的に学ぶ。また、保育所・幼稚園・認定こども園・小学校における保育・教育、家庭・地域における子ども家庭福祉をめぐって、それぞれの理念、歴史、制度、実践などの概要について学ぶ。 （科目担当教員：宮田は児童福祉分野職員、大藪は中学校・高等学校教諭、室林は福祉施設職員、竹田は幼稚園教諭としての実務経験あり）				
キーワード	子ども育成	保育	教育	福祉	ハイブリッド
到達目標	乳幼児期から児童期に至る子どもの生活・発達・学びの連続性をふまえた保育・教育のあり方について、基礎的理解ができる。（40％）				
	子どもの育ちと家庭・地域・社会環境の関係性をふまえた子ども福祉のあり方について、基礎的理解ができる。（40％）				
	子ども育成における保育・教育と子ども福祉のハイブリッド（統合的視点）について、基礎的理解ができる。（20％）				

卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクールソーシャルワーカー
	○		○		
ディプロマポリシー	1.「人」としての資質・能力（人間性の向上）			2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
○	○	○		○

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	宮田徹（第1回、第15回） 大藪敏宏（第2回～第6回、第15回） 竹田好美（第7回～第10回、第15回） 室林孝嗣（第11回～第15回） オリエンテーション 子ども育成学部教育理念・目標 教育と福祉のハイブリッド [宮田] 【資料】スライド / 印刷配布用 / 「教育」と「福祉」	
	【予習】シラバスを確認する。 オリエンテーション	90分
	【復習】第1回の内容をまとめる。	90分
第2回	学びの原体験・原風景と小学校低学年の特性【知性・教養・個性ならびに共存・共生の精神と子ども育成】 [大藪]	
	【予習】第2回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第2回の内容をまとめる。	90分
第3回	共存・共生の精神と子ども育成【小学校低学年の児童の特性】 [大藪]	
	【予習】第3回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第3回の内容をまとめる。	90分
第4回	身体的五感を開いた共存共生の学び【小学校中学年・高学年の児童の特性】 [大藪]	
	【予習】第4回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第4回の内容をまとめる。	90分
第5回	幼児期から児童期への円滑な移行 スタートカリキュラム [大藪]	
	【予習】第5回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第5回の内容をまとめる。	90分
第6回	児童期から中学校への円滑な移行 地域の郷土史と「知性・教養・個性」 [大藪]	
	【予習】第6回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第6回の内容をまとめる。	90分
第7回	乳幼児期の特性と保育・教育 [竹田] 第7回（幼保分野第1回）資料 第7回（幼保分野第1回）資料	
	【予習】第7回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第7回の内容をまとめる。	90分
第8回	保育所・幼稚園・認定こども園の特徴（歴史・制度を中心に） [竹田] 第8回（幼保分野第2回）資料 第9回（幼保分野第2回）資料	
	【予習】第8回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第8回の内容をまとめる。	90分

第9回	保育所・幼稚園・認定こども園の特徴（保育・幼児教育の内容や方法を中心に）　【竹田】 第9回（幼保分野第3回）資料　　第9回（幼保分野第3回）資料	
	【予習】第9回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第9回の内容をまとめる。	90分
第10回	保育所・幼稚園・認定こども園の連携　【竹田】 第10回資料（幼保分野第4回）	
	【予習】第10回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第10回の内容をまとめる。	90分
第11回	社会福祉援助とは　【室林】	
	【予習】第11回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第11回の内容をまとめる。	90分
第12回	社会福祉政策とは　【室林】	
	【予習】第12回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第12回の内容をまとめる。	90分
第13回	社会福祉の対象　【室林】	
	【予習】第13回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第13回の内容をまとめる。	90分
第14回	社会福祉の実際　【室林】	
	【予習】第14回に取り組むべき内容について理解し、準備しておく。	90分
	【復習】第14回の内容をまとめる。	90分
第15回	まとめ　【宮田・大藪・室林・竹田】	
	【予習】第1回から第14回までの内容について振り返り、質問や意見などを考えてくる。	90分
	【復習】第15回の内容をまとめる。	90分
第16回	期末試験は行わない。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	担当教員ごとの個別評価を合わせて総合評価する。(平常点(20%)程度、レポート等(80%)程度) 個別評価に一つでもFがある場合は、総合評価をFとする。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	文部科学省『小学校学習指導要領』平成29年告示(東洋館出版社)	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	予習・復習を必ずすること。保育・教育・福祉の3分野を総合的に学び、「なりたい自分」を意識していくこと。		
授業外質問方法	メール又はオフィスアワーの時間に直接研究室に訪ねて質問してください。 宮田 (tmiyata@tuins.ac.jp) 大藪 (toyabu@tuins.ac.jp) 室林 (muro@tuins.ac.jp) 竹田 (takeda@tuins.ac.jp)		
オフィス・アワー	宮田：水曜2限(E507 宮田研究室) 大藪：火曜3限(E708 大藪研究室) 室林：水曜2限(E707 室林研究室) 竹田：月曜4限(E301 竹田研究室)		

授業科目名	保育原理			科目コード	K1101P04
英文名	Principles of Childcare				
科目区分	子ども育成の理論				
職名	講師	担当教員名	竹田 好美		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	3限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	保育の理念並びに歴史や思想、法令や制度がどのように現代の保育につながっているのかを学ぶ。また、子どもを理解することの意味や、保育の環境、具体的な方法や内容についても学ぶ。講義を中心とするが、適宜小グループに分かれ、テーマについて討論したり、子どもたちの実際の遊びを取り入れたりしながら理解を深めていく。 (科目担当教員：幼稚園教諭の実務経験あり)				
キーワード	養護と教育	子ども観	子ども理解	保育内容と保育の専	保育の「新」と「真
到達目標	保育の意義・目的や法令・制度について理解することができる。(30%)				
	保育所保育指針等における保育の基本を理解することができる。(50%)				
	保育の思想と歴史的変や保育の現状と課題について理解し、保育の「新」と「真」について考察することができる。(20%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
	○				○
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー(重視する能力)					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○		○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション - 「保育」と「養護」及び「教育」とは - 第1回資料 第1回手遊び Google Forms課題		
	【予習】自分の保育体験を振り返っておく		90分
	【復習】第1回の授業の内容をまとめる		90分
第2回	保育とは何か - 保育の意義 - 第2回資料 第2回資料（記入用） GoogleFoams課題		
	【予習】第1章を読んでおく		90分
	【復習】第2回の授業の内容をまとめる		90分
第3回	保育の基盤としての子ども観 - 子ども観と保育の方法・内容 - 第3回資料 第3回資料（記入用） Forms課題		
	【予習】第2章を読んでおく		90分
	【復習】第3回の授業の内容をまとめる		90分
第4回	子どもから出発する保育 - 子ども理解・まなざし - 第4回資料 Forms課題		
	【予習】第3章を読んでおく		90分
	【復習】第4回の授業の内容をまとめる Forms出席票 授業の振り返りはForms出席票で行っています。今回はWebSyllabusアンケートの記入は必要ありません。		90分
第5回	子どもが育つ環境の理解 - 物的環境と人的環境との関連 - 第5回資料 Forms課題		
	【予習】第4章を読んでおく		90分
	【復習】第5回の授業の内容をまとめる		90分
第6回	保育の目標及び内容・方法の理解 - 保育所保育指針における保育の基本 - 第6回資料		
	【予習】第5章及び保育所保育指針、幼稚園教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領を読んでおく。		90分
	【復習】第6回の授業の内容をまとめる		90分
第7回	子ども主体の保育内容 - 具体的な保育内容・方法の理解 - この内容は第10回、6月17日に行います。 折紙の手裏剣画像はこちらの課題1にアップロードして下さい。 第10回資料		
	【予習】自分の保育所や幼稚園での遊びや活動を振り返っておく		90分
	【復習】第7回の授業の内容をまとめる		90分

第8回	保育の計画と実践の原理 - 保育における計画の意義と位置づけ - この授業内容は第7回、5月27日に行います。 第7回資料	
	【予習】第6章を読んでおく	90分
	【復習】第8回の授業の内容をまとめる	90分
第9回	保育における健康と安全の原理 - 子どもにとっての健康で安全な環境を考える - この内容は第8回、6月3日に行います。 第8回資料	
	【予習】第7章を読んでおく	90分
	【復習】第9回の授業の内容をまとめる	90分
第10回	多様な子どもと共に育つ保育 - 一人ひとりの良さを追求する保育とは - この内容は第9回、6月10日に行います。 折紙画像はここにはアップロードしないで！！ 第9回資料	
	【予習】第8章を読んでおく	90分
	【復習】第10回の授業の内容をまとめる	90分
第11回	保育の歴史に何を学ぶか - 集団施設の誕生と発展 - 第11回資料 第11回資料 菖蒲（あやめ）折紙の折り方	
	【予習】第9章を読んでおく	90分
	【復習】第11回の授業の内容をまとめる	90分
第12回	保育者に求められるもの - 保育者の仕事と役割 - 第12回資料 Forms課題	
	【予習】第10章を読んでおく	90分
	【復習】第12回の授業の内容をまとめる	90分
第13回	現代の子育てと子育て支援 - 子育て支援ニーズの理解と具体的展開 - 第13回資料	
	【予習】第11章を読んでおく	90分
	【復習】第13回の授業の内容をまとめる	90分
第14回	保育の現状と課題 - 保育所・幼稚園・こども園・その他の施設の現状と課題 - 第14回資料	
	【予習】第12章を読んでおく	90分
	【復習】第14回の授業の内容をまとめる	90分
第15回	「保育の原理」とは 第15回資料	
	【予習】第13章を読んでおく	90分
	【復習】第15回の授業の内容をまとめる	90分

第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（受講態度・提出物等）（50％）、期末試験（50％）で総合的に評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	渡邉英則・高島景子・大豆生田啓友・三谷大紀 編 『新しい保育講座	使用資料 ＜参考図書＞	文部科学省『幼稚園教育要領解説』平成30年（フレーベル館）
授業外学修等	上記時間外においても、授業内容等に関して予習、復習、準備などに積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワー、メールまたは直接研究室に訪ねて質問してください。 takeda@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	月曜4限（E301 竹田研究室）		

授業科目名	児童・家庭福祉論			科目コード	K1101P09
英文名	Child and Family Welfare				
科目区分	子ども育成の理論				
職名	教授	担当教員名	宮田 徹		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	金曜日	時限	1限目		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	「子ども家庭福祉の意義と歴史」「子ども家庭福祉の制度と実施体制」「子ども家庭福祉の現状と課題」を柱として、子ども家庭福祉全体について現実を踏まえながら考察を進める。テキストを基本としつつ、最新の資料や参考文献等を随時提示する。履修者一人ひとりが、現状の課題とその克服のための方策について、自ら考察を深めることを希望する。（担当教員：児童福祉分野の実務経験あり）				
キーワード	子ども家庭福祉	児童の最善の利益			
到達目標	子ども家庭福祉の理念や制度について基本的事項を理解し、主な施策分野毎の現状と課題を説明できる。（60%）				
	子ども家庭福祉の動向や展望を踏まえ、問題解決のための方策について考察できる。(20%)				
	子どものウェルビーイング（幸せ）や権利保障に高い関心を持ち、自らもその実現に向けて努力しようとする意欲を有する。(20%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
					○
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
			○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	「オリエンテーション」：授業方針の説明 ○本授業の概要を把握し、授業のねらいや授業計画を理解する。○子ども家庭福祉の基本構造や視点について学ぶ（児童福祉 児童家庭福祉 子ども家庭福祉） 配布用シラバス スライド 印刷用（白黒）	
	【予習】シラバスを読み、本授業の概要を確認する / テキストを読み、子ども家庭福祉の視点について確認する webSyllabus-マニュアル	90分
	【復習】授業の全体像について確認する / 子ども家庭福祉の基本構造や視点について、授業内容を確認し、理解を深める	90分
第2回	「子どもと家庭・社会」子どもと家庭を取り巻く現状 ○子ども・家庭を取り巻く環境の変化 ○少子高齢化と「子育て」「子育て」 【資料】レジュメ / スライド / 印刷用（白黒）	
	【予習】子どもと家庭を取り巻く現状の概要をテキスト、参考文献等で確認する 参考 「令和元年版少子化社会対策白書（概要）」 「グラフでみる世帯の状況」	90分
	【復習】子どもと家庭を取り巻く現状について、授業内容を確認し、理解を深める	90分
第3回	「子ども家庭福祉の意義と歴史」(1)：子ども家庭福祉の理念 ○子ども家庭福祉の理念 ○子どもの権利保障（児童の権利に関する条約・児童の最善の利益） 【資料】レジュメ スライド （印刷用）	
	【予習】子ども家庭福祉の理念の中核である「子どもの権利保障」の概要をテキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子どもの権利保障について、授業内容を確認し、理解を深める （参考）児童の権利条約（児童の権利に関する条約） 外務省 （参考）LGBTの子どもたち 性同一性障害や性的指向・性自認に係る、児童生徒に対するきめ細かな対応等の実施について	90分
第4回	「子ども家庭福祉の意義と歴史」(2)：子ども家庭福祉の歴史 ○児童観の変遷 ○子ども家庭福祉制度の発展過程 【資料】レジュメ スライド （印刷用）	
	【予習】子ども家庭福祉の歴史の概要をテキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子ども家庭福祉の歴史について、授業内容を確認し、理解を深める	90分
第5回	「子ども家庭福祉の制度と実施体制」(1)：子ども家庭福祉の制度と法体系 ○児童福祉法 / ○子ども家庭福祉に関する法律 【資料】レジュメ スライド （印刷用）	
	【予習】児童福祉法と子ども家庭福祉関係法律の概要をテキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】児童福祉法及び関係法律と制度について、授業内容を確認し、理解を深める	90分
第6回	「子ども家庭福祉の制度と実施体制」(2)：子ども家庭福祉行政と実施機関 ○子ども家庭福祉の行政 / ○子ども家庭福祉の実施機関と施設 【資料】レジュメ スライド （印刷用）	
	【予習】子ども家庭福祉行政と実施機関の概要をテキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子ども家庭福祉行政と実施機関について、授業内容を確認し、理解を深める	90分
第7回	「子ども家庭福祉施策の現状と課題」(1)：子育て支援サービスと児童の健全育成 ○子育て支援サービス / ○健全育成施策 【資料】レジュメ / スライド・印刷用	
	【予習】子育て支援サービスと健全育成施策の概要をテキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子育て支援サービスと健全育成施策の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める （参考リンク） 子ども・子育て支援@厚生労働省ホームページ / 少子化対策@内閣府ホームページ	90分

第8回	「子ども家庭福祉施策の現状と課題」(2)：母子保健サービス ○母子保健の理念 / ○母子保健サービスの実施と体系 / ○母子保健の取り組み 【資料】レジュメ / スライド (印刷用)	
	【予習】母子保健サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する (参考) 広報啓発DVD (赤ちゃんが泣きやまない～泣きへの対処と理解のために～) 厚生労働省	90分
	【復習】母子保健サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める (参考リンク) 母子保健及び子どもの慢性的な疾病についての対策 厚生労働省	90分
第9回	「子ども家庭福祉施策の現状と課題」(3)：保育サービス ○保育所と待機児童 ○保育サービス 【資料】レジュメ / スライド	
	【予習】保育サービスの概要をテキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】保育サービスの現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める (参考リンク) 保育関係 厚生労働省 / 子ども・子育て本部 内閣府	90分
第10回	「子ども家庭福祉施策の現状と課題」(4)：子ども虐待とDV (ドメスティック・バイオレンス) ○子ども虐待 ○DV (ドメスティック・バイオレンス) 【資料】レジュメ / スライド (印刷用)	
	【予習】子ども虐待とDV (ドメスティック・バイオレンス) の概要をテキスト、参考文献等で確認する (参考リンク) 児童虐待防止対策 厚生労働省 配偶者からの暴力被害者支援情報 - 内閣府男女共同参画局	90分
	【復習】児童虐待とDV (ドメスティック・バイオレンス) の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める	90分
第11回	「子ども家庭福祉施策の現状と課題」(5)：社会的養護 ○社会的養護とは ○代替的養護 ○社会的養護の状況と今後 【資料】レジュメ / スライド (印刷用)	
	【予習】社会的養護の概要をテキスト、参考文献等で確認する (参考) 【抜粋】資料集「社会的養育の推進に向けて (令和2年4月)」 「新しい社会的養育ビジョン」の概要 (H29.8.2)	90分
	【復習】社会的養護の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める (参考リンク) 社会的養護 厚生労働省	90分
第12回	「子ども家庭福祉施策の現状と課題」(6)：ひとり親家庭への福祉 ○ひとり親家庭の現状と生活状況 ○ひとり親家庭福祉サービスの概要 ○外国籍家庭や外国にルーツをもつ家庭、貧困家庭等、特別な配慮を必要とする家庭の状況とその対応含む 【資料】レジュメ (参考) 【抜粋】(R2年4月)「ひとり親家庭等の支援について」(厚生労働省)	
	【予習】ひとり親家庭への福祉の概要をテキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】ひとり親家庭への福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める	90分
第13回	「子ども家庭福祉施策の現状と課題」(7)：障害のある子どもの福祉 ○「障害」観 ○障害児の定義と現状 ○障害児への福祉施策 【資料】レジュメ / スライド (印刷用) 次回へ繰越。今回は富山県主催「子育て支援・放課後児童クラブ出前講座」として実施します。 講演内容「放課後児童クラブや支援員の役割について」 講師 宮田校下児童育成クラブ 支援員 屋敷 夕貴 氏	
	【予習】障害のある子どもの福祉の概要をテキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】障害のある子どもの福祉の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める (参考リンク) 障害児支援施策 厚生労働省 (参考) 「今後の障害児支援の在り方について (報告書) H26.7.16 障害児支援の在り方に関する検討会」 概要・本文	90分

第14回	「子ども家庭福祉施策の現状と課題」(8)：情緒障害・少年非行問題 ○情緒障害 ○少年非行 【資料】 レジюме / スライド (印刷用)	
	【予習】情緒障害・少年非行問題の概要をテキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】情緒障害・少年非行問題の現状と課題について、授業内容を確認し、理解を深める	90分
第15回	「子ども家庭に対する支援の実際」 ○子ども家庭福祉の専門職 ○支援の実際(多職種・他機関連携)	
	【予習】子ども家庭福祉の専門職と支援の実際について、概要をテキスト、参考文献等で確認する	90分
	【復習】子ども家庭福祉の専門職と支援の実際について、授業内容を確認し、理解を深める	90分
第16回	前期末レポート課題 テーマ：児童家庭福祉の専門職として、保育者に求められる役割はどのようなものか。授業を踏まえて、あなたの考えを述べなさい。 形式等：A4,1ページ。1200字～1600字(40字40行)。表紙は不要。1行目に学籍番号・氏名を明記。2行目をタイトルとし、3行目から本文をはじめること。 提出場所：Webシラバス第16回【課題1】のリンクからWordファイルで提出すること。ファイル名は「児童家庭福祉論レポート.docx」とすること。(学籍番号+氏名はWebシラバスの方で自動的に付与されます) 提出期限：2021年8月6日(金)18:00まで フィードバック：課題やレポートについて学生の学びが深まるように適切なデータや資料を(後日)紹介する。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目1：期末筆記試験における客観式テストまたはレポートで評価する。(60%) 到達目標項目2：期末筆記試験における記述式テストまたはレポートで評価する。(20%) 到達目標項目3：受講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性10% 社会性10% 専門性：80%		
使用資料 ＜テキスト＞	・櫻井奈津子編『保育と子ども家庭福祉』 (みらい)	使用資料 ＜参考図書＞	授業の中で紹介します。
授業外学修等	・次回の学習範囲について教科書を読んだの予習、受講後のノートや配布資料の整理などの復習をして下さい。 ・少子化、子育て支援、児童虐待、こどもの貧困など、日々の新聞・テレビ・ネットニュースなどに注目をしておいて下さい。 ・自分の県や市町村のホームページや広報などで、身近な子ども・家庭支援事業に注目をしておいて下さい。		
授業外質問方法	・メール(tmiyata@tuins.ac.jp)で連絡または研究室(E507)を訪問。時間の都合がつく限り、質問や相談に応じます。		
オフィス・アワー	・水曜日2限 E507宮田研究室		

授業科目名	保育内容総論(A)			科目コード	K1201L04
英文名	Seminar in Childcare				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	2限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景と保育の内容の歴史的変遷を学び、子どもの実態に即した具体的な保育の過程（PDCAサイクル）につなげて理解する。また、幼児期の終わりまでに育って欲しい姿、育みたい資質・能力、領域の内容、小学校の教科とのつながりを考えながら、保育の全体構造を体験的に理解するために、教育・保育現場で行われている様々な遊びを取り上げ、模擬保育の実践を通して、子どもの発達と援助の関係、教育・保育に必要な知識・技能の理解、向上に努める機会とする。				
キーワード	保育内容	総論	保育の構造		
到達目標	社会の変化に伴う保育内容の変遷や保育の多様な展開、保育の全体構造を理論的に理解することができる。(20%)				
	乳児期から幼児期、領域から教科へのつながりを踏まえ、幼児期のにふさわしい遊びを考え、保育教材や環境について体験的に理解し、製作・準備することができる。(40%)				
	グループ毎に、幼児の観察→指導案作成→模擬保育→記録・評価→指導案改善の保育の流れを体験的に理解し、実践することができる。(40%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○					○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(担当教員：幼稚園教諭・特別支援学校教諭の実務経験あり) 遊びを中心とした教育・保育 -主体的学び・対話的学び・深い学びへのアプローチ/幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (DVDを通して 約40分) 第1回ワークシート	
	【予習】養護と教育の一体性、乳児保育の3つの視点、幼児教育における5領域、3つの資質・能力について復習しておく。 授業で配布される資料を綴じるファイルを準備しておき、毎回の授業に持参する。	90分
	【復習】授業内容についてノートにまとめる。	90分
第2回	保育内容の変遷と保育の多様な展開 第15回まで共に学んでいくメンバーとのグルーピングを行う (全6班：第9回～第14回までひと班ずつ模擬保育を行う) 。	
	【予習】長時間保育、特別な配慮を要する子どもの保育、多文化共生の保育について調べておく。	90分
	【復習】授業内容についてノートにまとめる。	90分
第3回	3歳以上児の発達段階や興味・関心について～DVD視聴を中心に 模擬保育で行う遊びを決めます。(班毎) 片山紀子編著『保育実習・教育実習の設定保育』参照 部分保育の指導案作成と発達年齢を考慮した保育教材研究 (班毎)	
	【予習】0～2歳児までの発達段階を復習しておく。 一人一冊、幼児の遊びに関する教材研究ができる書籍を図書館で借り、どの遊びを行ってみたいか候補を決めておく。	90分
	【復習】幼児の発達や興味・関心について復習する。 保育教材 (情報機器活用を含む) で使ってみたいものがあればグループで相談し、準備する。次回までの役割分担を決めておく。	90分
第4回	発達に応じた遊びの展開と保育者の役割～指導案の書き方を理解する～ 模擬保育の遊びのねらいと内容を考えます。(班毎)	
	【予習】指導案の書き方についてテキストを見ておく。	90分
	【復習】指導案の書き方や幼児の発達について復習する。 保育教材 (情報機器活用を含む) で使ってみたいものがあればグループで相談し、準備する。次回までの役割分担を決めておく。	90分
第5回	幼児教育への情報機器の活用について考える 「これからの幼児教育とICTの活用～幼児理解の深化と支援の充実へ～」(文部科学省委託事業) を参考に 模擬保育での幼児の活動の流れを考え、必要な保育教材の製作を始めます。使用教室を確定します。(班毎)	
	【予習】保育・教育でどのようなICT活用ができるか、また、そのリスクも同時に考えておく (保育運営、電子紙芝居、デジタル壁画等) 。	90分
	模擬保育で必要な教材・材料を準備しておく。また、購入したい教材があれば、教員に相談してから購入し、商品名が分かるレシートを持参する (1班700円まで) 。	
	【復習】保育教材 (情報機器活用を含む) で使ってみたいものがあればグループで相談し、準備する。	90分
第6回	模擬保育での保育者の援助や配慮と必要な保育教材の製作 (班毎)	
	【予習】模擬保育で必要な教材・材料を準備しておく。また、購入したい教材があれば、教員に相談してから購入し、商品名が分かるレシートを持参する (1班700円まで) 。	90分
	【復習】指導案の書き方や幼児の発達について復習する。次回までの役割分担を決めておく。	90分
第7回	模擬保育の指導案と必要な保育教材の完成 (班毎) 使用備品を確定します。	
	【予習】保育教材 (情報機器活用を含む) で使ってみたいものがあればグループで相談して準備する。購入したい教材があれば、教員に相談してから購入し、商品名が分かるレシートを持参する (1班700円まで) 。	90分
	【復習】指導案の書き方や幼児の発達について復習する。次回までの役割分担を決めておく。	90分

第8回	模擬保育の指導細案完成とリハーサル	
	【予習】保育教材（情報機器活用を含む）で使ってみたものがあればグループで相談して準備する。購入したい教材があれば、教員に相談してから購入し、商品名が分かるレシートを持参する（1班700円まで）。 本時で細案が完成するように、グループで適宜話し合いを進めておく。	90分
	【復習】模擬保育で使用したい備品や教室の最終確認を教員と行う（新たな教室申請は不可）。	90分
第9回	指導案に基づく模擬保育と討論（1） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】各自、模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第9回課題提出 に格納する。	90分
第10回	指導案に基づく模擬保育と討論（2） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】各自、模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第10回課題提出 に格納する。	90分
第11回	指導案に基づく模擬保育と討論（3） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】各自、模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第11回課題提出 に格納する。	90分
第12回	指導案に基づく模擬保育と討論（4） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】各自、模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第12回課題提出 に格納する。	90分
第13回	指導案に基づく模擬保育と討論（5） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】各自、模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第13回課題提出 に格納する。	90分
第14回	指導案に基づく模擬保育と討論（6） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第14回課題提出 に格納する。	90分
第15回	模擬保育の振り返りと授業のまとめ （教員から、全6回分の模擬保育・感想、各自提出した指導案について、全体的な感想をコメントする） 自分の変化への気づきフォームに入力・送信する	
	【予習】自分の班で行った模擬保育について整理しておく。	90分
	【復習】レポート課題を記入し、この欄の に2/3（木）17:00までに、A4 1ページで提出すること。 レポート枠参照	90分

第16回	定期試験は行わない	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ～ について、受講態度（模擬保育等）30%、指導案30%、レポート40%で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：15%、社会性：15%、専門性70%）		
使用資料 <テキスト>	開仁志編著『保育指導案大百科事典』（一藝社）	使用資料 <参考図書>	文部科学省 平成29年告示『小学校学習指導要領』
授業外学修等	・図書館の書籍を授業に大いに活用してください。 ・できる範囲で3歳以上児の観察を行ってください。その経験をもとに、模擬保育の打ち合わせを積極的に行ってください。		
授業外質問方法	授業後やメール（ishikura@tuins.ac.jp）、オフィスアワーを利用して質問してください。		
オフィス・アワー	水曜日5限（E-403石倉研究室）		

授業科目名	保育内容総論(B)			科目コード	K1201L04
英文名	Seminar in Childcare				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	准教授	担当教員名	石倉 卓子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	3限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	子どもの発達や生活を取り巻く社会的背景と保育の内容の歴史的変遷を学び、子どもの実態に即した具体的な保育の過程（PDCAサイクル）につなげて理解する。また、幼児期の終わりまでに育って欲しい姿、育みたい資質・能力、領域の内容、小学校の教科とのつながりを考えながら、保育の全体構造を体験的に理解するために、教育・保育現場で行われている様々な遊びを取り上げ、模擬保育の実践を通して、子どもの発達と援助の関係、教育・保育に必要な知識・技能の理解、向上に努める機会とする。				
キーワード	保育内容	総論	保育の構造		
到達目標	社会の変化に伴う保育内容の変遷や保育の多様な展開、保育の全体構造を理論的に理解することができる。(20%)				
	乳児期から幼児期、領域から教科へのつながりを踏まえ、幼児期のにふさわしい遊びを考え、保育教材や環境について体験的に理解し、製作・準備することができる。(40%)				
	グループ毎に、幼児の観察→指導案作成→模擬保育→記録・評価→指導案改善の保育の流れを体験的に理解し、実践することができる。(40%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○					○

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(担当教員：幼稚園教諭・特別支援学校教諭の実務経験あり) 遊びを中心とした教育・保育 -主体的学び・対話的学び・深い学びへのアプローチ/幼児期の終わりまでに育ってほしい姿 (DVDを通して 約40分) 第1回ワークシート	
	【予習】養護と教育の一体性、乳児保育の3つの視点、幼児教育における5領域、3つの資質・能力について復習しておく。 授業で配布される資料を綴じるファイルを準備しておき、毎回の授業に持参する。	90分
	【復習】授業内容についてノートにまとめる。	90分
第2回	保育内容の変遷と保育の多様な展開 第15回まで共に学んでいくメンバーとのグルーピングを行う (全6班：第9回～第14回までひと班ずつ模擬保育を行う) 。	
	【予習】長時間保育、特別な配慮を要する子どもの保育、多文化共生の保育について調べておく。	90分
	【復習】授業内容についてノートにまとめる。	90分
第3回	3歳以上児の発達段階や興味・関心について～DVD視聴を中心に 模擬保育で行う遊びを決めます。(班毎) 片山紀子編著『保育実習・教育実習の設定保育』参照 部分保育の指導案作成と発達年齢を考慮した保育教材研究 (班毎)	
	【予習】0～2歳児までの発達段階を復習しておく。 一人一冊、幼児の遊びに関する教材研究ができる書籍を図書館で借り、どの遊びを行ってみたいか候補を決めておく。	90分
	【復習】幼児の発達や興味・関心について復習する。 保育教材 (情報機器活用を含む) で使ってみたいものがあればグループで相談し、準備する。次回までの役割分担を決めておく。	90分
第4回	発達に応じた遊びの展開と保育者の役割～指導案の書き方を理解する～ 模擬保育の遊びのねらいと内容を考えます。(班毎)	
	【予習】指導案の書き方についてテキストを見ておく。	90分
	【復習】指導案の書き方や幼児の発達について復習する。 保育教材 (情報機器活用を含む) で使ってみたいものがあればグループで相談し、準備する。次回までの役割分担を決めておく。	90分
第5回	幼児教育への情報機器の活用について考える 「これからの幼児教育とICTの活用～幼児理解の深化と支援の充実へ～」(文部科学省委託事業) を参考に 模擬保育での幼児の活動の流れを考え、必要な保育教材の製作を始めます。使用教室を確定します。(班毎)	
	【予習】保育・教育でどのようなICT活用ができるか、また、そのリスクも同時に考えておく (保育運営、電子紙芝居、デジタル壁画等) 。	90分
	模擬保育で必要な教材・材料を準備しておく。また、購入したい教材があれば、教員に相談してから購入し、商品名が分かるレシートを持参する (1班700円まで) 。	90分
第6回	模擬保育での保育者の援助や配慮と必要な保育教材の製作 (班毎)	
	【予習】模擬保育で必要な教材・材料を準備しておく。また、購入したい教材があれば、教員に相談してから購入し、商品名が分かるレシートを持参する (1班700円まで) 。	90分
	【復習】指導案の書き方や幼児の発達について復習する。次回までの役割分担を決めておく。	90分
第7回	模擬保育の指導案と必要な保育教材の完成 (班毎) 使用備品を確定します。	
	【予習】保育教材 (情報機器活用を含む) で使ってみたいものがあればグループで相談して準備する。購入したい教材があれば、教員に相談してから購入し、商品名が分かるレシートを持参する (1班700円まで) 。	90分
	【復習】指導案の書き方や幼児の発達について復習する。次回までの役割分担を決めておく。	90分

第8回	模擬保育の指導細案完成とリハーサル	
	【予習】保育教材（情報機器活用を含む）で使ってみたものがあればグループで相談して準備する。購入したい教材があれば、教員に相談してから購入し、商品名が分かるレシートを持参する（1班700円まで）。 本時で細案が完成するように、グループで適宜話し合いを進めておく。	90分
	【復習】模擬保育で使用したい備品や教室の最終確認を教員と行う（新たな教室申請は不可）。	90分
第9回	指導案に基づく模擬保育と討論（1） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】各自、模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第9回課題提出 に格納する。	90分
第10回	指導案に基づく模擬保育と討論（2） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】各自、模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第10回課題提出 に格納する。	90分
第11回	指導案に基づく模擬保育と討論（3） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】各自、模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第11回課題提出 に格納する。	90分
第12回	指導案に基づく模擬保育と討論（4） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】各自、模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第12回課題提出 に格納する。	90分
第13回	指導案に基づく模擬保育と討論（5） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】各自、模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第13回課題提出 に格納する。	90分
第14回	指導案に基づく模擬保育と討論（6） 観察の視点入力フォームに入力・送信する	
	【予習】模擬保育の指導案データを実施3日前までに科目担当教員へメール添付で提出する（ファイル名：グループ・班・リーダー名）。基本的な部分はデータ上で指摘するので、修正して印刷すること。	90分
	【復習】模擬保育の指導案を修正し、自分なりの考察を記入してワードデータで次週の木曜日までにwebsyllabus第14回課題提出 に格納する。	90分
第15回	模擬保育の振り返りと授業のまとめ （教員から、全6回分の模擬保育・感想、各自作成した指導案について、全体的な感想をコメントする） 自分の変化への気づきフォームに入力・送信する	
	【予習】自分の班で行った模擬保育について整理しておく。	90分
	【復習】レポート課題を記入し、この欄の レポート枠参照 に2/3（木）17:00までに、A4 1ページで提出すること。	90分

第16回	定期試験は行わない	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ～ について、受講態度（模擬保育等）30%、指導案30%、レポート40%で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：15%、社会性：15%、専門性70%）		
使用資料 <テキスト>	開仁志編著『保育指導案大百科事典』（一藝社）	使用資料 <参考図書>	文部科学省 平成29年告示『小学校学習指導要領』
授業外学修等	・図書館の書籍を授業に大いに活用してください。 ・できる範囲で3歳以上児の観察を行ってください。その経験をもとに、模擬保育の打ち合わせを積極的に行ってください。		
授業外質問方法	授業後やメール（ishikura@tuins.ac.jp）、オフィスアワーを利用して質問してください。		
オフィス・アワー	水曜日5限（E-403石倉研究室）		

授業科目名	子どもと健康			科目コード	K1201L11
英文名	Children and Health				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	金子 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	5限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	1単位		
授業の概要	健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う領域「健康」の指導の基礎となる知識、技能を身に付ける。幼児の心身の発達、基本的生活習慣、安全な生活、運動発達などにおいて、幼児期には成年とは異なる特徴や意義があることを学び、その違いが支援方法にも関連していることについて理解する。 担当教員：公立学校にて実務経験のある教員				
キーワード	幼児期の健康課題	幼児の体の発達	安全な生活	幼児の運動発達	
到達目標	幼児期の健康課題と健康の発達の意味を理解する。 ・乳幼児期の心と体、運動発達などの健康課題を理解する。 ・健康の定義と乳幼児期の健康の意義を説明することができる。				
	幼児期の身体の諸機能の発達と生活習慣の形成を理解する。 ・乳幼児の体の発達の特徴を説明することができる。 ・乳幼児の基本的生活習慣の形成とその意義を説明できる。				
	安全な生活と怪我や疾病の予防について理解する。 ・幼児の安全教育・健康管理に関する基本的な考え方をもち。 ・幼児期の怪我の特徴や病気の予防について説明することができる。				
	幼児期の運動発達の特徴と意義を理解する。 ・乳幼児期の運動発達の特徴を説明することができる。 ・幼児期において多様な動きを獲得することの重要性を理解している。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）			地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）	
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践			子どもの発達と相談支援	
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○					
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	授業オリエンテーション 乳幼児期の健康課題 - 健康の定義と乳幼児期の健康の意義、乳幼児を取り巻く生活環境と健康 -	
	【予習】	
	【復習】乳幼児を取り巻く環境についての課題と解決策についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	20分
第2回	乳幼児の身体の発達の特徴 - 乳幼児期の身体的発達の特徴、生理的機能の発達 -	
	【予習】	
	【復習】各年齢における発達段階に応じた支援のあり方についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	20分
第3回	乳幼児期の生活習慣の形成 - 乳幼児期の生活習慣の獲得及び生活リズムの形成とその意義 -	
	【予習】	
	【復習】乳幼児期の生活習慣確立のために必要な支援の在り方についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	20分
第4回	幼児期の怪我や自己の特徴と応急処置 - 幼児期に起こりやすいけがの特徴と応急処置の基礎 -	
	【予習】	
	【復習】幼児の怪我防止とその処置の方法についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	20分
第5回	乳幼児期の運動発達の特徴 - 運動コントロール能力の発達と「多様な動き」の意味、及び両者の関係 -	
	【予習】	
	【復習】各年齢における運動発達度に応じた支援の在り方についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	30分
第6回	遊びとしての運動 - 子どもにとっての遊びとして行う運動の在り方 -	
	【予習】	
	【復習】各年齢に応じた運動遊びの展開方法についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	30分
第7回	運動遊びの実践と体力・運動能力の発達 - 乳幼児期に必要な「動きの多様化」と「動きの洗練化」のために -	
	【予習】	
	【復習】現代の子どもの運動遊びを取り巻く環境についてGoogleformに小レポートを提出する。 レポート内容の理解や質問事項について、次回の授業時に全体に回答を伝える。	30分

第8回	効果的な運動遊びとその指導方法について - 乳幼児期に身に付けておくべき動作を習得するための効果的な運動遊びについて -	
	【予習】	
	【復習】 各年齢における運動遊びの指導計画についてのレポートを作成し提出する。 提出したレポートは、教員からコメントを記入して学生に返却する。	180分
第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	毎回の授業後の出席レポート(40%：1回5点×8回)、最終レポート課題(30%：30点満点)、授業時のプレゼンテーション、発表態度(30%：30点)を総合的に判断して評価する。 到達度についての評価割合： 25%、 25%、 25%、 25%		
使用資料 <テキスト>	保育者をめざすあなたへ 子どもと健康【第2版】勝木洋子・日坂歩都恵・大和晴行	使用資料 <参考図書>	コンパクト版保育内容シリーズ 「健康」, 谷田貝公昭 監修,一藝社
授業外学修等	乳幼児期の子どもの健康と安全、運動について常に注意を払い、文献やマスメディアからの情報に積極的に触れること。		
授業外質問方法	メールにて受け付ける。 金子泰子：kaneko@tuins.ac.jp オフィスアワーでも対応する。		
オフィス・アワー	水曜2限 10:50～12:20（金子研究室 E313）		

授業科目名	子どもと自然			科目コード	K1201L13
英文名	Children and Nature				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	教授	担当教員名	松山 友之		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	月曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	1単位		
授業の概要	乳幼児期の子どもと自然について、その心身の発達や五感を使って感じ、どのように生活に取り入れていくかを実際の遊びや活動など体験を通して学び、子どもにどのように働きかけるかを考える。また、子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針等に示される保育の内容、特に領域「環境」に関する専門的事項を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得するとともに、保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得することを目指す。				
キーワード	発達	自然	環境	五感	遊び
到達目標	乳幼児期の子どもがどのように身近な環境に親しみ、自然と触れ合う中で様々な事象に興味や関心をもつかを知り、配慮や指導の仕方を身に付けることができる。(40%)				
	乳幼児期の子どもがどのように身近な環境に自分からかわかり、発見を楽しんだり、考えたりし、それを生活に取り入れようとするための配慮や指導の仕方を身に付けることができる。(30%)				
	乳幼児期の子どもが、身近な事象を見たり、考えたり、扱ったりする中で、モノの性質や数量、文字などに対する感覚を豊かにするための配慮や指導の仕方を身に付けることができる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○			○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○	○		○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 乳幼児期の子どもの心身の発達と自然認識について概要を学び、どのように自然とかがわることが大切かを考える。小学校のスタートカリキュラムも含め、幼児期と小学校との接続についても理解する。	
	【予習】	
	【復習】乳幼児期の子どもの心身の発達と自然のかかわりについて考えをまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第2回	子どもと土・水 乳幼児期の子どもにとって身近な物である土・水について、どのように認識し、一人一人の遊びや活動の中で生活に取り入れ自分のものとしていくかについて考える。また、実際の活動からその面白さを学ぶ。	
	【予習】子どもの頃の土・水に関する体験を思い出し、特に記憶に残っていることをまとめる。	30分
	【復習】土・水を使った遊びや活動について考察し、小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第3回	子どもと風・空気・におい 乳幼児期の子どもが日々の生活の中で体感する風の方から見えない空気存在、そしてその風が生み出す物の動きなどについて実際の遊びや活動から考察し、どのように環境を構成するかを考える。想像力を豊かにするにおいについても考察する。	
	【予習】子どもの頃の風・空気・においに関する体験を思い出し、特に記憶に残っていることをまとめる。	30分
	【復習】風・空気・においに関する遊びや活動について考察し、小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第4回	子どもと植物・動物・身近な人 乳幼児期の子どもが身近な植物・動物とどのようにかかわり、生命として認識していくかを理解し、命の尊さや動植物をいたわり、大切にすることについて考える。また、身近な人とのかかわりと生活との関連についても考察する。	
	【予習】子どもの頃の光・色・音に関する体験を思い出し、特に記憶に残っていることをまとめる。	30分
	【復習】光・色・音を使った遊びや活動について考察し、小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第5回	子どもと光・色・音 乳幼児期の子どもにとって身近な光や色、そして音について、どのように認識するかを理解し、子どもが五感を通して感じる遊びや活動にどのようにつながっているかを考える。	
	【予習】子どもの頃の光・色・音の体験を思い出し、特に記憶に残っていることをまとめる。	30分
	【復習】光・色・音の遊びや活動について考察し、小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第6回	子どもと季節・世界・人 乳幼児期の子どもが感じる季節、暖かさや冷たさ、自然の変化といった時とともに変化する自然のようすを知ること。また、子どもが将来出会うであろう世界の国の人々や地理といった広がりを知ること。これらの内容をICTを活用することや実際に体験し関わるることについて考える。また、人権教育の視点からも考察する。	
	【予習】子どもの頃の季節・世界・人について感じたことを思い出し、特に記憶に残っていることをまとめる。	30分
	【復習】季節・世界・人に関して、どのように乳幼児期の子どもたちにはたらきかけていくかを考察し、小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第7回	課題研究「子どもが豊かに自然とのかかわり、周囲の環境を生活に取り入れていこうとする力を養う遊びや活動はどうあればよいか」	
	【予習】グループで課題解決に向けて、取り組んでみたいテーマを考える。	30分
	【復習】グループで課題研究発表に向けて、力を合わせ遊びや活動の計画し、必要なものを準備する。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第8回	課題研究発表と教材づくり グループで考えた遊びや活動、その環境構成を発表する。またその遊びや活動を実際に体験することで乳幼児期の子どもがそれらを生活に取り入れていこうとする力を養うことにつながるかを話し合う。子どもたちが自然とかがわることができる教材づくりについて考えをまとめる。	
	【予習】グループで課題研究発表に向けて、力を合わせ遊びや活動を計画し、教材づくりに取り組む。また、必要なものを準備する。	120分
	【復習】課題研究発表での取り組みや協議から得られたこと、教材づくりについて課題研究レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分

第9回		
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	課題研究と課題レポート（30％）、8 回の取組の状況及び小テストと小レポート等(70％) により評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	幼稚園教育要領解説（平成29年3月31日公示）	使用資料 <参考図書>	必要に応じて、授業中に紹介する。
授業外学修等	毎回の授業内容や小レポート、課題レポートに関連する学習内容を関連書籍や資料を通して調べる。		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用する。または、メールで質問する（matsuyama@tuins.ac.jp）。		
オフィス・アワー	金曜 1 限		

授業科目名	子どもと言葉			科目コード	K1201L14
英文名	Children and Language				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	准教授	担当教員名	本江 理子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	1単位		
授業の概要	子どもの心身の発達や子どもを取り巻く環境等と保育所保育指針に示される保育の内容を理解した上で、子どもの生活と遊びを豊かに展開するために必要な知識や技術を実践的に習得する。 言語表現を中心に、保育における教材等の活用及び作成と、保育の環境の構成及び具体的展開のための技術を実践的に習得する。 (担当教員：保育士・幼稚園教諭の実務経験あり)				
キーワード	保育技術	教材研究	児童文化財	絵本・紙芝居	言葉遊び
到達目標	保育の内容を学び、乳幼児期に適した保育教材について理解する。(30%)				
	子ども自らが児童文化財に親しむ体験のための教材等の活用に必要な知識・技術を習得する。(40%)				
	子どもの生活や遊びにおいてイメージを豊かにし、感性を養うための環境の構成と保育の展開を考える。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○	/	○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
○	○		○	/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	保育における言語活動とは何か 子どもにとっての言語活動 （事例を通して考える、発達に即した遊び）	
	【予習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「領域 言葉」に関連する部分を探してチェックしておく。	90分
	【復習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「領域 言葉」に関連する部分読み込む。 当日中に、WEBシラバス上で「鉛筆を持った人マーク」をクリックし、今日の授業についてのアンケートフォームに記入し、回答送信ボタンを押す（毎回）。	90分
第2回	児童文化財・語り（民話・素話など）の魅力について 言葉遊びについて （なぞなぞ・カルタ・しりとり など）	
	【予習】幼稚園教育要領、保育所保育指針、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の「領域 言葉」に関連する部分読み込む。	90分
	【復習】授業内容をノートにまとめる。 言葉遊びを友人同士で、何度も体験する。 第4回に向けて、絵本や紙芝居を探し始める。	90分
第3回	絵本・紙芝居の種類について（年齢にあった絵本・紙芝居の選び方、実演方法）	
	【予習】第7回に向けて、 を行う。 テキスト『保育指導案大百科事典』を計画的に読み進める。 指導案作成のための教材研究をする。	90分
	【復習】第7回に向けて、 を行う。 テキスト『保育指導案大百科事典』を計画的に読み進める。 指導案作成のための教材研究をする。	90分
第4回	絵本・紙芝居の読み聞かせ体験 好きな絵本・紙芝居を持ち寄って	
	【予習】第7回に向けて、 を行う。 テキスト『保育指導案大百科事典』を計画的に読み進める。 指導案作成のための教材研究をする。	90分
	【復習】第5回に発表する絵本・紙芝居を選び、導入を考える。	90分
第5回	絵本・紙芝居の読み聞かせ体験 導入の際の手遊びなどを交えて （グループ内発表）	
	【予習】発表の準備をする。 （読み聞かせの練習など）	90分
	【復習】発表の準備をする。 （読み聞かせの練習など）	90分
第6回	「言葉」に関する指導案作成 （教材研究）	
	【予習】テキスト『保育指導案大百科事典』のポイントをつかんでおく。 指導案作成のための教材・文献・資料を準備する。	90分
	【復習】教材研究の反省点を洗い出し、第7回の指導案立案の準備をする。	90分
第7回	「言葉」に関する指導案作成 （立案）	
	【予習】テキスト『保育指導案大百科事典』をさらに読み込む。	90分
	【復習】テキスト『保育指導案大百科事典』をさらに読み込む。	90分
第8回	「言葉」に関する指導案作成 （グループ内発表）	
	【予習】発表の準備をする。 （実際に行ってみる・教材の準備をするなど）	90分
	【復習】発表内容を振り返り、課題を見出す。	90分

第9回	期末試験 保育技術の評価	
	【予習】	
	【復習】	
第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	授業態度(50%)、提出物、保育技術の評価(50%)で評価します。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価します。		
使用資料 <テキスト>	開仁志編著『保育指導案大百科事典』（一藝社）	使用資料 <参考図書>	授業内で適宜配布します。
授業外学修等	・授業内で使用するための自分に合った絵本・紙芝居を探しておいてください。 ・期末試験に向けて、発声練習をしておきましょう。		
授業外質問方法	授業の前後とオフィスアワーに受け付けます。 オフィスアワーに授業が重なっている場合は、別の時間を予約してください。		
オフィス・アワー	水曜日 2 限 （E-402 本江研究室）		

授業科目名	乳児保育			科目コード	K1201L16
英文名	Infant Care I				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	竹田 好美		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	4限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	乳児保育の意義・目的・歴史的変遷や保育所等における乳児保育の現状と課題について学ぶ。また、乳児の発達・発達や生活について学び、それらを踏まえた保育内容・方法について理解していく。講義を中心とするが、適宜小グループに分かれ、テーマについて討論したり、教材研究をした入りすることを通して理解を深めていく。 (科目担当教員：幼稚園教諭の実務経験あり)				
キーワード	乳児保育の意義	発達と保育内容	生活と遊びの環境	教材研究	
到達目標	乳児保育の意義・目的・歴史的変遷、現状や課題について学び、乳児保育の重要性を理解することができる。(30%)				
	3歳未満児の発育・発達について学び、健やかな成長と支える3歳未満児の生活や遊びについて理解することができる。(35%)				
	乳児保育の計画、保育の内容や方法、環境構成、運営体制や連携などについて学び、実際の乳児保育に關してのイメージをつかむことができる。(35%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力(専門性の向上)				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践			子どもの発達と相談支援	
キー・コンピテンシー(重視する能力)					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○			
教授方法(授業方法)					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○	○			

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション 乳児保育の重要性		
	【予習】「乳児」について調べておく		90分
	【復習】第1回の授業内容についてまとめておく		90分
第2回	乳児保育における社会的状況と乳児保育の目的		
	【予習】第2回の授業内容に関する教科書の内容を確認しておく		90分
	【復習】第2回の授業内容についてまとめておく		90分
第3回	様々な保育施設における乳児保育		
	【予習】第3回の授業内容に関する教科書の内容を確認しておく		90分
	【復習】第3回の授業内容についてまとめておく		90分
第4回	乳児の発育・発達過程と保育者 （１）乳児の発達を捉える視点		
	【予習】第4回の授業内容に関する教科書の内容を確認する		90分
	【復習】第4回の授業内容についてまとめておく		90分
第5回	乳児の発育・発達過程と保育者 （２）身体的・心理的発達を中心に		
	【予習】第5回の授業内容に関する教科書の内容を確認しておく		90分
	【復習】第5回の授業内容についてまとめておく		90分
第6回	乳児の発育・発達過程と保育者 （３）認知的・精神的発達を中心に		
	【予習】第6回の授業内容に関する教科書の内容を確認する		90分
	【復習】第6回の授業内容についてまとめておく		90分
第7回	乳児の発育・発達過程と保育者 （４）社会的・言語的発達を中心に		
	【予習】授業内容に関する教科書の内容を確認しておく		90分
	【復習】授業内容についてまとめておく		90分
第8回	乳児の発育・発達を踏まえた保育の基本 （１）保育者のかかわりの基本		
	【予習】第8回の授業内容に関する教科書の内容を確認しておく		90分
	【復習】第8回の授業内容についてまとめておく		90分

第9回	乳児の発育・発達を踏まえた保育の基本 （2）乳児の遊びや環境と保育者間の連携	
	【予習】第9回の授業内容に関する教科書の内容を確認しておく	90分
	【復習】第9回の授業内容についてまとめておく 乳児期にふさわしいおもちゃについて考え、教材研究を行い、第13回までに材料・道具等を準備しておく	90分
第10回	乳児の発育・発達を踏まえた保育の基本 （3）保護者や地域との連携	
	【予習】第10回の授業内容に関する教科書の内容を確認しておく	90分
	【復習】第10回の授業内容についてまとめておく	90分
第11回	乳児保育における保育の計画・記録・評価と役割 （1）乳児期の保育の計画・記録・評価の意義と流れ	
	【予習】第11回の授業内容に関する教科書の内容を確認しておく	90分
	【復習】第11回の授業内容についてまとめておく	90分
第12回	乳児保育における保育の計画・記録・評価と役割 （2）子ども理解と記録と評価	
	【予習】第12回の授業内容に関する教科書の内容を確認しておく	90分
	【復習】第12回の授業内容についてまとめておく	90分
第13回	子どもの遊びの充実を図るために （1）教材研究	
	【予習】手作りおもちゃについて考えておく	90分
	【復習】手作りおもちゃの設計図を完成させる	90分
第14回	子どもの遊びの充実を図るために （2）教材作り	
	【予習】手作りおもちゃの材料を準備しておく	90分
	【復習】手作りおもちゃを完成させる	90分
第15回	一人一人を大切にしたい乳児保育とは	
	【予習】第1回から第14回までの授業の内容をまとめておく	90分
	【復習】乳児保育の意義や一人一人を大切にしたい乳児保育について、自分の意見をまとめておく	90分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平常点（受講態度・提出物等）（50％）、期末試験（50％）で総合的に評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	阿部和子・大方美香 編著 『乳児保育の理論と実践』 光生館	使用資料 <参考図書>	文部科学省『幼稚園教育要領解説』平成30年（フレーベル館）
授業外学修等	上記時間外においても、授業内容等に関して予習、復習、準備などに積極的に取り組むこと。		
授業外質問方法	オフィスアワー、メールまたは直接研究室に訪ねて質問してください。 takeda@tuins.ac.jp		
オフィス・アワー	水曜2限（E301 竹田研究室）		

授業科目名	音楽（A）			科目コード	K1201L39
英文名	Music I				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	教授 非常勤講師 非常勤講師		担当教員名	堀江 英一 佐々木 ゆき子 大村 禎子	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	火曜日		時限	1限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	1 コマの半分はピアノ演奏の未経験者と既経験者の2 グループに分かれて演習を行い、ピアノと歌唱を通して、保育・教育に必要な音楽の基礎技能を養うとともに、音楽の表現力を高める。 1 コマの半分はリトミックを中心とした多様な音楽表現活動を学習する。 （堀江英一：中学校、高等学校での実務経験あり）				
キーワード	ピアノ	リトミック	歌唱		
到達目標	実技演習を中心とし、保育・教育に必要な音楽の基礎技能を養うとともに、自己の表現力を高める。(50%)				
	授業では、子どもの歌及びピアノの基礎練習曲または自由曲を課題として、ピアノ奏法や歌唱法について学習するが、リトミック及び音楽あそびを通して、小学校、幼稚園、保育所の音楽表現活動に必要な知識と技能を習得する。(50%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○					
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○			○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	指導（佐々木）：オリエンテーション 指導（堀江）：オリエンテーション 指導（大村）：オリエンテーション		
	【予習】シラバスを確認しておく。		10分
	【復習】シラバスに基づき、一週間の見通しをもった練習計画を立てる。		20分
第2回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ぶん ぶん ぶん） 指導（堀江）：ピアノ（かたつむり 他3曲） 指導（大村）：基礎リズムの取得。リズムとフレーズに慣れる。 フィードバック 以下、模範演奏と学生の演奏に対する助言を行います。		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分
第3回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ちょうちょう） 指導（堀江）：ピアノ（かくれんぼ 他3曲） 指導（大村）：歌唱を通し、リズムとフレーズを知る。		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分
第4回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（メリーさんの羊） 指導（堀江）：ピアノ（タヤケ小やけ 他3曲） 指導（大村）：ボールや楽器を使い、リズムに慣れる。		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分
第5回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（きらきらぼし） 指導（堀江）：ピアノ（春の小川 他3曲） 指導（大村）：リズムあそび		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分
第6回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ちゅうりっぷ／片手） 指導（堀江）：ピアノ（さくら さくら 他3曲） 指導（大村）：リズムとフレーズを表現する。		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分
第7回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ちゅうりっぷ／両手） 指導（堀江）：ピアノ（もみじ 他3曲） 指導（大村）：複リズムの分担奏		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分

第8回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ちゅうりっぷ／仕上げ） 指導（堀江）：ピアノ（冬げしき 他3曲） 指導（大村）：和声の楽しさを養い、身体で表現する。	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第9回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ぞうさん／片手） 指導（堀江）：ピアノ（君が代 他2曲） 指導（大村）：楽器と身体で表現。メロディーの楽しさを養う。	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第10回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ぞうさん／両手） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（茶つみ、うみ） 指導（大村）：創造的な表現を養う。	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第11回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ぞうさん／仕上げ） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（ふじ山、お正月） 指導（大村）：音にあわせた言葉あそび	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第12回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（おもいでのアльバム／片手） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（もみじ、おはながわらった） 指導（大村）：ミュージカルの創作	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第13回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（おもいでのアльバム／両手） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（タやけ小やけ、小鳥の歌） 指導（大村）：ミュージカルの表現	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第14回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（おもいでのアльバム／仕上げ） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（とんび、ぞうさん） 指導（大村）：成果発表（Aグループ）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分

第15回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱 成果発表 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（冬げしき、ちゅうりっぷ） 指導（大村）：成果発表（Bグループ）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平素の授業に取り組む姿勢（50％）及び技能の習得度（50％）により総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	有本真紀ほか編『新版 小学校音楽科教育法』（教育芸術社）、井口太代表著	使用資料 <参考図書>	参考資料（楽譜等）を適宜配布
授業外学修等	各回の課題を練習して授業に臨んでください。筆記用具を持参してください。		
授業外質問方法	堀江 horie@tuins.ac.jp 佐々木・大村 授業終了後		
オフィス・アワー	火曜3限		

授業科目名	音楽（B）			科目コード	K1201L39
英文名	Music I				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	教授 非常勤講師 非常勤講師		担当教員名	堀江 英一 佐々木 ゆき子 大村 禎子	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	火曜日		時限	2限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	1 コマの半分はピアノ演奏の未経験者と既経験者の2 グループに分かれて演習を行い、ピアノと歌唱を通して、保育・教育に必要な音楽の基礎技能を養うとともに、音楽の表現力を高める。 1 コマの半分はリトミックを中心とした多様な音楽表現活動を学習する。 （堀江英一：中学校、高等学校での実務経験あり）				
キーワード	ピアノ	リトミック	歌唱		
到達目標	実技演習を中心とし、保育・教育に必要な音楽の基礎技能を養うとともに、自己の表現力を高める。(50%)				
	授業では、子どもの歌及びピアノの基礎練習曲または自由曲を課題として、ピアノ奏法や歌唱法について学習するが、リトミック及び音楽あそびを通して、小学校、幼稚園、保育所の音楽表現活動に必要な知識と技能を習得する。(50%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○					
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
	○			○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
			○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	指導（堀江）：オリエンテーション 指導（佐々木）：オリエンテーション 指導（大村）：オリエンテーション		
	【予習】シラバスを確認しておく。		10分
	【復習】シラバスに基づき、一週間の見通しをもった練習計画を立てる。		20分
第2回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ぶん ぶん ぶん） 指導（堀江）：ピアノ（かたつむり 他3曲） 指導（大村）：基礎リズムの取得。リズムとフレーズに慣れる。 フィードバック 以下、模範演奏と学生の演奏に対する助言を行います。		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分
第3回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ちょうちょう） 指導（堀江）：ピアノ（かくれんぼ 他3曲） 指導（大村）：歌唱を通し、リズムとフレーズを知る。		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分
第4回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（メリーさんの羊） 指導（堀江）：ピアノ（タヤケ小やけ 他3曲） 指導（大村）：ボールや楽器を使い、リズムに慣れる。		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分
第5回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（きらきらぼし） 指導（堀江）：ピアノ（春の小川 他3曲） 指導（大村）：リズムあそび		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分
第6回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ちゅうりっぷ／片手） 指導（堀江）：ピアノ（さくら さくら 他3曲） 指導（大村）：リズムとフレーズを表現する。		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分
第7回	指導（武藤）：ピアノと歌唱（ちゅうりっぷ／両手） 指導（堀江）：ピアノ（もみじ 他3曲） 指導（大村）：複リズムの分担奏		
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。		420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。		30分

第8回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ちゅうりっぷ／仕上げ） 指導（堀江）：ピアノ（冬げしき 他3曲） 指導（大村）：和声の楽しさを養い、身体で表現する。	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第9回	指導（武藤）：ピアノと歌唱（ぞうさん／片手） 指導（堀江）：ピアノ（君が代 他2曲） 指導（大村）：楽器と身体で表現。メロディーの楽しさを養う。	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第10回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ぞうさん／両手） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（茶つみ、うみ） 指導（大村）：創造的な表現を養う。	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第11回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（ぞうさん／仕上げ） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（ふじ山、お正月） 指導（大村）：音にあわせた言葉あそび	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第12回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（おもいでのアльバム／片手） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（もみじ、おはながわらった） 指導（大村）：ミュージカルの創作	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第13回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（おもいでのアльバム／両手） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（タやけ小やけ、小鳥の歌） 指導（大村）：ミュージカルの表現	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第14回	指導（佐々木）：ピアノと歌唱（おもいでのアльバム／仕上げ） 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（とんび、ぞうさん） 指導（大村）：成果発表（Aグループ）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分

第15回	指導（武藤）：ピアノと歌唱 成果発表 指導（堀江）：ピアノ弾き歌い（冬げしき、ちゅうりっぷ） 指導（大村）：成果発表（Bグループ）	
	【予習】ピアノ：正しい指使いを決める。片手ずつゆっくりとしたテンポで練習する。両手でゆっくりとしたテンポで練習する。	420分
	【復習】リトミック：学習した内容ができるように練習する。	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	平素の授業に取り組む姿勢（50％）及び技能の習得度（50％）により総合的に評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	有本真紀ほか編『新版 小学校音楽科教育法』（教育芸術社）、井口太代表著	使用資料 <参考図書>	参考資料（楽譜等）を適宜配布
授業外学修等	各回の課題を練習して授業に臨んでください。筆記用具を持参してください。		
授業外質問方法	堀江 horie@tuins.ac.jp 佐々木・大村 授業終了後		
オフィス・アワー	火曜3限		

授業科目名	図画工作(A)			科目コード	K1201P41
英文名	Arts and Crafts				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦		
学部	子ども育成学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	4時限		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	幼児・児童の造形教育に関する基礎的な造形能力や指導力の育成を目指す。 内容は主として造形表現・図画工作科の特性を理解するとともに、具体的な作品制作に基づきながら造形特性を考察する。 。また作品鑑賞の能力も身につける。（指導教員：小学校、中学校での実務経験あり）				
キーワード	豊かな感性	創造力	教材研究		
到達目標	幼児・児童の造形表現指導の目標と内容を理解することができる。（50％）				
	教育研究を通して幼児・児童の造形表現の特性をふまえた、多様な造形表現、鑑賞を行うことができる。（50％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
			○	○	

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション 図画工作で目指すものについて 図画工作の内容(1)様々な材料による表現 1		
	【予習】材料、道具の準備		30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。		30分
第2回	造形・図画工作の内容(2) 主体的な制作活動するために考察すること 様々な材料による表現 2		
	【予習】材料、道具の準備		30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。		30分
第3回	造形・図画工作の内容(3) 表現(絵) 様々な描画財材による作品制作(クレヨン、マーカー、色鉛筆等による表現)		
	【予習】材料、道具の準備		30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。		30分
第4回	造形・図画工作の内容(4) 表現(絵) 様々な描画材による作品制作(水彩絵の具の使い方、表現方法)		
	【予習】材料、道具の準備		30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。		30分
第5回	造形・図画工作の内容(5) 表現(工作) 切り絵をベースにした表現およびコラージュ		
	【予習】材料、道具の準備		30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。		30分
第6回	造形・図画工作の内容(6) 表現(工作) 粘土での制作 1 (成形)		
	【予習】材料、道具の準備		30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。		30分
第7回	造形・図画工作の内容(7) 表現(絵) 版画による作品制作 紙版画 1 (下書きと版作り)		
	【予習】材料、道具の準備		30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。		30分
第8回	造形・図画工作の内容(8) 表現(絵) 版画による作品制作 紙版画 2 (刷り)		
	【予習】材料、道具の準備		30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。		30分
第9回	造形・図画工作の内容(9) 表現(工作) 身近にある材料を使って表現する 1 (協働制作、グループで企画)		
	【予習】材料、道具の準備		30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。		30分

第10回	造形・図画工作の内容（１０） 表現（工作） 身近にある材料を使って表現する２(協働制作、グループで制作、展示)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第11回	造形・図画工作の内容（１１）表現（工作） 粘土での制作２(色付け)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】	30分
第12回	造形・図画工作の内容（１２）表現（絵） クロッキー、デッサン、スケッチ	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第13回	造形・図画工作の内容（１３）表現（絵） アクションペインティング	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第14回	造形・図画工作の内容（１４）鑑賞 作品鑑賞の仕方	
	【予習】材料、教材、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第15回	造形・図画工作の内容（１５）鑑賞 美術館での作品鑑賞	
	【予習】材料、教材、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第16回	定期試験は行わない。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ～ について、取り組み・活動・制作の様子（70％）、提出課題（30％）で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	特になし	使用資料 ＜参考図書＞	文部科学省「小学校学習指導要領解説図画工作科編」
授業外学修等	材料、用具の準備をしておいてください。 安全や汚れに対する配慮が必要な題材の場合は、服装や準備に留意してください。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問をする。		
オフィス・アワー	水曜日2限（E-306佐部利研究室）		

授業科目名	図画工作(B)			科目コード	K1201P41
英文名	Arts and Crafts				
科目区分	子ども育成の内容・方法				
職名	講師	担当教員名	佐部利 典彦		
学部	子ども育成学部	学科	現代社会学科		
曜日	木曜日	時限	5時限		
開講時期	1年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	幼児・児童の造形教育に関する基礎的な造形能力や指導力の育成を目指す。 内容は主として造形表現・図画工作科の特性を理解するとともに、具体的な作品制作に基づきながら造形特性を考察する。 また作品鑑賞の能力も身につける。（担当教員：小学校、中学校での実務経験あり）				
キーワード	豊かな感性	創造力	教材研究		
到達目標	幼児・児童の造形表現指導の目標と内容を理解することができる。（50％）				
	教育研究を通して幼児・児童の造形表現の特性をふまえた、多様な造形表現、鑑賞を行うことができる。（50％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
			○	○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション 図画工作で目指すものについて 図画工作の内容(1)様々な材料による表現 1	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第2回	造形・図画工作の内容(2) 主体的な制作活動にするために考察すること 様々な材料による表現 2	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第3回	造形・図画工作の内容(3) 表現(絵) 様々な描画材材による作品制作(クレヨン、マーカー、色鉛筆等による表現)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第4回	造形・図画工作の内容(4) 表現(絵) 様々な描画材による作品制作(水彩絵の具の使い方、表現方法)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第5回	造形・図画工作の内容(5) 表現(工作) 切り絵をベースにした表現およびコラージュ	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第6回	造形・図画工作の内容(6) 表現(工作) 粘土での制作 1(成形)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第7回	造形・図画工作の内容(7) 表現(絵) 版画による作品制作 紙版画 1(下書きと版作り)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第8回		
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分
第9回	造形・図画工作の内容(9) 表現(工作) 身近にある材料を使って表現する 1(協働制作、グループで企画)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探索する。	30分

第10回	造形・図画工作の内容（１０） 表現（工作） 身近にある材料を使って表現する２(協働制作、グループで制作、展示)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第11回	造形・図画工作の内容（１１）表現（工作） 粘土での制作２(色付け)	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第12回	造形・図画工作の内容（１２）表現（絵） クロッキー、デッサン、スケッチ	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第13回	造形・図画工作の内容（１３）表現（絵） アクションペインティング	
	【予習】材料、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第14回	造形・図画工作の内容（１４）鑑賞 作品鑑賞の仕方	
	【予習】材料、教材、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第15回	造形・図画工作の内容（１５）鑑賞 美術館での作品鑑賞	
	【予習】材料、教材、道具の準備	30分
	【復習】日常生活を批判的思考力で観察し、アートの思考をいかせる場面を探究する。	30分
第16回	定期試験は行わない。	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ～ について、取り組み・活動・制作の様子（70％）、提出課題（30％）で評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	文部科学省「小学校学習指導要領解説図画工作科編」
授業外学修等	材料、用具の準備をしておいてください。 安全や汚れに対する配慮が必要な題材の場合は、服装や準備に留意してください。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メールで質問をする。		
オフィス・アワー	水曜日2限（E-306佐部利研究室）		

授業科目名	幼稚園教育実習指導			科目コード	K1301F09
英文名	Guidance on Kindergarten Practice Teaching I				
科目区分	子ども育成の実習				
職名	講師 准教授	担当教員名	佐部利 典彦 大平 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	現代社会学科		
曜日	月曜日 水曜日	時限	5時限		
開講時期	1年通年	授業の方法	実習		
必修・選択	選択	単位数	1単位		
授業の概要	幼稚園教育実習 の事前事後指導として行う。事前指導においては、幼稚園教育実習の意義や目標、実習の段階や方法、実習の心得について学習する。事後指導においては、実習事後報告を行い、今後の学習に役立てる。				
キーワード	幼稚園	幼児	幼稚園教諭	教育実習	観察
到達目標	幼稚園の目的や機能及び社会的役割について、理解することができる。（30％）				
	幼児の発達の理解を深めるとともに、必要な幼児教育の基本的内容について、理解することができる。（35％）				
	幼稚園教諭の基本的な職務内容や役割について、基本的な援助や指導の在り方を理解することができる。（35％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
	○				
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
○		○	○		

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	幼稚園教育実習 の概要		
	【予習】参考図書等の文献で、実習の概要について把握しておく		30分
	【復習】概要をまとめる		30分
第2回	幼稚園実習の実際		
	【予習】参考図書等の文献で、幼稚園について把握する		30分
	【復習】内容をまとめる		30分
第3回	幼稚園の一般理解		
	【予習】参考図書等の文献で、幼稚園について把握する		30分
	【復習】内容をまとめる		30分
第4回	実習園について		
	【予習】参考図書等の文献で、幼稚園での教育について把握する		30分
	【復習】内容をまとめる		30分
第5回	実習の心得について		
	【予習】参考図書等の文献で、観察実習について把握する		30分
	【復習】内容をまとめる		30分
第6回	観察のポイント		
	【予習】参考図書等の文献で、子どもの活動の観察について把握する		30分
	【復習】内容をまとめる		30分
第7回	事前訪問について 出勤簿や実習ファイル等の取り扱いについて		
	【予習】必要書類等の準備		30分
	【復習】内容をまとめる		30分
第8回	実習の重点について		
	【予習】参考図書等の文献で、実習日誌について把握する		30分
	【復習】内容をまとめる		30分
第9回	実習日誌の書き方 1		
	【予習】参考図書等の文献で、実習日誌について把握する		30分
	【復習】内容をまとめる		30分

第10回	実習日誌の書き方 2	
	【予習】参考図書等の文献で、実習日誌について把握する	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第11回	保険等、事後手続き、礼状の書き方について	
	【予習】必要書類等の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第12回	実習の振り返り	
	【予習】実習記録の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第13回	実習報告の作成	
	【予習】実習記録の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第14回	実習報告の作成	
	【予習】実習記録の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第15回	実習のまとめ	
	【予習】実習記録の準備	30分
	【復習】内容をまとめる	30分
第16回	定期試験は行わない。	
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	

第19回		
	【予習】	
	【復習】	
第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	

第28回		
	【予習】	
	【復習】	
第29回		
	【予習】	
	【復習】	
第30回		
	【予習】	
	【復習】	
第31回		
	【予習】	
	【復習】	
第32回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ～ について、平常点（受講態度等）50%、レポート（実習事後レポート）50%で総合的に評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 <テキスト>	「幼稚園教育要領解説 平成30年3月」（文部科学省）	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	上記時間外においても、実習内容等に関して予習、復習、準備等に積極的に取り組むこと。子ども育成学部履修規程にある教職課程の項をよく読んでおくこと。		
授業外質問方法	授業終了後に教室で、および随時研究室で受け付ける。		
オフィス・アワー	水曜2限（佐部利：E-306佐部利研究室、大平：E-305大平研究室）		

授業科目名	幼稚園教育実習			科目コード	K1301L11
英文名	Kindergarten Practice Teaching I				
科目区分	子ども育成の実習				
職名	講師 准教授		担当教員名	佐部利 典彦 大平 泰子	
学部	子ども育成学部		学科	現代社会学科	
曜日	集中		時限	集中	
開講時期	1年後期		授業の方法	実習	
必修・選択	選択		単位数	1単位	
授業の概要	実際の教育現場において、大学で学んだ理論や知識を生かすとともに、教育の現場に触れながら教育の実践的な知識、技能等の基礎を修得する。				
キーワード	幼稚園	幼児	幼稚園教諭	教育実習	観察
到達目標					
	子どもの活動の様子、保育者の援助の様子を観察、理解する。（観察実習）				
	子どもと活動したり、援助を積極的に行うことができる。（参加実習）				
	実習の記録を確実につけることができる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	観察、参加実習 授業計画は、5日間の実習プログラムの計画案であり、それぞれの内容は実習圏により、適宜示される。	
	【予習】	
	【復習】	
第2回	観察、参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	観察、参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	観察、参加実習	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	観察、参加自習	
	【予習】	
	【復習】	
第6回		
	【予習】	
	【復習】	
第7回		
	【予習】	
	【復習】	
第8回		
	【予習】	
	【復習】	
第9回		
	【予習】	
	【復習】	

第10回		
	【予習】	
	【復習】	
第11回		
	【予習】	
	【復習】	
第12回		
	【予習】	
	【復習】	
第13回		
	【予習】	
	【復習】	
第14回		
	【予習】	
	【復習】	
第15回		
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目は実習評価（100％）に基づき総合的に評価する。なお、評価の基準は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。人間性30％ 社会性30％ 専門性40％		
使用資料 <テキスト>	特になし	使用資料 <参考図書>	特になし
授業外学修等	実習科目のため非該当		
授業外質問方法	実習中、必要に応じて、科目担当教員または訪問指導担当教員に連絡すること。		
オフィス・アワー	実習科目のため非該当		

授業科目名	発達心理学			科目コード	K1401L01
英文名	Developmental Psychology				
科目区分	子どもの発達と環境				
職名	准教授	担当教員名	大平 泰子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	木曜日	時限	5限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	必修	単位数	2単位		
授業の概要	生涯発達心理学の観点から、乳幼児・児童を中心に精神発達の様相を発達段階にそって解説する。発達上の困難を抱える子どもについても解説する。				
キーワード	発達	認知	ことば		
到達目標	発達心理学の基本的知見を習得し、乳児から青年期に至る子どもの発達の姿についてのイメージをつかむことができる。(100%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	発達を考える		
	【予習】シラバスを読み、概要を理解する。		90分
	【復習】発達心理学について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第2回	発達段階（１）発達段階とは何か		
	【予習】発達段階について、事前に調べる。		90分
	【復習】発達段階について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第3回	発達段階（２）Piagetの認知発達理論		
	【予習】Piagetの認知発達理論について、事前に調べる。		90分
	【復習】Piagetの認知発達理論について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第4回	胎児期・新生児期		
	【予習】胎児期・新生児期の発達について、事前に調べる。		90分
	【復習】胎児期・新生児期の発達について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第5回	乳児期		
	【予習】乳児期の発達について、事前に調べる。		90分
	【復習】乳児期の発達について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第6回	幼児期前期（１）言葉		
	【予習】幼児期前期の言葉の発達について、事前に調べる。		90分
	【復習】幼児期前期の言葉の発達について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第7回	幼児期前期（２）あそび		
	【予習】幼児期前期のあそびについて、事前に調べる。		90分
	【復習】幼児期前期のあそびについて、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第8回	幼児期後期（１）認知発達		
	【予習】幼児期後期の認知発達について、事前に調べる。		90分
	【復習】幼児期後期の認知発達について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分
第9回	幼児期後期（２）あそび		
	【予習】幼児期後期のあそびについて、事前に調べる。		90分
	【復習】幼児期後期のあそびについて、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。		90分

第10回	児童期（１）書きことば	
	【予習】児童期の言葉の発達について、事前に調べる。	90分
	【復習】児童期の言葉の発達について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第11回	児童期（２）友人関係	
	【予習】児童期の友人関係について、事前に調べる。	90分
	【復習】児童期の友人関係について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第12回	青年期	
	【予習】青年期の発達について、事前に調べる。	90分
	【復習】青年期の発達について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第13回	成人期と高齢期	
	【予習】成人期と高齢期の発達について、事前に調べる。	90分
	【復習】成人期と高齢期の発達について、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第14回	発達上の困難を抱える子どもの理解	
	【予習】発達上の困難を抱える子どもについて、事前に調べる。	90分
	【復習】発達上の困難を抱える子どもについて、配付資料等を読んで振り返るとともに、用語や理論を調べて知識の整理をする。	90分
第15回	授業の振り返りとまとめ	
	【予習】これまでの学習内容を振り返る。	90分
	【復習】理解が不十分な点について、知識の整理をする。	90分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目 1 について、期末レポートで評価する。(100%) なお、「富山国際大学成績評価基準」にしたがって評価する。 専門性：100%		
使用資料 <テキスト>	青木紀久代編「実践・発達心理学」（みらい）	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	授業の内容を復習しておくこと。		
授業外質問方法	授業終了後に教室で、および随時研究室で受け付ける。		
オフィス・アワー	水曜 2 限		

授業科目名	子どもの保健			科目コード	K1401L04
英文名	Child Health				
科目区分	子どもの発達と環境				
職名	非常勤講師		担当教員名	松居 紀久子	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	金曜日		時限	2限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	子どもの心身の健康増進を図る保健活動について理解すると共に、子どもの身体発育や生理機能、運動機能、精神機能の発達と保健、疾病の予防と対応、保健活動の計画及び評価についての現状を統計や最新の知見から学びます。病院・在宅での看護師実務経験あります。				
キーワード	保健活動	発育・発達	児童虐待	健康状態の観察	子どもの病気
到達目標	子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解できる。（25％）				
	子どもの身体発達や生理機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解できる。（25％）				
	子どもの疾病と予防法及び適切な対応、保健活動の計画及び評価について理解できる。（25％）				
	保育士として必要知識・対応について考察できる。（25％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	2.教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	2.子ども育成の理論と実践・子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	子どもの健康と保健の意義（生命の保持と情緒の安定に係る保健活動の意義と目的）	
	【予習】テキストP7まで読む	30分
	【復習】 資料ファイル作成 テキストP9～13読む 振り返り問題をする	60分
第2回	子どもの出生と母子保健の意義	
	【予習】テキストP14～18まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする	120分
第3回	現代社会における子どもの健康に関する現状と課題	
	【予習】テキストP20～26まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする	120分
第4回	子どもの身体発育と運動機能の発達 1～3	
	【予習】テキストP28～31まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする	120分
第5回	子どもの身体発育と運動機能の発達 4～6 、 生理機能の発達と生活習慣1～5	
	【予習】テキストP31～45まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする	120分
第6回	生理機能の発達と生活習慣6～7	
	【予習】テキストP45～48まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする 1～6回のまとめ（次回授業の前半に試験実施）	165分
第7回	前半の試験 子どもの発育・発達と健康と保健	
	【予習】テキスト振り返り問題をする 1～6回のまとめ	60分
	【復習】自己課題の振り返り	120分
第8回	子どもの健康状態の観察と体調不良時の把握	
	【予習】テキストP60～63まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする	120分
第9回	子どもの免疫の発達と感染症の特徴	
	【予習】テキストP65～73まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする	120分

第10回	感染症の予防及び適切な対応	
	【予習】テキストP74～79まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする 課題作成（感染症のまとめ）	150分
第11回	新生児の病気、新生児期にわかる先天性の病気、子どもの慢性疾患の特徴と対応	
	【予習】テキストP91～97まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする	90分
第12回	アレルギー疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキストP98～104まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする	120分
第13回	救急疾患の特徴と適切な対応	
	【予習】テキストP81～89まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする	120分
第14回	保護者との情報共有と家族の支援	
	【予習】テキストP119～127まで読む	60分
	【復習】テキスト振り返り問題をする	120分
第15回	子どもの健康診断と関連機関との連携	
	【予習】テキストP129～137まで読む	60分
	【復習】8回からの振り返り問題を復習する	165分
第16回	期末試験	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 から は、前半試験30%期末試験50%、 は、毎回のログの記入、課題提出等）20%で総合的に評価する。なお、評価する基準は「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：15 % 社会性：15 % 専門性：70 %		
使用資料 <テキスト>	「授業で現場で役に立つ！子どもの保健テキスト」2019初版第2刷 診断と治療社	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等	日頃から、子どもの健康や心身について、ニュースや新聞等で興味・関心を持つようにしてください。地域の広報紙（子ども関係）を確認してください。		
授業外質問方法	質問、疑問、意見などは毎回配布する受講カードに記入してください。あるいは、富山短期大学幼児教育学科E館705研究室に来てください。（不在時は、ホワイトボードにメモを書いてください）		
オフィス・アワー	金曜日16時30分～17時15分		

授業科目名	医学一般			科目コード	K1401L08
英文名	Introduction to Medical Science				
科目区分	子どもの発達と環境				
職名	非常勤講師	担当教員名	松居 紀久子		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	火曜日	時限	2限目		
開講時期	1年後期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	社会福祉士として、必要な医学知識を身につける。なかでも、臨床医学のうち代表的な疾患の原因、症状、治療の概要を中心に講義を行う。				
キーワード	ライフステージ	健康	疾病と障害	リハビリテーション	公衆衛生
到達目標	人のライフステージにおける心身の変化と健康課題について理解する。				
	健康・疾病の捉え方について理解する。				
	人の身体構造と心身機能について理解する。				
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程について理解する。				
	公衆衛生の観点から、人々の健康に影響を及ぼす要因や健康課題を解決するための対策を理解する。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
				○	○
ディプロマポリシー	地域に生きる専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	子どもの発達と相談支援				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	オリエンテーション ライフステージにおける心身の変化と健康課題 ライフステージにおける心身の変化と健康課題、心身の加齢・老化	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。 また、日頃から、疾病について興味を持ち、学ぶ機会も設ける。	600分
	【復習】自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第2回	ライフステージにおける心身の変化と健康課題 ライフステージ別の健康課題：乳幼児期、学童期、思春期、青年期、壮年期、前期高齢期、後期高齢期	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第3回	健康及び疾病の捉え方 健康の概念（WHO 憲章） 疾病の概念（疾患、疾病、病気の違い）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第4回	身体構造と心身機能 人体部位の名称	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第5回	身体構造と心身機能 基幹系と臓器の役割	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第6回	疾病と障害の成り立ち及び回復過程 疾病の発生原因（外的要因、内的要因）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第7回	疾病と障害の成り立ち及び回復過程 病変の成立機序（炎症、変性、虚血、発癌、免疫反応）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第8回	疾病と障害の成り立ち及び回復過程 病変の成立機序（炎症、変性、虚血、発癌、免疫反応）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何を書いてあるかを理解しておくこと。	60分

第9回	疾病と障害の成り立ち及び回復過程 障害の概要 （ 視覚障害、聴覚障害、平衡機能障害、肢体不自由、内部障害、知的障害、精神障害（DSM 含む）発達障害、認知症、高次脳機能障害 ）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第10回	疾病と障害の成り立ち及び回復過程 リハビリテーションの概要と範囲 （リハビリテーションの定義、目的、対象、方法）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。	60分
第11回	疾病と障害の成り立ち及び回復過程 疾病と障害及びその予防・治療・予後・リハビリテーション （ 悪性腫瘍、生活習慣病、脳血管疾患、心疾患 ）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第12回	疾病と障害の成り立ち及び回復過程 疾病と障害及びその予防・治療・予後・リハビリテーション （ 感染症、神経疾患、先天性疾患、肺疾患、腎・泌尿器疾患、消化器疾患 ）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	180分
第13回	疾病と障害の成り立ち及び回復過程 疾病と障害及びその予防・治療・予後・リハビリテーション （ 骨・関節の疾患、血液疾患、目・耳の疾患、精神疾患、高齢者に多い疾患 ）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第14回	公衆衛生 公衆衛生の概要 （ 公衆衛生の考え方、健康の社会的決定要因（SDH） ）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	240分
第15回	公衆衛生 健康増進と保健医療対策 （ 母子保健対策、成人保健対策（生活習慣病予防対策及びがん対策）、高齢者保健対策、精神保健対策、感染症対策 ）	
	【予習】テキストを読み、授業内容の概要を把握する。	30分
	【復習】自分のノートを読んで、何が書いてあるかを理解しておくこと。 試験勉強	360分
第16回	期末試験 これまでの総まとめ	
	【予習】試験勉強	
	【復習】	

評価方法	期末試験（80％）、小テスト・その他課題等（20％）で評価します。		
使用資料 ＜テキスト＞	石川鎮清・萱場一則・吉川隆博「医学概論」(中央法規)	使用資料 ＜参考図書＞	佐藤昭夫、佐伯由香著（医歯薬出版）
授業外学修等	・人体を構成している各組織・器官の構造（解剖学）と機能（生理学）の基礎知識がないと、臨床医学は理解できません。 ・社会福祉主事任用資格には、必要とされる科目です。		
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問してください。		
オフィス・アワー			

授業科目名	子ども文化			科目コード	K1401L10
英文名	Children's Culture				
科目区分	子どもの発達と環境				
職名	准教授 非常勤講師		担当教員名	石倉 卓子 門脇 真理子	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	火曜日		時限	4限目	
開講時期	1年後期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	「遊び・手作り・表現」をテーマに様々な児童文化財に触れ、体験を通して子ども文化のおもしろさと子どもの成長に果たす役割の大切さを知る。				
キーワード	遊び	体験	児童文化財	子ども文化	児童文化
到達目標	様々な児童文化財があることを理解し、実際に製作したり活用したりすることができる(70%)。				
	子どもにとっての児童文化財の役割を理解し、豊かな生活を共に創造する保育者・教育者について考えることができる(20%)。				
	児童文化、子ども文化について理論的に説明することができる(10%)。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
	○				
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の理論と実践				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○		○		
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
				○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	(第1～4回・14回は、幼稚園教諭・特別支援学校教諭の実務経験のある教員による授業) 児童文化と子ども文化　〔石倉〕	
	【予習】文化とは何かを調べておく。	90分
	【復習】授業内容をまとめる。	90分
第2回	子どもの遊びの変化　～江戸時代から現代　〔石倉〕 児童館の役割 木製ゴマ紹介・配布	
	【予習】幼児・児童期の頃していた遊びを思い出しておく。 児童館の役割とは何かを調べておく。	90分
	【復習】授業内容をまとめる。 投げゴマの練習をし、第14回目の授業までに回せるようにしてくる。	90分
第3回	児童館の役割と実際～富山県こどもみらい館を中心に 第3回と第4回の授業が入れ替わる場合があります。	
	【予習】富山県こどもみらい館のことについて調べておく。	90分
	【復習】自分の地域の児童館で行われている内容について調べておく。	90分
第4回	絵本館出前講座～射水市大島絵本館より 第3回と第4回の授業が入れ替わる場合があります。	
	【予習】射水市大島絵本館について調べておく。	
	【復習】児童文化財を保育・教育に活かす方法を具体的に考え、Googleフォームに入力・送信する。 送られてきた内容を見て、全体的なコメントをメール送信する。	
第5回	スライム、マジックスクリーン作り	
	【予習】持ってくるもの ・ハサミ、クーピーやカラーペンなど	90分
	【復習】マジックスクリーンを家族などに言葉を添えてプレゼントする	90分
第6回	表現遊び ・身体を使って表現する ・身近なものを使って表現する	
	【予習】表現には、どんなものがあるか考えてみる	90分
	【復習】友人と考えた身体表現をクイズにしてみよう	90分
第7回	簡単な人形を作って演じてみよう ・いもむしとちょうちょを作ろう ・作った人形を使って、オリジナルストーリーを作って演じてみよう	
	【予習】人形と文化について調べる	90分
	【復習】オリジナルストーリーを演じた感想や、観劇後の感想	90分

第8回	簡単な人形を作って演じてみよう ・にわとり ・作った人形を使って、オリジナルストーリーを作って演じてみよう	
	【予習】お話の起承転結について考えてくる	90分
	【復習】オリジナルストーリーを演じた感想や、観劇後の感想	90分
第9回	効果音に使える楽器を作ろう ・レインステック、バードコール、雨うちわを作ろう（グループ活動）	
	【予習】演劇や人形劇には、どのような効果音が使われているか調べる	90分
	【復習】作った楽器をどんなシーンで使うかイメージしてみる	90分
第10回	表現活動 ・チーム分け ・簡単な昔話から演目を決める ・役決め	
	【予習】誰でも知っている簡単なお話（昔話）を、人形劇および演劇で提案できるように考えてくる	90分
	【復習】みんなで決めたお話を、どのように表現するか考える チーム内での自分の役割を果たすためにできることを考える	90分
第11回	表現活動 ・エチュード形式で練習 ・表現したいチームからインプロとしてみんなに観てもらう	
	【予習】エチュード形式で練習できるように、セリフなどを考えてくる	90分
	【復習】自己練習 他のグループを観劇した感想 演じたグループは、演じた感想（工夫した点など）	90分
第12回	表現活動 ・エチュード形式で練習 ・表現したいチームからインプロとしてみんなに観てもらう	
	【予習】自己練習	90分
	【復習】自己練習 他のグループを観劇した感想 演じたグループは、演じた感想（工夫した点など）	90分
第13回	表現活動 ・エチュード形式で練習 ・残ったチームからインプロとしてみんなに観てもらう ・もう一度観たいチームに演じてもらう	
	【予習】自己練習	90分
	【復習】他のグループを観劇した感想 演じたグループは、演じた感想（工夫した点など）	90分
第14回	保育・教育における児童文化と年中行事 【石倉】 投げゴマ披露（木製ゴマを持参すること）	
	【予習】幼児・児童期の頃の年中行事を思い出しておく。	90分
	【復習】授業を振り返り、学びの内容をまとめる。	90分

第15回	人形劇を観よう ・chocolat ショコラの人形劇および演劇鑑賞 ・人形に触れてみよう	
	【予習】観る側の大切なこと、演じる側の大切なことをまとめる	90分
	【復習】観劇後の感想 今後、自分が演じる場合や、表現を教える場合に役にたったことを考える	90分
第16回	定期試験は行わない	
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標 ～ について、2名の教員で総合的に評価する。到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。DP（人間性：30%、社会性：30%、専門性40%） 【石倉】30点 毎回の授業の感想（10%）、児童館に関するGoogleフォームへのレポート（10%）、投げゴマ技術（10%） 【門脇】70点 表現活動等(10回×7点)		
使用資料 <テキスト>	適宜配布する。	使用資料 <参考図書>	適宜配布する。Websyllabusも確認してください。
授業外学修等	【門脇】製作をする授業では、必要な道具や材料の準備を忘れないこと。		
授業外質問方法	【石倉】出席票やメール（ishikura@tuins.ac.jp）、オフィスアワー（水曜日5限）を利用して質問して下さい。 【門脇】授業後や毎回の感想用紙で質問してください。		
オフィス・アワー	【石倉】水曜日5限 （E-403石倉研究室）		

授業科目名	自然体験活動			科目コード	K1701F01
英文名	Experiential Learning Activities in Nature				
科目区分	富山の子ども育成				
職名	教授	担当教員名	松山 友之		
学部	子ども育成学部	学科	子ども育成学科		
曜日	水曜日 水曜日	時限	4限目 5限目 3限目 4限目		
開講時期	1年通年	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	自然体験活動の総論に続いて、キャンパス近辺の自然体験活動関連施設で体験を積み、呉羽キャンパス周辺で自然観察を行う。また、身近な素材である呉羽山の竹を利用したおもちゃ作りにも挑戦する。				
キーワード	自然体験	地域の自然	地域の教育資源		
到達目標	それぞれ体験活動や施設における活動では、その特色を生かし安全に活動に取り組むことができる。(40%)				
	各活動について自然から学んだことをまとめ、分かりやすく表現することができる。(30%)				
	身近な自然素材を利用して遊ぶことができる。(30%)				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
	○		○		
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	富山の子ども育成				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○	○	○	
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○	○		○	○	○

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	オリエンテーション、身近な植物や動物の話題、自然体験活動の面白さ		
	【予習】		
	【復習】・自然体験活動について、興味や関心をもったことなど小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。 自然体験活動 第1回 オリエンテーション		30分
第2回	キャンパス周辺での春の野草観察（予備日設ける） 春の野草の紹介 P D F 野外観察 P D F		
	【予習】・春の代表的な野草についてまとめる。		30分
	【復習】・キャンパス周辺の春の野草観察で見つけた野草について実際に調べて感じたことや子どもに指導する視点から大切することをレポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。 春の野草観察レポート 書式 ダウンロードして使ってください。 画像を入れると大きくなるので、提出フォルダをこの後に作ります。 自然体験活動レポート提出フォルダ 他の人のものをダウンロード等しないでください。復元できなくなります。アクセスの記録が残りますので注意してください。		60分
第3回	野草観察のまとめと野外における自然体験活動の安全管理 春の代表的な星座や星座観察について 春から夏の星空観察（資料） スマホのおすすめアプリ 「星ナビ」 無料で分かりやすい。 星座早見盤の作り方 皆既月食【動画】 月食とは【動画】		
	【予習】・子どものころ野外で自然の中で遊んだときのことを思い出し、安全のために気を付けることをまとめる。 Youtube国立天文台 スバル望遠鏡からの星空ライブカメラ		30分
	【復習】・野外の自然体験活動の安全管理について子どもに指導する視点から大切することをレポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。 星空観察レポート【書式】 【2021k000 〇〇〇〇】に学籍番号と氏名を入れてください。 自然体験活動レポート提出フォルダ 大きなデータになると思うので、このURLにアップロードしてください。		60分
第4回	指定期間中の1日の18:30-20:00にE館屋上で「月と春の星座観察」（望遠鏡の使い方） （授業休業日は除く。天候次第で期間延長もありうる。）		
	【予習】・月の満ち欠けや春の代表的な星座について調べる。		30分
	【復習】・月や春の星座を肉眼や望遠鏡で見て、感じたことや子どもに指導する視点から大切することをレポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。		60分

第5回	もの作り体験活動 身近な素材を使って、面白いおもちゃを作る。（ストローや紙コップを使ったおもちゃ、各自が考えたおもちゃ） 7月21日4限 703・704です。楽しくモノ作りに挑戦しましょう！ お道具箱、工作セット持参ください。 モノ作りレポート 書式 提出先 自然体験活動レポート提出フォルダ	
	【予習】・身近な素材を使って、音の出るおもちゃを考える。（各自必要な材料を用意する。）	30分
	【復習】・製作した身近な素材を生かしたおもちゃについて、実際に体験して感じたことや子どもに指導する視点から大切することをレポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	60分
第6回	「富山市ファミリーパーク」において自然体験活動を行う（2コマ連続） 富山市ファミリーパークレポート書式 ダウンロードして使ってください。 学籍番号、名前を修正して記入してください。 提出先 自然体験活動レポート提出フォルダ	
	【予習】・富山市ファミリーパークの動物たちについて調べ、質問したいことなどをまとめる。	30分
	【復習】	
第7回	「富山市ファミリーパーク」において自然体験活動を行う（2コマ連続）	
	【予習】	
	【復習】・実際動物にふれて学んだことや自然の中で遊ぶ活動について、実際に体験して感じたことや子どもに指導する視点から大切することをレポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第8回	キャンパス周辺での秋の野草観察（予備日を設ける） 出席確認 この日は4限 呉羽キャンパス周辺の草花（秋）書式 ダウンロードして使ってください。自由に編集してください。	
	【予習】・秋の代表的な野草についてまとめる。	30分
	【復習】・キャンパス周辺の秋の野草観察で見つけた野草について、春と比較して感じたことや子どもに指導する視点から大切することをレポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。 次のフォルダーに提出してください。 自然体験活動（秋）	60分
第9回	「呉羽青少年自然の家」で自然体験活動を行う（2コマ連続）	
	【予習】昔からある子どもが自然の素材を使って遊ぶ手作りおもちゃについてまとめる。	30分
	【復習】	
第10回	「呉羽青少年自然の家」で自然体験活動を行う（2コマ連続）	
	【予習】	
	【復習】実習で製作した自然の素材を生かしたおもちゃについて、実際に体験して感じたことや子どもに指導する視点から大切することをレポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分

第11回	「富山県中央植物園」で自然体験活動を行う（2コマ連続）	
	【予習】子どもを連れて植物を観察するときに大切にしたいことや身近な植物について不思議に思っていることなど質問したいこと	30分
	【復習】	
第12回	「富山県中央植物園」で自然体験活動を行う（2コマ連続）	
	【予習】	
	【復習】植物の観察について学んだことや実習で製作した自然の素材を生かしたオブジェについて、実際に体験して感じたことや子どもに指導する視点から大切なことをレポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	120分
第13回	自然体験活動報告会 小グループに分かれ、レポートをもとに自然体験活動に参加して感じたことやその成果と課題について話し合う。	
	【予習】	
	【復習】グループでの話し合いを通して学んだこと感じたことを小レポートにまとめる。	30分
第14回	「子供が育つ自然体験活動」フォーラムin呉羽に参加し、自然体験活動の在り方や冬季の自然体験活動について学ぶ（2コマ連続）	
	【予習】富山に生きる子どもたちに雪で楽しく遊ぶにはどうしたらよいか調べ、考えをまとめる。	30分
	【復習】	
第15回	「子供が育つ自然体験活動」フォーラムin呉羽に参加し、自然体験活動の在り方や冬季の自然体験活動について学ぶ（2コマ連続）	
	【予習】	
	【復習】「子供が育つ自然体験活動」フォーラムin呉羽に参加して学んだことを小レポートにまとめる。学生の学びが深めるように資料等を紹介する。	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	
第17回		
	【予習】	
	【復習】	
第18回		
	【予習】	
	【復習】	
第19回		
	【予習】	
	【復習】	

第20回		
	【予習】	
	【復習】	
第21回		
	【予習】	
	【復習】	
第22回		
	【予習】	
	【復習】	
第23回		
	【予習】	
	【復習】	
第24回		
	【予習】	
	【復習】	
第25回		
	【予習】	
	【復習】	
第26回		
	【予習】	
	【復習】	
第27回		
	【予習】	
	【復習】	
第28回		
	【予習】	
	【復習】	

第29回			
	【予習】		
	【復習】		
第30回			
	【予習】		
	【復習】		
第31回			
	【予習】		
	【復習】		
第32回			
	【予習】		
	【復習】		

評価方法	各活動のレポート（80％） 15回の取組の状況及び小レポート等(20％）により評価する。 到達目標については、富山国際大学成績評価基準に従って評価する。		
使用資料 ＜テキスト＞	テキストは使用せず、プリント資料を配布する。	使用資料 ＜参考図書＞	必要に応じて紹介する。
授業外学修等	課題について図書館等で調べ学習をする。		
授業外質問方法	オフィス・アワーを利用するか、メールで質問する（matsuyama@tuins.ac.jp）		
オフィス・アワー	金曜 1 限		

授業科目名	富山の福祉特別講義			科目コード	K1707P05
英文名	Special Lecture: Social Welfare in Toyama				
科目区分	富山の子ども育成				
職名	教授 非常勤講師 非常勤講師 非常勤講師		担当教員名	村上 満 西村 和美 森脇 俊二 道淵 吉則	
学部	子ども育成学部		学科	子ども育成学科	
曜日	水曜日		時限	3限目	
開講時期	1年・2年・3年前期		授業の方法	講義	
必修・選択	選択		単位数	2単位	
授業の概要	富山の特色ある地域福祉の第一線で自立と共生に取り組む実践者に学び、子ども・高齢者・障害者をめぐる地域福祉の現状と課題、展望について理解を深める。4人の講師が、それぞれのテーマとねらいに基づいて講義を展開するオムニバス方式の授業である。				
キーワード	富山型デイサービス	地域福祉	障がい者就労	ノーマライゼーショ	共生社会
到達目標	（西村）富山における「富山型デイサービス」の歩み・現状・課題を理解できる。（25％）				
	（森脇）富山の小地域で住民が支えあう「ケアネット活動」の歩み・現状・課題を理解できる。（25％）				
	（道淵）富山の障害児・者の自立と社会参加をめぐる活動の歩み・現状・課題を理解できる。（25％）				
	（村上）富山の福祉の総括と精神障害者の自立・社会参加と地域生活支援の歩み・現状・課題を理解できる。（25％）				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
○					
ディプロマポリシー	教育・保育・福祉の専門職としての資質・能力（専門性の向上）				
カリキュラムポリシー	富山の子ども育成				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
○	○	○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ ワーク	授業外学修指導・ 自主活動
	○				

授業計画

回数	授業内容 詳細		標準時間
第1回	第1回：村上（1回） 全体オリエンテーション：富山の福祉について		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート		30分
第2回	第2回～第5回：西村講師（4回） 実務経験のある教員 富山型デイサービスは、年齢や障害に関係なく、誰もが一緒に、住みなれた地域でケアを受けられる仕組みである。縦割り行政の壁に風穴をあけた富山型デイサービスは、共生ホームとも言われ、全国に広がりを見せている。 乳幼児から高齢者まで、生活を共にする場での育ちや変容を理解し、今後の課題と展望を探る。 (1) オリエンテーション (2) 富山型デイサービスの歩み (3) 富山型デイサービスの実践 (4) 富山型デイサービスの現状と課題		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート		30分
第3回	第3回：西村講師（4回） 富山型デイサービスは、年齢や障害に関係なく、誰もが一緒に、住みなれた地域でケアを受けられる仕組みである。縦割り行政の壁に風穴をあけた富山型デイサービスは、共生ホームとも言われ、全国に広がりを見せている。 乳幼児から高齢者まで、生活を共にする場での育ちや変容を理解し、今後の課題と展望を探る。 (2) 富山型デイサービスの歩み		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート		30分
第4回	第4回：西村講師（4回） 富山型デイサービスは、年齢や障害に関係なく、誰もが一緒に、住みなれた地域でケアを受けられる仕組みである。縦割り行政の壁に風穴をあけた富山型デイサービスは、共生ホームとも言われ、全国に広がりを見せている。 乳幼児から高齢者まで、生活を共にする場での育ちや変容を理解し、今後の課題と展望を探る。 (3) 富山型デイサービスの実践		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート		30分
第5回	第5回：西村講師（4回） 富山型デイサービスは、年齢や障害に関係なく、誰もが一緒に、住みなれた地域でケアを受けられる仕組みである。縦割り行政の壁に風穴をあけた富山型デイサービスは、共生ホームとも言われ、全国に広がりを見せている。 乳幼児から高齢者まで、生活を共にする場での育ちや変容を理解し、今後の課題と展望を探る。 (4) 富山型デイサービスの現状と課題		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート		30分
第6回	第6回～第9回：森脇講師（4回） 富山では全国に先駆けて住民参加による小地域福祉活動が展開され、20年を経た今日では、ふれあい活動に加え、支えあい活動を実践する地域ケアネット事業が展開されている。高齢者・障害者・子育て家庭など、地域で孤立しがちな人々の生活課題の解決と、その人らしい生活をめざす住民の活動とそれを支援する専門職の姿に学ぶ。 (5) 地域の現状 (6) 富山型地域福祉の展開 (7) ケアネット活動の現状 (8) ケアネット活動の実際		
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく		60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート		30分

第7回	第7回：森脇講師（4回） 富山では全国に先駆けて住民参加による小地域福祉活動が展開され、20年を経た今日では、ふれあい活動に加え、支えあい活動を実践する地域ケアネット事業が展開されている。高齢者・障害者・子育て家庭など、地域で孤立しがちな人々の生活課題の解決と、その人らしい生活をめざす住民の活動とそれを支援する専門職の姿に学ぶ。 (6) 富山型地域福祉の展開	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート	30分
第8回	第8回：森脇講師（4回） 富山では全国に先駆けて住民参加による小地域福祉活動が展開され、20年を経た今日では、ふれあい活動に加え、支えあい活動を実践する地域ケアネット事業が展開されている。高齢者・障害者・子育て家庭など、地域で孤立しがちな人々の生活課題の解決と、その人らしい生活をめざす住民の活動とそれを支援する専門職の姿に学ぶ。 (7) ケアネット活動の現状	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート	30分
第9回	第9回：森脇講師（4回） 富山では全国に先駆けて住民参加による小地域福祉活動が展開され、20年を経た今日では、ふれあい活動に加え、支えあい活動を実践する地域ケアネット事業が展開されている。高齢者・障害者・子育て家庭など、地域で孤立しがちな人々の生活課題の解決と、その人らしい生活をめざす住民の活動とそれを支援する専門職の姿に学ぶ。 (8) ケアネット活動の実際	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート	30分
第10回	第10回～第13回：道淵講師（4回） 障がい者が地域の中であたりまえに生活するとはどういうことか。「ラッコハウス」のこれまでの実践活動を通じて富山県における障がい児・者の自立と社会参加の実態と課題を探る。 (9) 糸賀一雄の福祉の思想 (10) びわこ学園の実践 (11) 共同作業所の誕生 (12) (13) ラッコハウスの実践と福祉の未来	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート	30分
第11回	第11回：道淵講師（4回） 障がい者が地域の中であたりまえに生活するとはどういうことか。「ラッコハウス」のこれまでの実践活動を通じて富山県における障がい児・者の自立と社会参加の実態と課題を探る。 (10) びわこ学園の実践	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート	30分
第12回	第12回：道淵講師（4回） 障がい者が地域の中であたりまえに生活するとはどういうことか。「ラッコハウス」のこれまでの実践活動を通じて富山県における障がい児・者の自立と社会参加の実態と課題を探る。 (11) 共同作業所の誕生	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート	30分
第13回	第13回：道淵講師（4回） 障がい者が地域の中であたりまえに生活するとはどういうことか。「ラッコハウス」のこれまでの実践活動を通じて富山県における障がい児・者の自立と社会参加の実態と課題を探る。 (12) (13) ラッコハウスの実践と福祉の未来	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート	30分

第14回	第14回～第15回：村上（2回） 富山県は、官民一体となって、遅れていた社会復帰施設の整備に着手し、精神保健福祉は、めざましい発展を遂げた。そこで、疾病と障害を併せ持つ障害特性や生活支援の実際を学び、精神保健福祉の全体像を理解し、考える機会とする。 (14) 精神障がい者の障害特性 (15) 富山県における地域生活支援活動等（家族会活動、当事者会活動）	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート	30分
第15回	第15回：村上（2回） 富山県は、官民一体となって、遅れていた社会復帰施設の整備に着手し、精神保健福祉は、めざましい発展を遂げた。そこで、疾病と障害を併せ持つ障害特性や生活支援の実際を学び、精神保健福祉の全体像を理解し、考える機会とする。 (15) 富山県における地域生活支援活動等（家族会活動、当事者会活動）	
	【予習】児童・障害者・高齢者・ひとり親・生活保護・地域福祉など、日々の新聞・テレビなどに注目しておく	60分
	【復習】授業内容の振り返りレポート	30分
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	到達目標項目に記載されている4名の各講師の各レポート(80%)で評価する。 講態度・出席カードの記述内容等で評価する。(20%) なお、評価する基準は、「富山国際大学成績評価基準」に従って評価する。 人間性：20% 社会性：30%			受
使用資料 <テキスト>	毎回の授業で、関係資料を配布する。 必要に応じてテキスト等を指定する。	使用資料 <参考図書>	毎回の講義で参考となる書籍等について情報提供する。	
授業外学修等	・卒業要件上の選択必修科目であることに注意すること。 ・日頃から富山の福祉活動（児童・障がい者・高齢者等）関連の出来事やニュースなどに注目しておくこと。			
授業外質問方法	オフィスアワーに研究室を訪問するか、メール(murakami@tuins.ac.jp)で質問してください。こちらから各先生方に連絡します。			
オフィス・アワー	木曜・3限 E709村上研究室			

授業科目名	とやま地域学			科目コード	K1711P11
英文名	Toyama Regional Studies				
科目区分	富山の子ども育成				
職名	教授	担当教員名	助重 雄久		
学部	子ども育成学部	学科	現代社会学科		
曜日	集中	時限	集中		
開講時期	1年・2年・3年・4年前期	授業の方法	講義		
必修・選択	選択	単位数	2単位		
授業の概要	2015年の北陸新幹線開業以来、富山県は多くのメディアに取り上げられ、国内外から注目されています。一方、少子高齢化が一段と進んで地域活力の低下が懸念されており、2018年から県の新総合計画による対策がスタートしました。皆さんにも新時代に対応したライフスタイルの確立が求められています。 今年度の「とやま地域学」は、「富山の魅力と宝物の発見」をテーマとし、皆さんに富山をもっと知り、その魅力を発見してもらうことを目的としています。そのために、「富山は日本のスウェーデン」の著書とは別の視点に立ち、富山の自然・歴史や現状、未来について、さまざまな分野の専門家から学びます。富山の魅力を発見し、活力ある富山の地域づくりについて、皆さんの視点から考えてみましょう。				
キーワード	富山の歴史と文化	富山の自然と災害	富山の産業と生活	地方の未来創生	世界遺産
到達目標	目標１：富山の歴史文化・産業・生活環境などの現状を学び、特色を理解することができる。				
	目標２：富山の自然・農業・災害について学び、持続可能で安全な地域づくりを考えることができる。				
	目標３：政策のプロの講義や現地研修を通し、富山・北陸地域の活性化について考えることができる。				
卒業要件・資格関連等					
卒業要件	幼稚園教諭	保育士	小学校教諭	社会福祉士	スクール ソーシャルワーカー
ディプロマポリシー	「人」としての資質・能力（人間性の向上）				
カリキュラムポリシー	子ども育成の教養				
キー・コンピテンシー（重視する能力）					
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力	
		○			
教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールド・ワーク	授業外学修指導・自主活動
○				○	

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回		
	【予習】	
	【復習】	
第2回	授業ガイダンス・日程等に関する説明 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久	
	【予習】	
	【復習】	
第3回	AI、デジタル化社会から見る富山 富山国際大学現代社会学部教授 新森 昭宏	
	【予習】	
	【復習】	
第4回	富山の観光とその未来 - 北陸新幹線の敦賀延伸と黒部ルートの開通がもたらすもの - 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久	
	【予習】	
	【復習】	
第5回	データから見る富山の産業と生活 富山地域学研究所所長 浜松 誠二 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第6回	朝日町の良さを活かした移住・定住促進 朝日町住民・子ども課移住定住相談員 善田 洋一郎 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第7回	富山の農林水産業の新しい姿 富山県副知事 横田 美香 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第8回	町家のリノベーションと地域活性化 グリーンノートレーベル株式会社代表取締役 明石 博之 氏	
	【予習】	
	【復習】	

第9回	富山のくらしと水 富山国際大学名誉教授 尾畑 納子 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第10回	富山県の自然と歴史・未来・防災・基幹インフラ・産業・文化・環境・共生・人づくり - 消防庁消防大学校客員教授 石井 隆一 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第11回	北陸・富山の地形の特徴 - 扇状地や河岸段丘を中心に - 日本黒部学会顧問 國香 正稔 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第12回	富山市街地の歴史をたどる（レクチャー） 富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第13回	富山市街地の歴史をたどる（バーチャルフィールドワーク） 富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第14回	富山市街地の歴史をたどる（ディスカッションと解説） 富山市郷土博物館館長 坂森 幹浩 氏	
	【予習】	
	【復習】	
第15回	まとめ、課題提出について 富山国際大学現代社会学部教授 助重 雄久	
	【予習】	
	【復習】	
第16回		
	【予習】	
	【復習】	

評価方法	受講態度及び毎時の課題、現地研修（50％）、レポート（50％）をもって総合的に評価する。 試験は実施しない。		
使用資料 <テキスト>	テキストは無料配布	使用資料 <参考図書>	
授業外学修等			
授業外質問方法	授業に関する質問などは毎回質問票を配布して各講師に提出する。その他、休憩時間などを利用して質問などに応じる。		
オフィス・アワー			